

令和元年度 保育園サービス第三者評価事業

報告書

令和2年3月

杉並区



はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者からみた保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者に明らかにし、保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を行う事を目的とするものである。

■評価対象：杉並区立の次の5保育園を対象としている。

(令和元年9月30日時点)

保育園名	配布数	備考
1. 天沼保育園	82	1・延
2. 阿佐谷南保育園	102	8・延
3. 高円寺北保育園	75	9・延
4. 荻窪北保育園	79	9・延
5. 高円寺南保育園	125	9・延
合計	463	

※備考欄：9...9週目以上の園、8...8か月以上の園、1...1歳以上の園、
延...延長保育実施園

■評価機関：特定非営利活動法人NPOサービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構 02-030)

■評価者：担当した評価者の終了番号は以下の通りである。

H0201035、H0501043、H1401004、H1501022、H1701003

■評価の流れ

内容	時期・期間
1. 関係者説明会	令和元年10月
2. 利用者調査票配布(利用者調査)	令和元年10月
3. 経営層自己評価票作成(事業評価)	令和元年11月
4. 職員自己評価票作成(事業評価)	令和元年11月
5. 訪問調査利用者調査・事業評価結果報告	令和元年11月～12月
6. 評価結果のフィードバック	令和2年1月



目次

第1部 利用者調査

1. 利用者調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の対象者.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査期間.....	1
(5) 利用者調査票の配布・回収状況.....	1
2. 全体の調査結果.....	2
(1) 回答者属性.....	2
(2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果.....	4
(3) 自由記入分類・整理.....	7
3. 満足度構造分析.....	8
(1) 分析方法.....	8
(2) 分析結果.....	9
(3) 考察.....	9
4. 各保育園の利用者調査結果.....	10

第2部 事業評価

1. 評価の概要.....	33
(1) 評価の目的.....	33
(2) 評点の付け方.....	33
(3) 訪問調査とフィードバック.....	34
2. 各保育園の評価結果報告書.....	35

巻末 付属資料



第1部 利用者調査



1. 利用者調査の概要

(1) 調査の目的

杉並区立保育園を利用されている保護者の方々が、日常の保育サービスに対して感じていること、また、意見や要望について把握することを目的とした。

(2) 調査の対象者

5 保育園の利用者（保護者）を対象とした。複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答していただいた。

(3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡しで配布し、回収については、園内に設置した回収ボックスに投函するか、もしくは、返信用封筒を使って直接評価機関へ郵送する方法のどちらかを保護者に選択していただいた。

(4) 調査期間

令和元年 10 月 9 日～令和元年 10 月 31 日

(5) 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、5 園の回収率は 67.2%から 80.0%、平均有効回収率は 74.1%である。

保育園名	利用者		
	配布数	回収数	回収率
1. 天沼保育園	82	60	73.0%
2. 阿佐谷南保育園	102	78	76.5%
3. 高円寺北保育園	75	60	80.0%
4. 荻窪北保育園	79	61	77.2%
5. 高円寺南保育園	125	84	67.2%
合 計	463	343	74.1%

2. 全体の調査結果

(1) 回答者属性

調査票の記入者 343 人の 70.8% が母親である。回答者の年齢構成をみると、35～40 歳未満が 25.1%、30～35 歳未満が 12.5% で、30 歳代が 37.6% と最も多い。また、40 歳代が 27.4% を占め、20 歳代（20～25 才未満 14.6%、25～30 未満 4.7%）の合計 19.3% より多い。

勤務形態では、父親の 70.3%、母親の 72.6% がフルタイム（常勤）である。なお、父親の 9.0% は自営業、母親の 7.9% はパート・アルバイトおよび自営業である。

調査の記入者属性

全回答者			
1	父	17	5.0
2	母	243	70.8
3	父母	33	9.6
4	その他	1	0.3
5	無回答	49	14.3
合計		343 (人)	100 (%)

記入者の年齢

全回答者			
1	20 歳未満	4	1.2
2	20～25 歳未満	50	14.6
3	25～30 歳未満	16	4.7
4	30～35 歳未満	43	12.5
5	35～40 歳未満	86	25.1
6	40～50 歳未満	94	27.4
7	50 歳以上	1	0.3
8	無回答	49	14.3
合計		343 (人)	100 (%)

保護者の勤務形態

保護者の形態（父）			
1	常勤	241	70.3
2	パート・アルバイト	3	0.9
3	自営業	31	9.0
4	無職	0	0.0
5	その他	3	0.9
6	無回答	65	19.0
全体		343（人）	100（％）

保護者の形態（母）			
1	常勤	249	72.6
2	パート・アルバイト	15	4.4
3	自営業	12	3.5
4	無職	4	1.2
5	その他	11	3.2
6	無回答	52	15.2
全体		343（人）	100（％）

保護者の形態（その他）			
1	常勤	14	4.1
2	パート・アルバイト	13	3.8
3	自営業	4	1.2
4	無職	10	2.9
5	その他	3	0.9
6	無回答	299	87.2
全体		343（人）	100（％）

(2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果

総合的な満足度は、父親では、「大変満足」「満足」と回答した方々が回答者の88.2%、母親では、「大変満足」「満足」と回答した方々が回答者の89.7%で、保育サービス全般に関して高い満足を得ている。一方、「不満」「大変不満」と回答した方が父親・母親ともに少数見られる。

年齢別でみていくと、「大変満足」「満足」については、年齢にかかわらず高い評価を得ているが、「不満」「大変不満」と回答した方々が、40～50歳未満の保護者等に少数見られる。

さらに、勤務形態でみていくと、「大変満足」「満足」については、勤務形態による大きな差異は見られないが、「不満」「大変不満」と回答された方々が、常勤の方々等に少数見られる。

① 調査記入者と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数(人)	17	11	4	0	0	1	1
	回答率	100%	64.7%	23.5%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%
母	回答者数(人)	243	129	89	12	5	2	6
	回答率	100%	53.1%	36.6%	4.9%	2.1%	0.8%	2.5%
父母	回答者数(人)	33	14	15	2	1	1	0
	回答率	100%	42.4%	45.5%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	1	0	1	0	0	0	0
	回答率	100%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	49	21	23	4	1	0	0
	回答率	100%	42.9%	46.9%	8.2%	2.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	343	175	132	18	7	4	7
	回答率	100%	51.0%	38.5%	5.2%	2.0%	1.2%	2.0%

② 調査記入者の年齢と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数(人)	4	3	1	0	0	0	0
	回答率	100%	75.0%	25.0%	-	-	-	-
20～25歳 未満	回答者数(人)	50	17	27	4	1	0	1
	回答率	100%	34.0%	54.0%	8.0%	2.0%	0.0%	2.0%
25～30歳 未満	回答者数(人)	16	7	7	2	0	0	0
	回答率	100%	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
30～35歳 未満	回答者数(人)	43	25	13	3	1	0	1
	回答率	100%	58.1%	30.2%	7.0%	2.3%	0.0%	2.3%
35～40歳 未満	回答者数(人)	86	48	30	3	1	1	3
	回答率	100%	55.8%	34.9%	3.5%	1.2%	1.2%	3.5%
40～50歳 未満	回答者数(人)	94	54	31	2	2	3	2
	回答率	100%	57.4%	33.0%	2.1%	2.1%	3.2%	2.1%
50歳以上	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率	100%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	49	20	23	4	2	0	0
	回答率	100%	40.8%	46.9%	8.2%	4.1%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	343	175	132	18	7	4	7
	回答率	100%	51.0%	38.5%	5.2%	2.0%	1.2%	2.0%

③-1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	241	127	87	12	6	3	6
	回答率	100%	52.7%	36.1%	5.0%	2.5%	1.2%	2.5%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	3	2	0	1	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数(人)	31	18	11	0	0	1	1
	回答率	100%	58.1%	31.4%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%
無職	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	-	-	-	-	-	-	-
その他	回答者数(人)	3	2	1	0	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	33.3%	-	-	-	-
無回答	回答者数(人)	65	26	33	5	1	0	0
	回答率	100%	40.0%	50.8%	7.7%	1.5%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	343	175	132	18	7	4	7
	回答率	100%	51.0%	38.5%	5.2%	2.0%	1.2%	2.0%

③-2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	249	129	91	14	5	4	6
	回答率	100%	51.8%	36.5%	5.6%	2.0%	1.6%	2.4%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	15	8	5	0	1	0	1
	回答率	100%	53.3%	33.3%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%
自営業	回答者数(人)	12	6	6	0	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	4	2	2	0	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	11	8	3	0	0	0	0
	回答率	100%	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	52	22	25	4	1	0	0
	回答率	100%	42.3%	48.1%	7.7%	1.9%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	343	175	132	18	7	4	7
	回答率	100%	51.0%	38.5%	5.2%	2.0%	1.2%	2.0%

③-3 その他のお迎えに行く方の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	14	4	9	0	0	1	0
	回答率	100%	28.6%	64.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
パート・ アルバイト	回答者数(人)	13	6	5	0	0	0	2
	回答率	100%	46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%
自営業	回答者数(人)	4	2	2	0	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	10	6	4	0	0	0	0
	回答率	100%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	3	2	1	0	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	299	155	111	18	7	3	5
	回答率	100%	51.8%	37.1%	6.0%	2.3%	1.0%	1.7%
全体	回答者数(人)	343	175	132	18	7	4	7
	回答率	100%	51.0%	38.5%	5.2%	2.0%	1.2%	2.0%

(3) 自由記入分類・整理

調査票の質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると、次の通りとなる。

大分類	中分類	件数	内容
サービスの提供	1 心身の発達に役立つ活動	44	社会ルールの習得、友だちとの関わり、社会性、遊びの幅の広がり
	2 興味や関心を持って行える活動	45	活動プログラムの内容、食育活動、行事やイベントの多様性
	3 提供する食事・おやつへの配慮	62	メニューのバリエーションや量、アレルギー対応、食材への配慮
	4 身近な自然や社会との関わり	62	頻度や場所、自然との関わり
	5 保育時間の変更への柔軟な対応	43	登園・降園時間の融通、延長保育・保育者の都合による保育への対応
	6 安全対策	48	安全対策・園や周辺環境、園出入り口の施設環境
	7 保護者に配慮した行事日程の設定	58	行事や保護者会の内容や参加しやすさ、日程の連絡、父母会について
	8 家庭と保育所の信頼関係	62	子どもの気持ちや様子についての連絡（主に送迎時）、子育ての悩みや要望に対する相談
安心・快適性	9 施設内の清掃、整理整頓	34	相談のしやすさ、相談事への対応、日々連絡
	10 職員の接遇・態度	41	園内の清掃、整理整頓等、清潔感、トイレ・食事スペース等
	11 保健・衛生（病気、ケガ、健康）	53	言葉遣いや態度、雰囲気、挨拶、保育士・園の対応
	12 子ども同士のトラブルへの対応	48	発熱時への対応・与薬・ケガへの対応・健康管理や病気予防
利用者個人の尊重	13 子どもへの気持ちの尊重	22	トラブルへの対応の的確さ、ケンカやいざかい等への対応
	14 子どもと保護者のプライバシー保護	16	気持ちに配慮した対応、子どもの考えや思いの受け止め
	15 保育内容に関する説明の分かり易さ	40	プライバシーの保護
不満・要望への対応	16 利用者の要望・不満への対応	30	利用前の保育内容の説明、活動目標や支援内容の説明
	17 外部の苦情窓口の周知	23	言いやすい雰囲気・聞く姿勢、要望や不満への対応の的確さ

3. 満足度構造分析

(1) 分析方法

利用者調査の項目は全部で 17 項目ある。その中でも、特に総合的な満足度に影響を与えている項目は何かを明らかにするために、回帰分析の手法を使って分析を行なった。

分析にあたっては下記のような手続きを行なった。

- 被説明変数

被説明変数は「総合的な感想」である。

総合的な感想では下記のような変数処理を行なった。

「大変満足」=5、「満足」=4、「どちらともいえない」=3、「不満」=2、「大変不満」=1
無記入は欠損値とする。

- 説明変数

説明変数は問 1～問 17 の各設問である。

問 1～問 17 の各設問では、下記のような変数処理を行なった。

「はい」=1、それ以外の「どちらともいえない」「いいえ」「非該当」=0
無記入は欠損値とする。

(2) 分析結果

「総合的な感想」に関する回帰分析

		回帰 係数	標準 誤差	有意 確率	
問 1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	0.86	0.19	<0.01	***
問 2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	-0.09	0.14	0.53	
問 3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	0.21	0.13	0.11	
問 4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	0.34	0.09	<0.01	***
問 5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	0.04	0.08	0.63	
問 6	安全対策が十分取られていると思いますか	0.12	0.09	0.21	
問 7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	-0.05	0.08	0.50	
問 8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	0.19	0.11	0.08	*
問 9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	0.14	0.10	0.17	
問 10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	0.00	0.11	0.99	
問 11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	0.30	0.12	0.01	***
問 12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	-0.05	0.08	0.53	
問 13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	0.37	0.13	0.01	***
問 14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	0.12	0.09	0.21	
問 15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	0.23	0.10	0.03	**
問 16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	0.30	0.08	<0.01	***
問 17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	0.10	0.07	0.14	

*、**、***は、それぞれ有意水準 10%、5%、1%で、統計的に有意であることを示す。

(3) 考察

- 統計的に有意であった項目、つまり、総合的な満足度に影響を与えている項目は、問1「園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか」、問4「戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか」、問8「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか」、問11「お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか」、問13「職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか」、問15「お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか」、問16「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか」であった。

- その中でも、特に総合的な満足度に大きく影響を与えているのは、問1「園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか」である。次に、問4「戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか」であり、問16「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか」、問13「職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか」、問11「お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか」、問8「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか」の順番に総合的な満足度に影響を与えていた。

- 統計的に有意でなかった、つまり、総合的な満足度に殆ど影響を与えていない設問は、問2「園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか」、問3「園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか」、問5「急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか」、問6「安全対策が十分取られていると思いますか」、問7「行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか」、問9「園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか」、問10「職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか」、問12「子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか」、問14「あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか」、問17「あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか」であった。

4. 各保育園の利用者調査結果

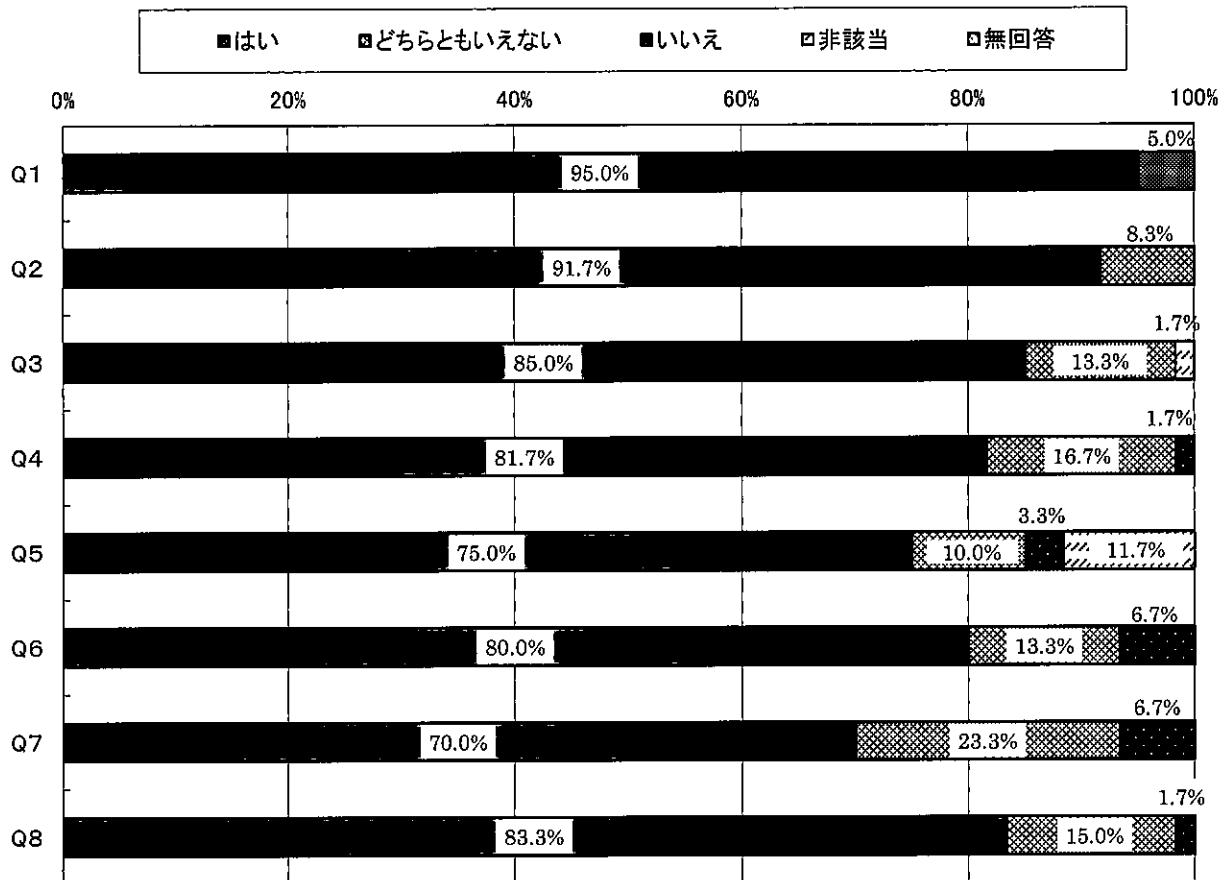
園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1. 天沼保育園	13
2. 阿佐谷南保育園	17
3. 高円寺北保育園	21
4. 荻窪北保育園	25
5. 高円寺南保育園	29

1. 天沼保育園

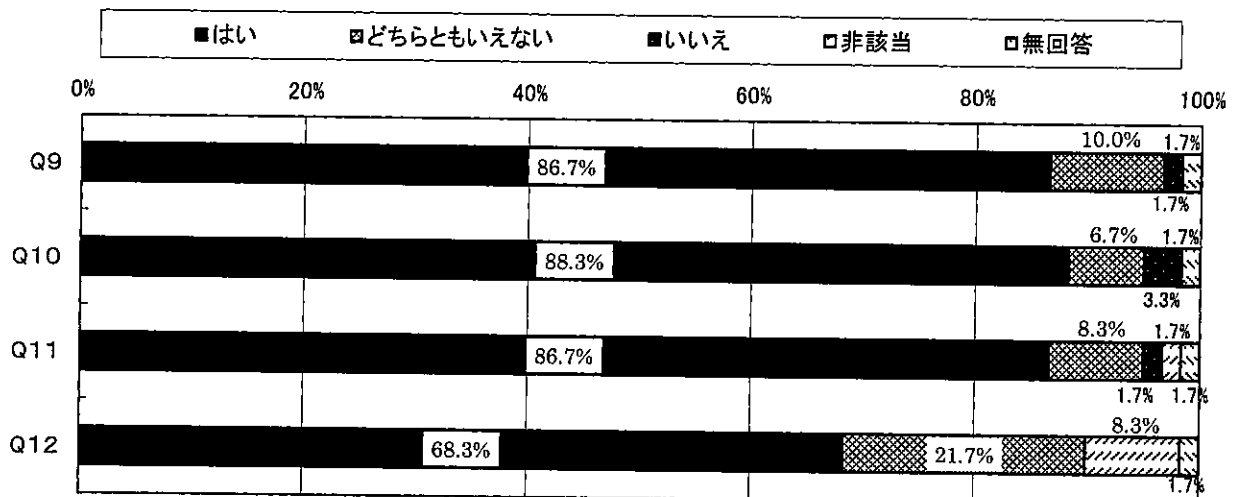
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	85.0%	13.3%	0.0%	1.7%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	81.7%	16.7%	1.7%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	75.0%	10.0%	3.3%	11.7%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	80.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	70.0%	23.3%	6.7%	0.0%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	83.3%	15.0%	1.7%	0.0%	0.0%



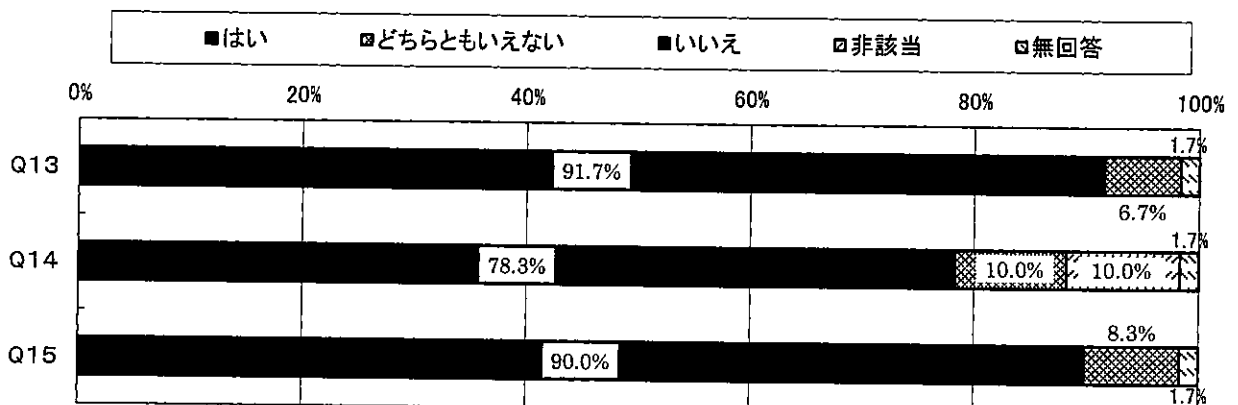
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	86.7%	10.0%	1.7%	0.0%	1.7%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思えますか	88.3%	6.7%	3.3%	0.0%	1.7%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	86.7%	8.3%	1.7%	1.7%	1.7%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	68.3%	21.7%	0.0%	8.3%	1.7%



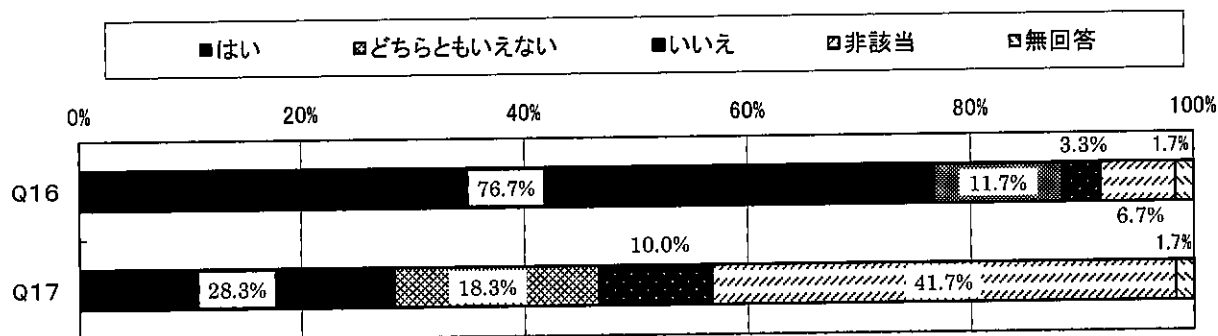
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思えますか	91.7%	6.7%	0.0%	0.0%	1.7%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたいと思うこと）を職員は守ってくれていると思えますか	78.3%	10.0%	0.0%	10.0%	1.7%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思えますか	90.0%	8.3%	0.0%	0.0%	1.7%



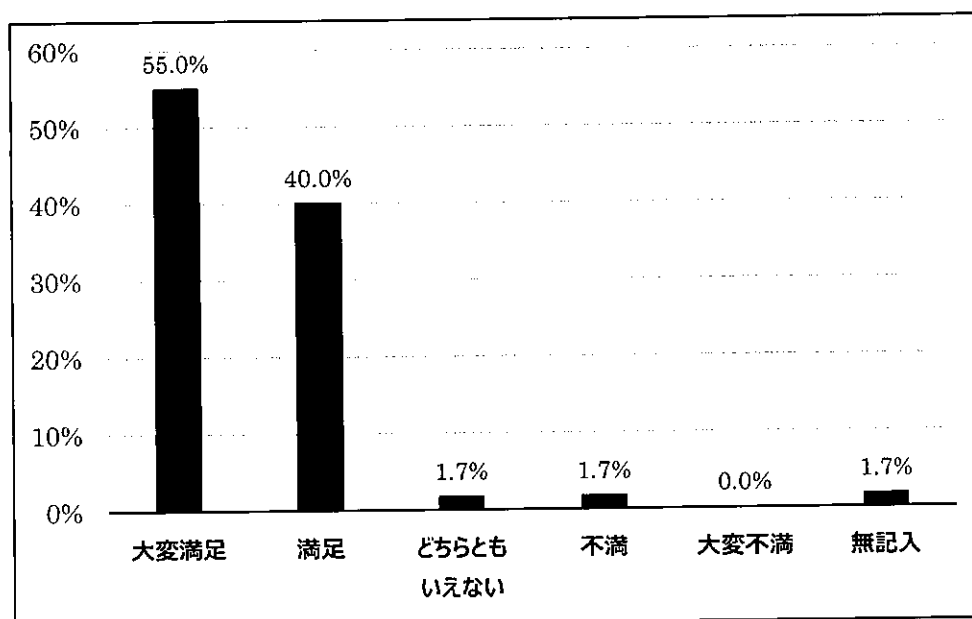
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	76.7%	11.7%	3.3%	6.7%	1.7%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	28.3%	18.3%	10.0%	41.7%	1.7%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	33	55.0%
満足	24	40.0%
どちらともいえない	1	1.7%
不満	1	1.7%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%

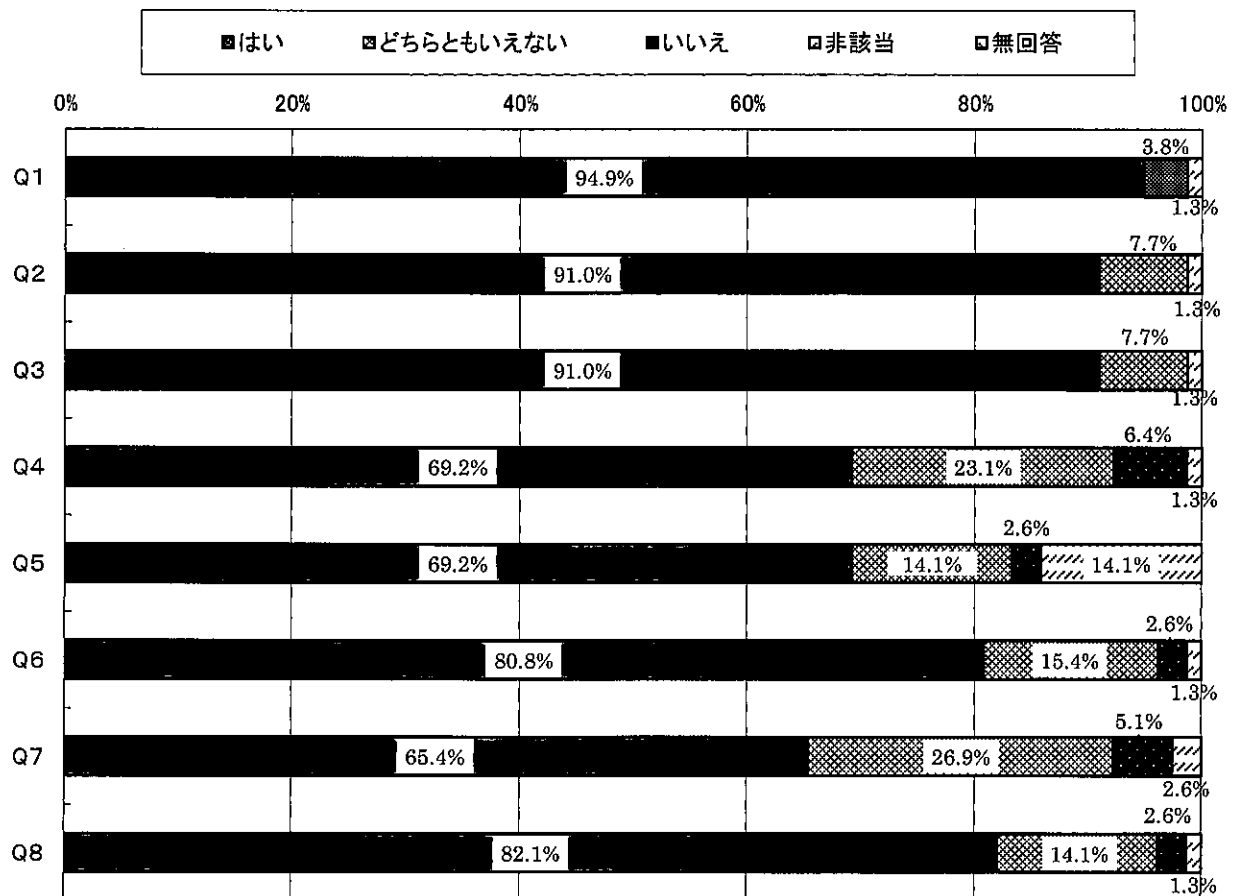


2. 阿佐谷南保育園

阿佐谷南
保育園

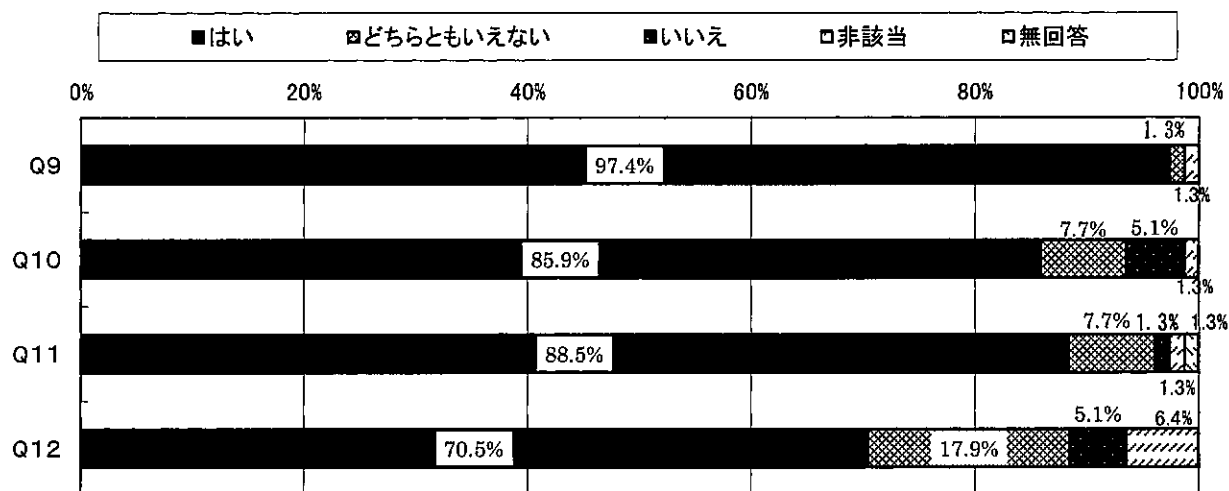
＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	94.9%	3.8%	0.0%	1.3%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	91.0%	7.7%	0.0%	1.3%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	91.0%	7.7%	0.0%	1.3%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	69.2%	23.1%	6.4%	1.3%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	69.2%	14.1%	2.6%	14.1%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	80.8%	15.4%	2.6%	1.3%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	65.4%	26.9%	5.1%	2.6%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	82.1%	14.1%	2.6%	1.3%	0.0%



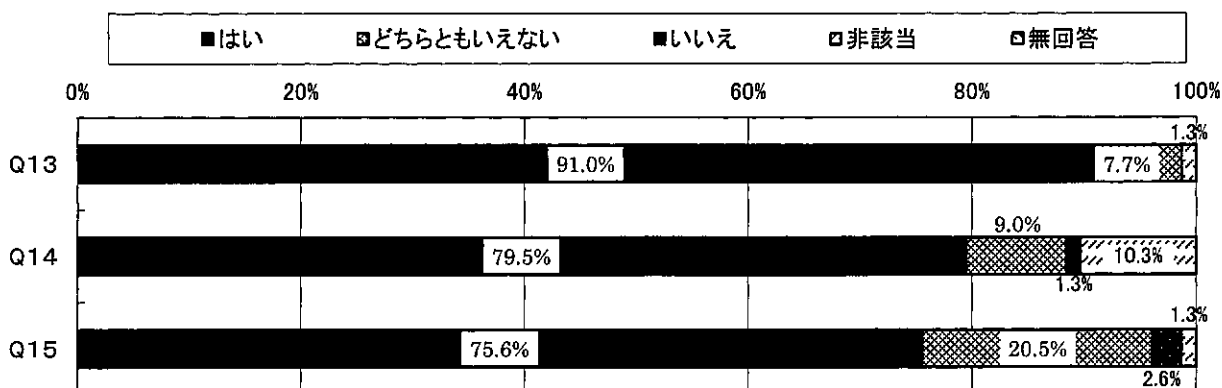
＜安心・快適性＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	97.4%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	85.9%	7.7%	5.1%	1.3%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	88.5%	7.7%	1.3%	1.3%	1.3%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	70.5%	17.9%	5.1%	6.4%	0.0%



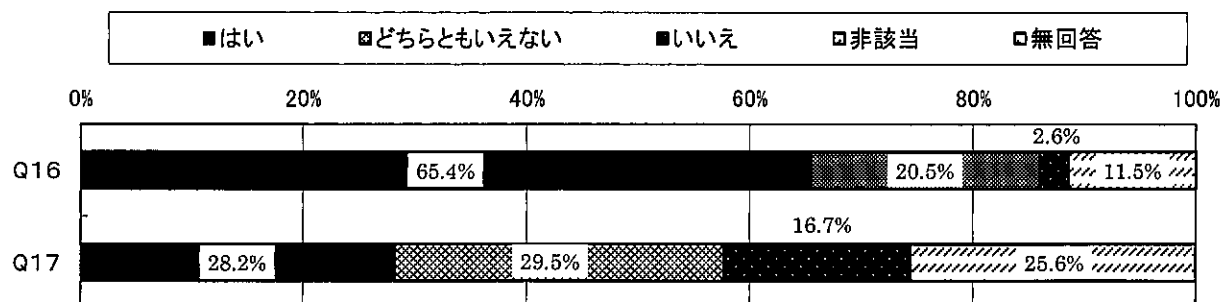
＜利用者個人の尊重＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	91.0%	7.7%	0.0%	1.3%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	79.5%	9.0%	1.3%	10.3%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	75.6%	20.5%	2.6%	1.3%	0.0%



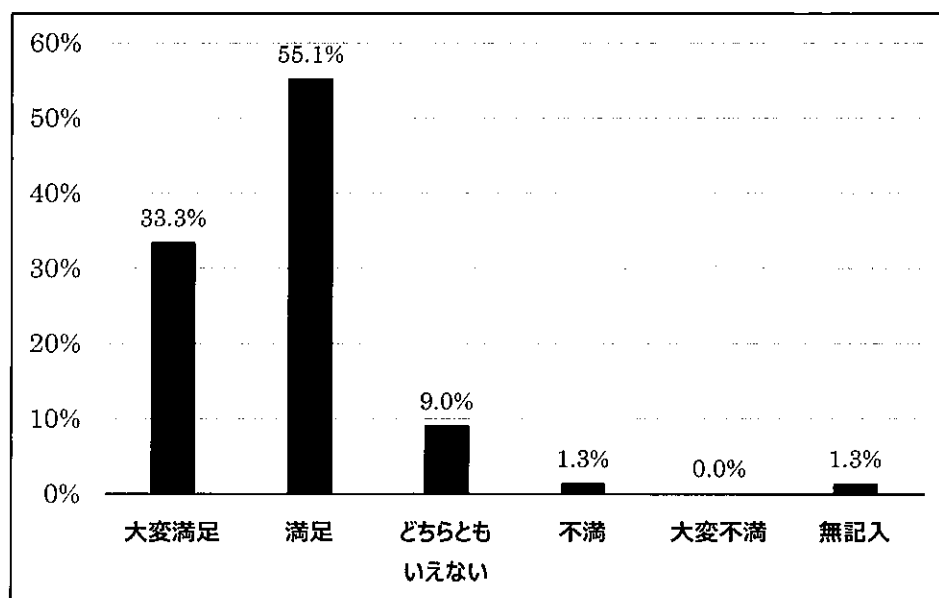
＜不満・要望への対応＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	65.4%	20.5%	2.6%	11.5%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	28.2%	29.5%	16.7%	25.6%	0.0%

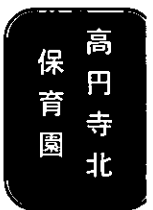


＜総合的な満足度についてお聞きします＞

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	26	33.3%
満足	43	55.1%
どちらともいえない	7	9.0%
不満	1	1.3%
大変不満	0	0.0%
無回答	1	1.3%
合計	78	100.0%

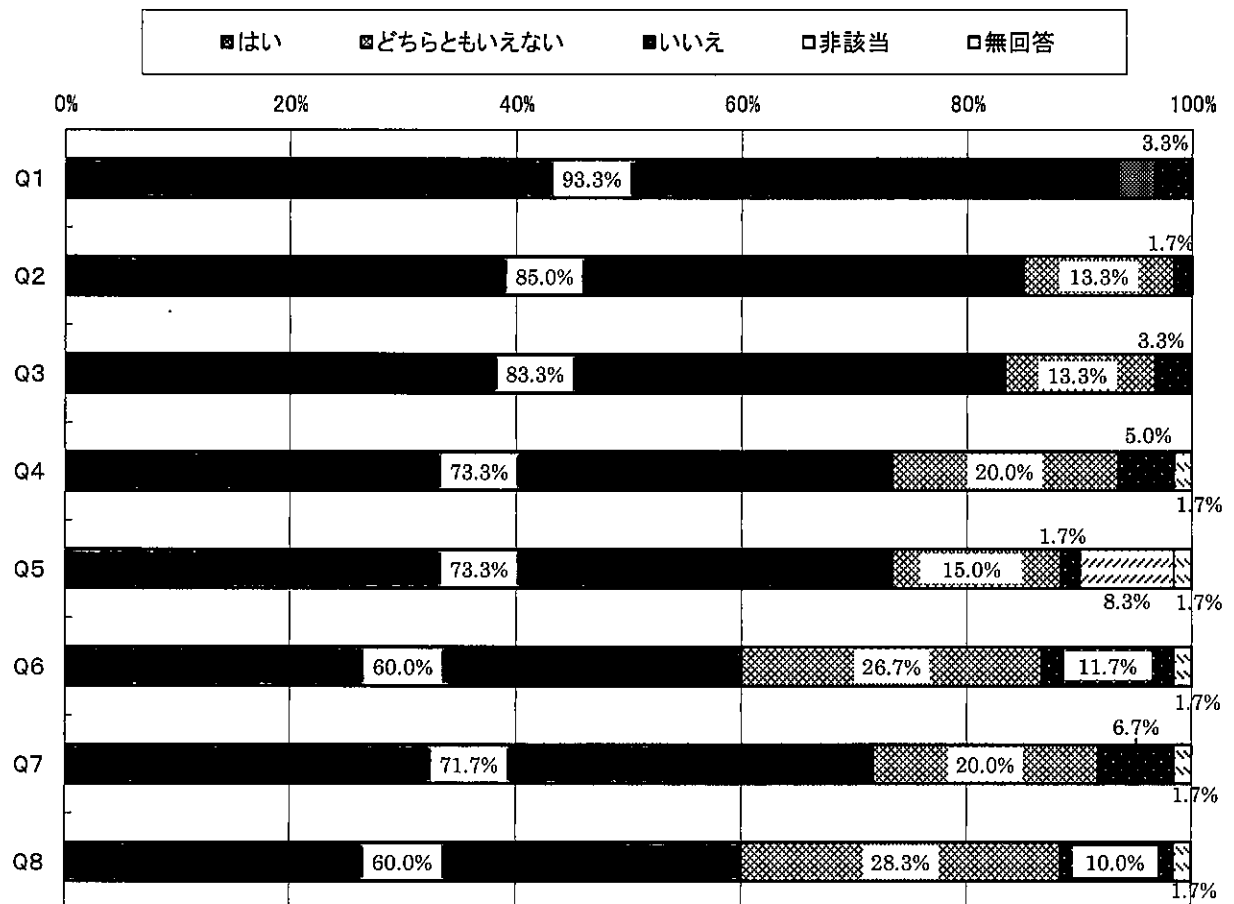


3. 高円寺北保育園



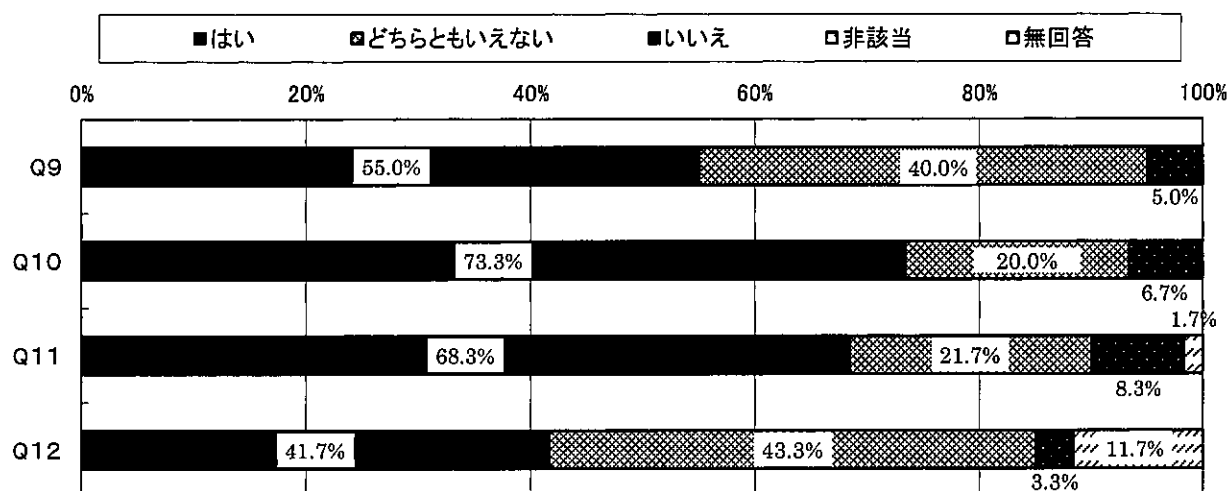
＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思 いますか	93.3%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるもの になっていると思いますか	85.0%	13.3%	1.7%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、 工夫されたものになっていると思いますか	83.3%	13.3%	3.3%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わ る機会は十分確保されていると思いますか	73.3%	20.0%	5.0%	0.0%	1.7%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する 必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	73.3%	15.0%	1.7%	8.3%	1.7%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	60.0%	26.7%	11.7%	0.0%	1.7%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされてい ると思いますか	71.7%	20.0%	6.7%	0.0%	1.7%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話し たり相談することができるような信頼関係があると思いますか	60.0%	28.3%	10.0%	0.0%	1.7%



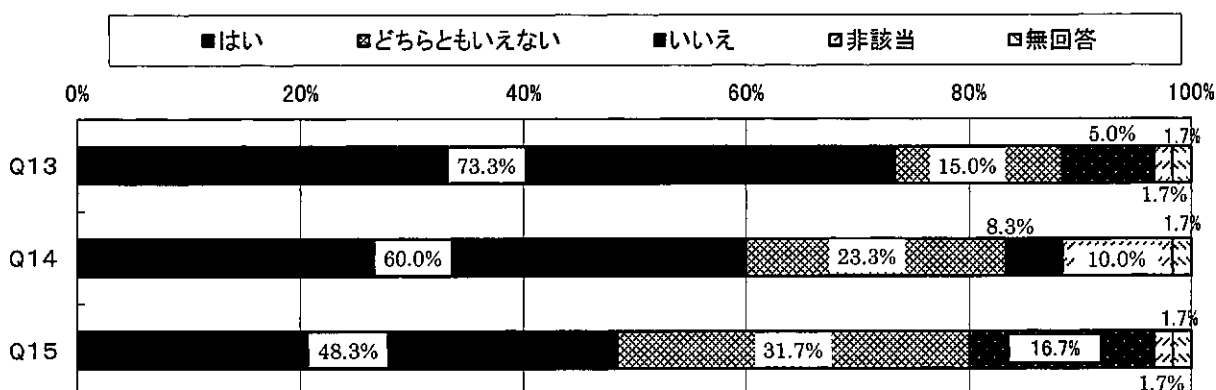
＜安心・快適性＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	68.3%	21.7%	8.3%	1.7%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	41.7%	43.3%	3.3%	11.7%	0.0%



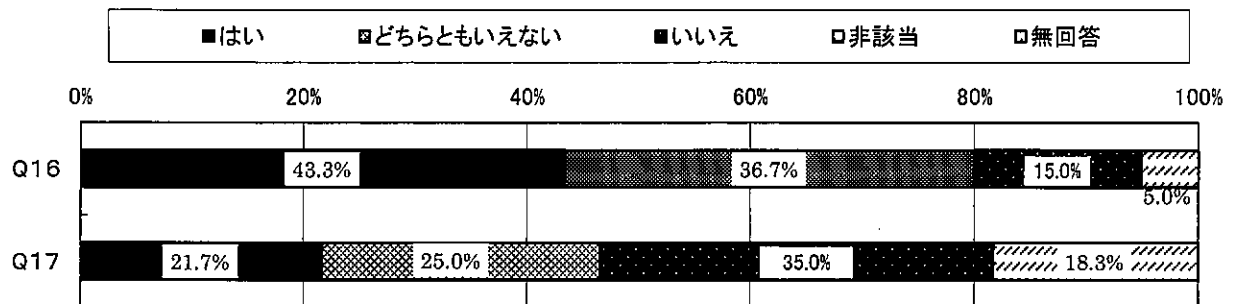
＜利用者個人の尊重＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	73.3%	15.0%	8.3%	1.7%	1.7%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	60.0%	23.3%	5.0%	10.0%	1.7%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	48.3%	31.7%	16.7%	1.7%	1.7%



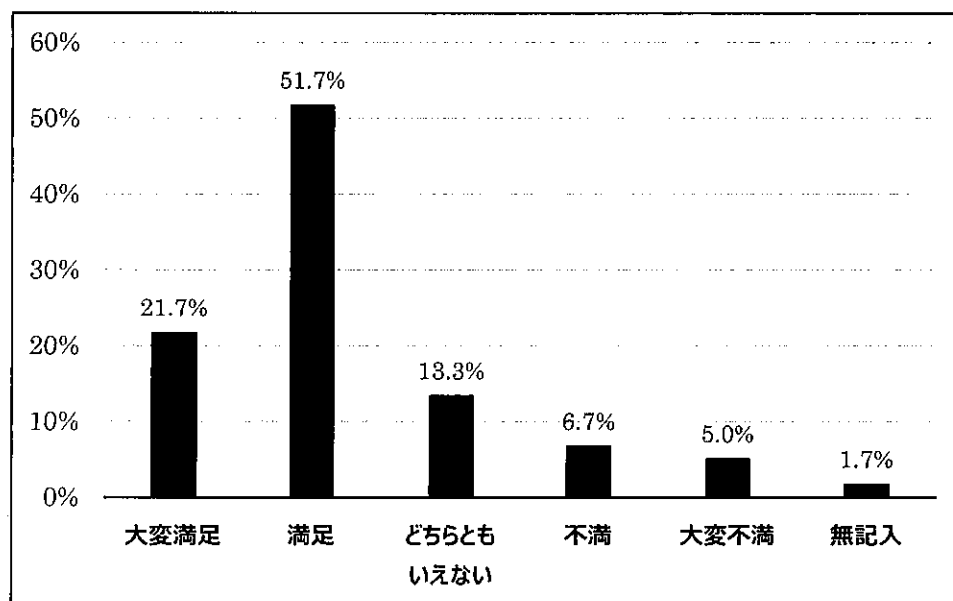
＜不満・要望への対応＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	43.3%	36.7%	15.0%	5.0%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	21.7%	25.0%	35.0%	18.3%	0.0%



＜総合的な満足度についてお聞きします＞

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	13	21.7%
満足	31	51.7%
どちらとも いえない	8	13.3%
不満	4	6.7%
大変不満	3	5.0%
無回答	1	1.7%
合計	60	100.0%



4. 荻窪北保育園

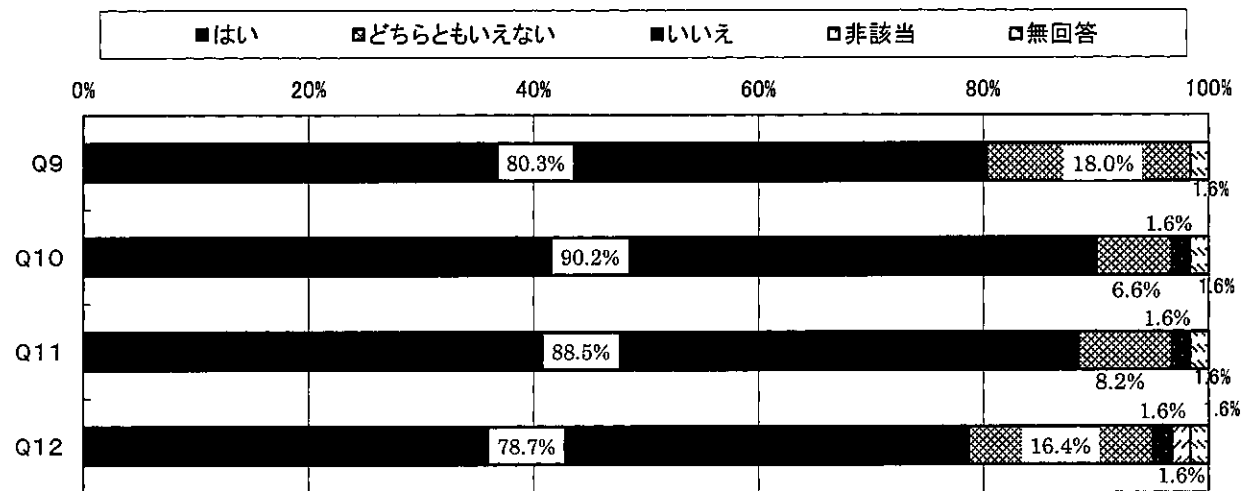
<サービスの提供>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	95.1%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	83.6%	6.6%	0.0%	9.8%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	83.6%	14.8%	1.6%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	75.4%	13.1%	6.6%	4.9%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	91.8%	6.6%	1.6%	0.0%	0.0%



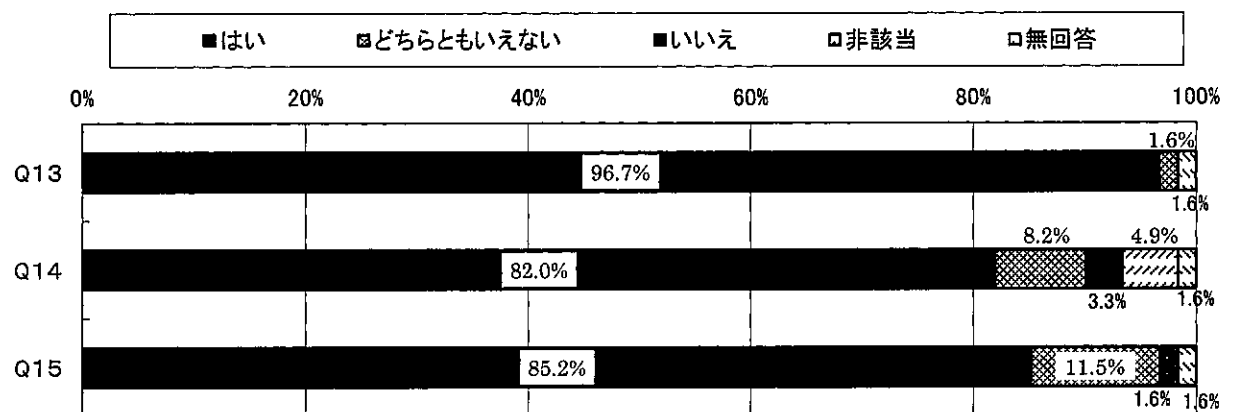
<安心・快適性>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	80.3%	18.0%	0.0%	0.0%	1.6%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	90.2%	6.6%	1.6%	0.0%	1.6%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	88.5%	8.2%	1.6%	0.0%	1.6%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	78.7%	16.4%	1.6%	1.6%	1.6%



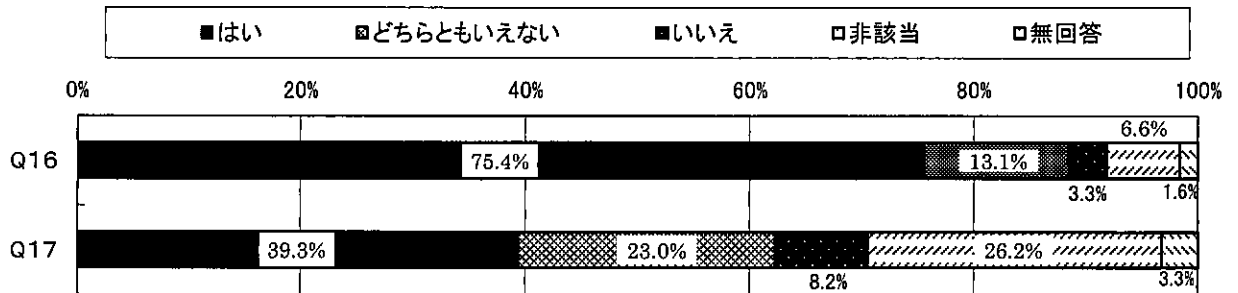
<利用者個人の尊重>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	96.7%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	82.0%	8.2%	3.3%	4.9%	1.6%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	85.2%	11.5%	1.6%	0.0%	1.6%



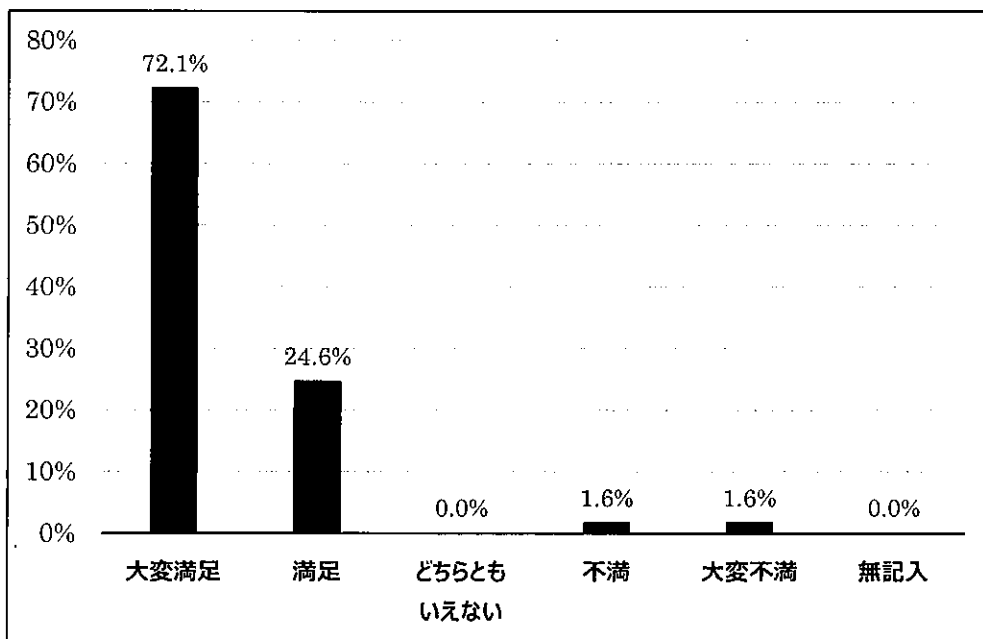
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	75.4%	13.1%	3.3%	6.6%	1.6%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	39.3%	23.0%	8.2%	26.2%	3.3%



<総合的な満足度についてお聞きします>

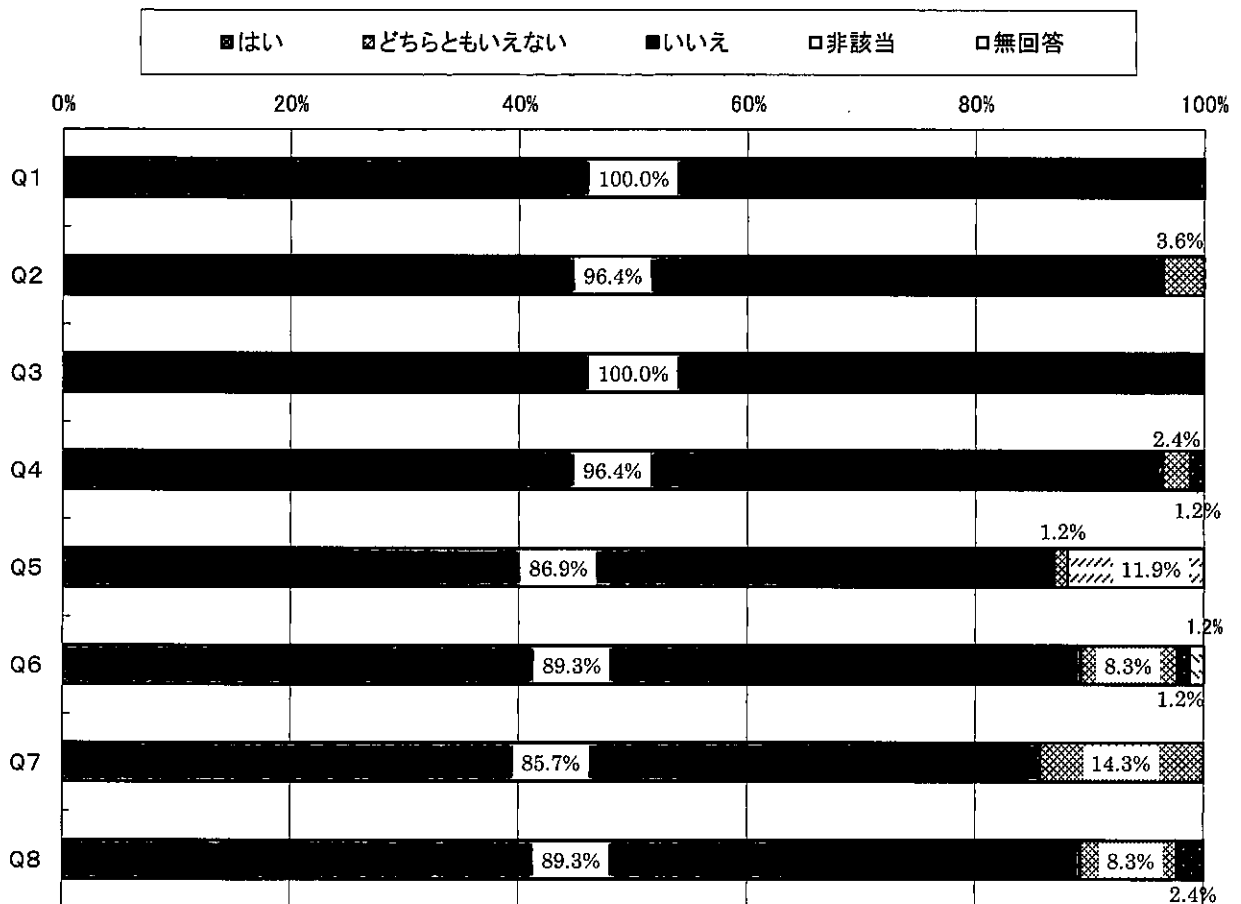
総合満足度	回答数	回答率
大変満足	44	72.1%
満足	15	24.6%
どちらともいえない	0	0.0%
不満	1	1.6%
大変不満	1	1.6%
無回答	0	0.0%
合計	61	100.0%



5. 高円寺南保育園

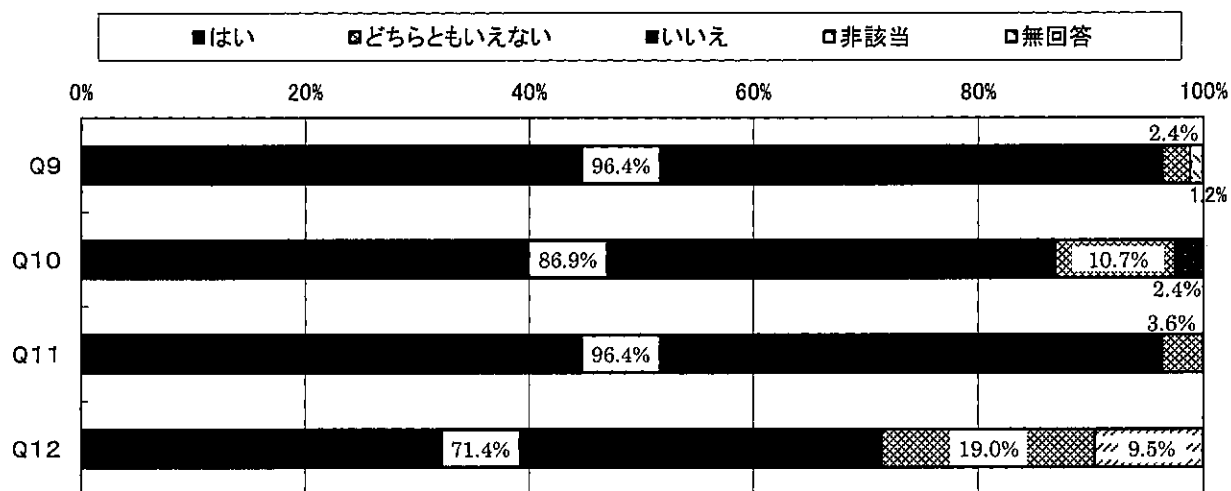
＜サービスの提供＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	96.4%	2.4%	1.2%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	86.9%	1.2%	0.0%	11.9%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られていると思いますか	89.3%	8.3%	1.2%	0.0%	1.2%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	89.3%	8.3%	2.4%	0.0%	0.0%



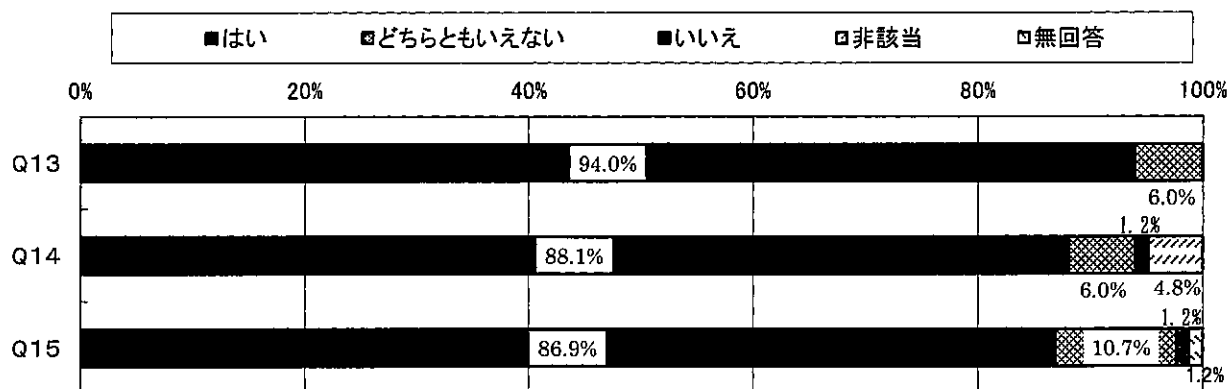
＜安心・快適性＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	96.4%	2.4%	0.0%	0.0%	1.2%
Q10	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか	86.9%	10.7%	2.4%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	71.4%	19.0%	0.0%	9.5%	0.0%



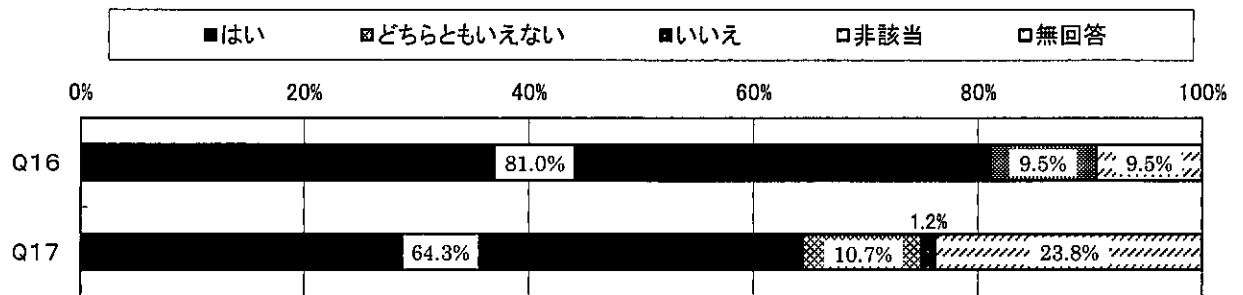
＜利用者個人の尊重＞

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聴かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	88.1%	6.0%	1.2%	4.8%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	86.9%	10.7%	1.2%	0.0%	1.2%



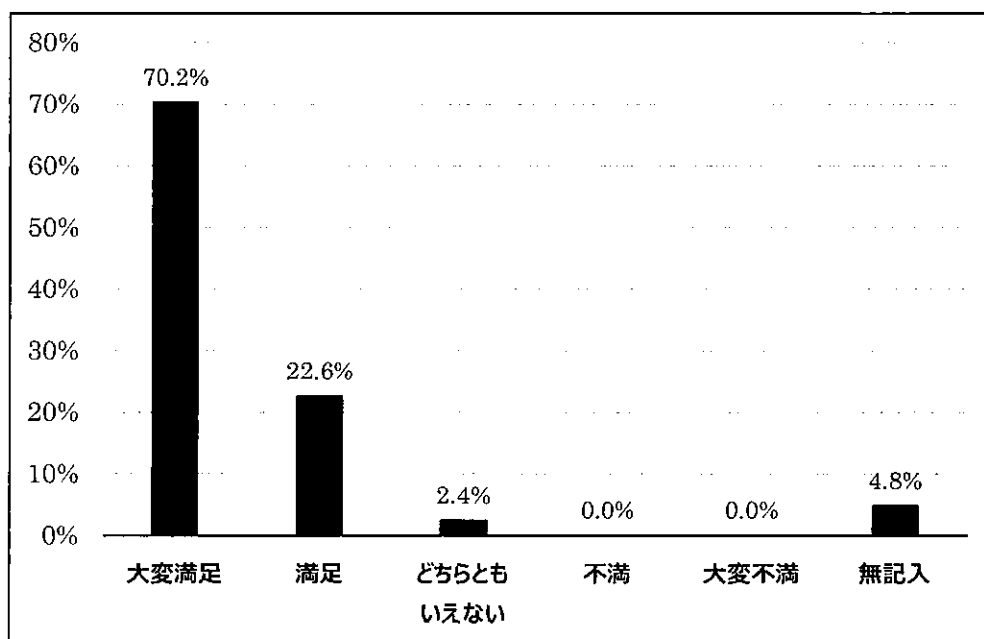
<不満・要望への対応>

設問 No.	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えるとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	81.0%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%
Q17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	64.3%	10.7%	1.2%	23.8%	0.0%



<総合的な満足度についてお聞きします>

総合満足度	回答数	回答率
大変満足	59	70.2%
満足	19	22.6%
どちらともいえない	2	2.4%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%
無回答	4	4.8%
合計	84	100.0%



第2部 事業評価

1. 評価の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

カテゴリ－1：リーダーシップと意思決定

カテゴリ－2：事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

カテゴリ－3：経営における社会的責任

カテゴリ－4：リスクマネジメント

カテゴリ－5：職員と組織の能力向上

カテゴリ－6：サービス提供のプロセス

カテゴリ－7：事業所の重要課題に対する組織的な活動

(2) 評点の付け方

上記カテゴリ－1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

評点基準 <カテゴリ－1～6>	
評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとに付ける。	
1 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。	
2 ○及び●が混在する場合は、標準項目の順番にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。	
3 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素から除く。	
標語<カテゴリ－7>	
目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none">○ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みと検証	<ul style="list-style-type: none">○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合を含む）○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none">○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
（偶然できているのではなく、再現性がある）
- ③ その根拠が示せること
（資料等で具体的に示すことができる）

（3） 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1. 天沼保育園	令和元年 12 月	令和 2 年 1 月
2. 阿佐谷南保育園	令和元年 12 月	令和 2 年 1 月
3. 高円寺北保育園	令和元年 12 月	令和 2 年 1 月
4. 荻窪北保育園	令和元年 12 月	令和 2 年 1 月
5. 高円寺南保育園	令和元年 11 月	令和 2 年 1 月

2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、次の通りである。

1. 天沼保育園	37
2. 阿佐谷南保育園	63
3. 高円寺北保育園	89
4. 荻窪北保育園	115
5. 高円寺南保育園	141

2
1

1. 天沼保育園

調査対象

2019年10月調査時点の在園児99名の保護者82世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数

99

利用者家族総数(世帯)

82

共通評価項目による調査対象者数

82

共通評価項目による調査の有効回答者数

60

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

73.2

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」2名(3%)、「母」45名(75%)、「父母一緒に」4名(7%)、「その他」1名(2%)、無記入8名(13%)。年齢：「20歳代」2名(3%)、「30歳代」30名(51%)、「40歳代」20名(33%)、無記入8名(13%)。

・総合的な感想は「大変満足」33名(55%)、「満足」24名(40%)、「どちらともいえない」1名(2%)、「不満」1名(2%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の95%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。

・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心のある活動」、問13「子どもの気持ちの尊重」、問15「保育内容の説明」であった。

・総合的な感想では、「毎日子どもが体をたくさん動かして遊べるように工夫されている」「区立ならではのと思うほどのベテラン先生の厚みがあり、安心して子どもを預けることができている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
コメント				
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「家ではできない体験をお友だちや先生と一緒にできている」「集団で過ごすことで、家とは違った刺激を受けている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	55	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「創作活動を楽しんでいる」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	51	8	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、食事に関して高い満足を得ている。「その日の食材について、子どもたちにもわかりやすく栄養素ごとに写真で掲示してある」「保護者会で栄養士の話聞き、安心した。月齢や年齢に応じた配慮、特に手づくりのお菓子には感謝している」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	10	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「〇〇公園に行った、などと子どもが楽しそうに話してくれる」「ゆうゆう館へ行くことが子どもにとって良い体験となっているようだ」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	45	6	2	7
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「いつも快く対応してくれている」「子どもの体調が悪くなければ、スポット延長もいつも利用することができた」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	48	8	4	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、安全対策について高い満足を得ている。「門の鍵が両手を使わないと開け閉めができない。乳児がいる場合は危ないと思う」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	14	4	0
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「勤務先の事情に合わせて、行事の日程について配慮してもらった」「運動会以外の行事が平日に開催されるので、仕事の調整が難しいことが多い」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	9	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、家庭と保育所との信頼に関して高い満足を得ている。「お迎えのときにその日の子どもの様子を丁寧に伝えてくれる先生がいる」「保育士の皆さんが子ども一人ひとりの状況をよく見ている」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	52	6	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「物が落ちていたなどは一度もない」「遊びで使用している布製品を洗濯している職員の姿を土曜日に見たことがある」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	53	4	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「動きやすい服装だと思う」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	52	5	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「熱が出たときやけがをしたときはきちんと対応してくれる」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	41	13	0	6
「はい」と返答した方々は回答者の68%で、「どちらともいえない」22%、非該当・無記入10%であった。「まだ乳児なので、そこまでのいさかやいじめはないのでわからない。ただ、子どもの気持ちを受け止めてくれていると思う」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	4	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「先生は親から伝えられた子どもの心配事についても気をつけて見てくれた」「子ども本人のやる気を引き出す声かけをしている」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	47	6	0	7
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	54	5	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、保育内容に関する説明は非常に高い満足を得ている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	7	2	5
「はい」と返答した方々は回答者の76%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	17	11	6	26
「はい」と返答した方々は回答者の28%、「どちらともいえない」18%、「いいえ」10%、非該当44%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ1の講評			
<p>職員が一体となって運営に取り組めるよう、園の方向性を定め職員に周知している</p> <p>区立保育園として「杉並区立保育園保育実践方針」に基づいて、保護者が安心して仕事と子育ての両立支援に努めている。これに加え、園目標として「生きる力と愛を育む保育園」を定め、子どもたちの心身の健全な発達を目指した保育に取り組んでいる。5月に実施している年間指導計画の話合いの際に、職員に児童憲章・園目標・理念を踏まえた園方針を周知している。半期の終わりや年度末には、園長自らが振り返りをおこない、その気づきを職員へフィードバックしているとともに、併せて職員の習熟度を確認している。</p> <p>保護者に対し、保育園の理念・方針を説明する機会を設けて周知に努めている</p> <p>3月の入園説明会で保護者に対して理念・方針(大切にしている考え)を説明するとともに、各クラス別の前期保護者会にて再度確認・周知をし理解を深めている。保護者に配布している「天沼保育園のしおり」にも、理念・方針、園目標とそのため的大事にしていることをわかりやすく記載している。また、歴史のある保育園であり中には保護者も本保育園の卒園者である家庭もあるなど、地域とのつながりも強く「地域の中で、親も子どもも育ちあえる保育」「コミュニティの拠点になっていく保育園」を目指している。</p> <p>職員の意見が反映されるよう事前に意見集約し、職員会議の中で合議・決定をしている</p> <p>園長・主査の役割分担表を作成しているほか、各職種役割分担を作成し、保育士、調理、栄養士といった専門職ごとにその役割・職務内容を明確にしている。園長・主査・保育向上リーダーが園の課題を抽出し、各課題については保育向上リーダーが中心となり職員の意見・提案を反映し対応や改善が図られるようにしている。週一度開催する職員会議で意思決定をおこない、職員全員で取り組むべき方向性を打ち出し更なる改善に向けて取り組んでいる。さらに、毎日の昼のミーティングで、子どもたちのその日の状況について職員間で迅速な情報共有を図っている。</p>			

2		カテゴリー2	
2		事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
		サブカテゴリー1(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当
		サブカテゴリー2(2-2)	
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリー2の講評			
<p>保護者参加の行事に対してアンケートを実施し、改善に取り組んでいる</p> <p>夏祭りや運動会などの大きな行事には、アンケートを実施し自由意見や感想から保護者の要望を把握するよう努めている。保護者会の開催に際しては、保護者が希望する懇談内容や質問を事前に受け付けることなどで、より良い話し合いができるよう工夫している。保護者から寄せられた要望・意見は、職員間で共有するとともに職員会議で協議し改善を図っている。園庭の狭さに対しても、園児が興味を持てるように草花や野菜の栽培、昆虫などの小動物の飼育など、職員が創意工夫を凝らした取り組みを実践している。</p> <p>係あるいは個人の目標を参考に、職員の意見を踏まえて園の目標を策定している</p> <p>園の運営方針については、区が策定している「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)に基づいたものとなっている。年度初めに「係の目標シート」を策定し、これらの目標をベースに園の目標を策定している。個人の目標については「個人の目標シート」を作成し、園長とのヒアリングを通して取り組み内容を確認し、園の目標達成につながるよう取り組んでいる。半期ごとにモニタリングを実施し、進捗状況を確認し、年度目標を達成できるように必要な見直しを行っている。</p> <p>地域のネットワーク事業に参画しており、地域とのつながりを大切にしている</p> <p>区主催の地域懇談会及び園長会、さらに区内保育園が自主的に開催する園長会に園長が参加し、地域の保育園をめぐる課題や必要な情報を収集している。また、中学校区を中心とした地域ネットワークである天沼中学校地域教育推進協議会に参加し、地域の子育てに関わる課題について情報収集及び意見交換を行っている。夏まつりや運動会などの大きなイベントに際し「地域の皆様へ」のお知らせを配布して、来園を促すとともに、騒音に対する理解・協力を求めるなど地域の方々とのつながりを大切にしている。</p>			

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えてい		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

区の主催する研修など様々な機会を捉えて、コンプライアンスの順守に取り組んでいる

区主催の公務員倫理や人権などに関する研修に職員を派遣し、コンプライアンスについての理解を深めるとともに、職員会議で研修報告を実施し園内で共有している。新規採用者については、区の新任研修で必要な知識を学ぶのに加えて、園で実施するオリエンテーションで対応の仕方を周知している。虐待に対しては、児童虐待対応マニュアルを整備し、速やか、かつ適正な対応が可能な体制を整えている。職員会議でも、虐待に当たるケースとして具体的な事例を紹介し注意を促すなど、周知徹底を心掛けている。

苦情受付の仕組みを整備し、保護者への苦情解決制度の周知を図っている

事務室前に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」に関するポスターを掲示し、保護者に周知している。園についての悩み、意見・要望については、送迎時などの機会を捉えて保育士または園長に伝えるように「天沼保育園のしおり」に記載しているほか、気軽に相談していただくよう保護者に対して促している。園に対して直接言いづらい場合は、区役所にも相談が可能であることを入園説明会で保護者に伝えている。寄せられた苦情・要望・意見については、情報連絡シートに記入するとともに、職員会議で合議し、すみやかに回答するように努めている。

園見学・園庭開放・ふれあい保育を実施し、地域の保育ニーズに応えている

毎週月曜日及び第3水曜日の午前中に園庭開放を実施している。「園庭開放のお知らせ」を作成し、近隣の児童館や子育てプラザなどの関連施設に配布し、気軽に参加できるように呼び掛けている。保育園に通っていない子どもを対象にしたふれあい保育や園見学の機会に子育てに関するアドバイスをおこなうことで、保護者の子育てに関する悩みや不安の解消に努めており、再訪する親子も増えている。また、近隣の子育てプラザで、園の特色について・保育園の目指す子どもの姿について講演を行い、園についての理解を深めている。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5

評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>想定されるリスク対応のため、区のマニュアルに加え園のマニュアルを作成している</p> <p>区作成の「危機管理マニュアル」に則るとともに、さらに具体的に園のマニュアルを作成し、具体的に想定されるリスクに対して速やかに対応できるようにしている。保育中の緊急対応に関しては、具体的に取るべき対応を詳細にマニュアル化しており、緊急時の応援体制、頭部・腹部のケガ、それ以外の場合での対応を詳細に記述しているほか、保護者・職員間の連絡方法や救急車を要請した場合の付き添いなどをすぐに判断し行動できるように定めている。また、「散歩マニュアル」を作成し、事前確認事項や危険個所の確認など実際に即したものとしている。</p> <p>避難訓練及び防犯訓練を実施し、不測の事態に備えている</p> <p>避難訓練の年間計画を策定しており、毎月1回、避難訓練を実施している。実際の訓練では、地震・火災・防犯訓練・落雷停電など災害別やプール中・朝夕保育中など状況別などさまざまなケースを想定し、いかなる場合にも対応できるようにしている。年1回は併設施設と合同で総合訓練を実施している。総合訓練では、消防署の協力を得て、初期消火訓練、通報訓練に加えて、救急法について学ぶ機会も設けている。また、防犯マニュアルを策定し、近隣に不審者があった場合や園庭や園舎内に不審者が侵入した場合など、ケース別に対応方法を定めている。</p> <p>区の情報セキュリティ関係の規定に加えて、園のルールを設けて情報管理を行っている</p> <p>区が策定している「情報セキュリティ基本方針」「情報セキュリティ対策基準」に基づきアクセス権を設定するなど情報セキュリティを適切に管理している。また、園内では、個人情報が含まれる書類等を他の人に安易に見えるところに置かない、個人情報を破棄するときはシュレッダー、児童票は事務室で記入し保管する、園で知り得た情報は他で話をしない(守秘義務)など、職員に徹底している。カメラやメモリーカードなどを保管場所から持ち出す際は、使用者と承認者、返却確認者を別にしてチェック管理体制を取っている。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p> 新人職員に育成担当者を設置し、保育士としての知識の習得に取り組んでいる 新任職員に関しては必要な人員を、区が一括採用し園に配属している。配属された職員には各々に育成担当を配置している。1年目の職員には若手を配置、2年目の職員には主査を配置し、保育士としての知識の習得に加え、気軽に相談できる体制とすることで精神面でのフォローも行っている。職員は、年度当初に仕事目標を定めた目標申告シートを作成し、園長は職員に対しヒアリングを実施し、中間および年度末の達成度を確認しているとともに、本人の希望・意見を聴取して適宜フィードバックしている。 </p> <p> サービス向上を目的としてテーマ別のグループ活動を実施している 年度の始まる前に職員に「いま自分の興味のある話題(課題)について」アンケートを実施し、その中から選んだ3テーマ「園庭」「食具」「連絡帳」ごとにグループ活動をおこなっている。全職員は3グループのどれかに属し、保育向上リーダーを中心に、保育の現状や課題、改善について継続的に話し合いの機会を持ち、各職員が主体的にサービスの向上に取り組んでいる。また、職員間のコミュニケーションを大切にしており、休憩室に職員共通ボードを設置し、日々の保育の中での気づきの共有や自由に意見が発信できるようにしてある。 </p> <p> 研修で受講した知識について、職員間で共有する仕組みを有している 職員育成に関して、区の人材育成事業実施計画に基づき、区が実施する新任研修への参加および在職年数に応じた階層研修に職員を派遣している。また、本人の希望やその必要性を考慮して、今年度は、「アンガーマネジメント研修」「保育施設での事故予防、保育中の危機管理」「気になる子の発達支援」といった随時テーマ別の研修にも職員を派遣している。研修で学んだことを園に還元することを大切にしており、受講後に研修レポートを提出しているほか、職員会議で研修報告を実施し、組織として知識の蓄積に努めている。 </p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「小グループの話し合いを継続し、保育について話し合い学びの場とする」を重要課題とした。
 ・上記目標に向けて、自園の良い所や課題を抽出する話し合いを持ち、その後、具体的なテーマを絞り3グループ(食育・園庭・連絡帳)に分かれ、自主的に取り組むことを大切に、グループ毎に時間を作りながら討議や作業をおこなってきた。具体的には次の通りである。①「食育」に関して、子どもに適した食具の見直し、②「連絡帳」に関して、「伝える」事について様々な側面から話し合いを継続実施、③「環境」に関して、園庭環境の見直しとともに、子どもが遊びこめる玩具等の導入。
 ・上記の取り組みの結果、「食育」に関しては、スプーンの「受け」の部分を小さくしたりグリップの太いものに変えるなど改善を図った。「連絡帳」に関しては、連絡帳やクラスだよりの書いたものを読み合い、保護者に伝わるような書き方について学び合った。「環境」に関しては、必要なおもちゃを導入したとともに、遊ばせ方の工夫をおこなうなど、いずれも具体的な改善につなげている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度は「心地よい(安全・安心・きれい)環境と子ども達が自発的、自主的に遊びたくなる環境をつくる」を重要課題に上げ、子どもが遊びたくなる環境づくりについて職員皆で話し合い、改善してきた。今年度も引き続き、小グループでの話し合いを進める中で新たな課題が見つかり、さらに話し合いを進めていきたいという言葉が職員から自主的に出てきている。また、話し合いが面白くなり、それぞれの保育親を共有することにもつながっている。以上を踏まえ、引き続き、全職員が3グループ(食育・園庭・連絡帳)のいずれかに属して、主体的に改善に向けた取り組みを実施している。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「園全体で職員を育成し、職員全体の保育の向上を目指す」を重要課題とした。
 ・上記目標に向けて、次の取り組みを行った。①研修内容を報告し合うことで、若手も受け身になるのではなく能動的に発信する機会を持つようにする、②育成を行う中で、育成担当者が自らの保育を振り返る機会とするのに加え、クラスとして取り組むことで他の職員の意識が高まり、クラス全体で保育に対する意識を高める。
 ・上記の取り組みの結果、グループ討議を小グループで実施することで、意見を発信したりコミュニケーションを通じて、円滑な人間関係が築かれ、これらが保育に組み込み姿勢にも現れている。また、保育を見せ合う、伝え合うことで、自らの保育の振り返りとなるなど効果が現れているため今年度も継続してグループ活動を継続している。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行ってなかった(目標設定を行ってなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・新任職員には、1年目は年齢の近い若手職員を配置し話しかけやすい雰囲気を作成し、2年目には主査を配置することで保育士としての知識の習得に加え、精神面でのフォローも行うなど園全体で職員の育成に努めている。小グループでの活動は、チームビルディングにも活かしており、保育向上リーダーを中心に職員間で活発な意見交換を通じて、職員個々の気づきを生かしながら、チームとして働いていくという意識の向上につながっている。職員アンケートの自由意見でも複数の職員から小グループ活動には、肯定的なコメントが寄せられており、モチベーションの向上が図られている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>区のホームページや冊子などで情報提供している</p> <p>区のホームページで、園舎の写真や住所、対象年齢、定員、保育目標、地図、主な行事、園の特色、園の見取り図、保育室や積み木遊び、食事、園庭遊びの写真などを掲載して情報提供している。区が発行している冊子、「保育施設利用のご案内」や「杉並区保育施設マップ」、「くらしのガイド」、広報紙などでも情報提供している。園の門扉には、子育て支援「園庭開放のお知らせ」を掲示している。</p> <p>区立直営園であり、所管課や関連機関と情報交換して連携している</p> <p>区立直営園であることから、区の所管課に延長保育実績や子育て支援事業報告、感染症の発生状況などさまざまな報告をし連携している。区立保育園長会に月2回出席し、所管課と情報交換をしている。所管課主催の地域懇談会では年2回、地域の公私立の保育園・認証保育所などの園長と情報交換している。地域子育てネットワークに参加して、地域の小学校や公私立保育園、幼稚園、児童館、学童クラブなどと子どもに関する情報や年間行事予定などを交換している。消防署には総合避難訓練時の指導・講評を受けている。</p> <p>見学は随時受付して日程を伝え、都合の良い日に来てもらっている</p> <p>見学希望の問い合わせは随時受けて日程を伝え、その中で都合の良い日に来てもらい、他の見学者も一緒であることを伝えて了承してもらっている。見学者には園概要と子育て支援情報紙を配付して見てもらいながら園舎内を案内し説明している。対応は園長や主査がして、園の保育の特色として一人ひとりの子どもの発達や個性を大切に保育することや、子どもの遊びの中での学びを大事にしていることを、子どもの姿や保育室の環境設定、玩具を見てもらいながら説明している。バギー置き場はあるかなどの質問にも応じている。</p>	

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前には入園説明会を実施して、基本的なルールや重要事項などを説明している</p> <p>4月入園内定者には2月下旬に面接と健康診断を実施し、各クラスの持ち物の説明などを行っている。3月中旬の土曜日に説明会を実施している。「天沼保育園のしおり」や「保育園ご利用に当たって【重要なお知らせ】」を配付して、園の概要や運営方針、保育時間、延長保育、園の保育目標、給食、健康管理、園からのお願い、災害時の対応、個人情報管理、苦情対応などを読み合わせをしながら確認し、同意書ももらっている。</p> <p>慣れるまでの保育は保護者の意向や事情、子どもの状況などで個別に進めている</p> <p>入園面接では保護者の家庭や職場の状況、仕事復帰時期などを聴き取っている。保護者に慣れるまでの保育について説明し、意向を確認して話し合い、慣れ保育予定を作成している。初日には、他の園児や保護者との顔合わせをして、保護者に給食を食べさせてもらい、園の食事の様子を知ってもらう機会にしている。2日目から子どもを預かり、徐々に保育時間を延ばしているが、保護者の意向や仕事復帰時期などを考慮しているので、月半ばから登園し始めるケースもある。</p> <p>転園や退園、卒園には可能な支援の継続をしている</p> <p>区内の公立保育園に転園の場合は、児童票(写)を送付し、健康カードは保護者の同意を得て継続使用している。退園の場合には、クラスでお別れ会を開いたり、メッセージカードを渡したりしている。退園者の情報は翌月のお便りに掲載している。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写を送付して引き継いでいる。卒園した1年生には入学時に就学先へお祝いのメッセージを送り、園の夏祭りや運動会へのお誘いを児童館に届けたり郵送したりしている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリ-3の講評																						
<p>子どもの心身や生活の状況を児童票や保育日誌などに記録して把握している</p> <p>入園面接時に身体測定や園医による健康診断を実施し、子どもの健康・発育状態、既往歴、予防接種歴、アレルギーなどを把握している。保護者に事前に記入してもらった「入園までの生活状況」を基に、保育士が子どもの食事、排せつ、睡眠、言葉、運動機能、好きな遊びなどを確認して把握している。入園後は日々の体調などを乳児クラスは連絡帳により、幼児クラスは口頭で聴き取り把握して保育し、日中の子どもの様子を保育日誌や園日誌に記録している。子どもの保育の経過記録を児童票に記載している。</p> <p>指導計画は担任同士で子どもの姿やクラスの状況を振り返り、話し合って作成している</p> <p>全体的な計画を基にして子どもの実態やクラスの状況などを考慮し、年間指導計画を作成している。月間指導計画(月案)・週案は子どもの姿やクラスの状況を担任同士で振り返り、ねらいや活動内容を決めて、個別の子どもの姿と配慮や援助も作成している。保護者には年間指導計画を配付して説明し、月案はファイリングして、遊戯室や1階の階段前に置き、いつでも保護者に見てもらえるようにしている。各クラスの保育室入り口には週の活動内容とねらいを掲示して知らせている。</p> <p>子どもに関する情報は職員会議やミーティングなどで共有している</p> <p>指導計画は職員全員に配付して、職員会議で報告して共有し、意見交換をしている。毎日昼間に実施しているミーティングでは各クラス1名が参加して、明日の体制確認、子どもの健康状態報告、電話連絡、職員情報の共有などを行っている。ミーティングの内容は園日誌に記入しているが、参加者はクラスノートに記入して共有している。職員は毎朝の出動時に園日誌に眼を通して見ている。その他に受託簿を使用して、家庭からの連絡事項や園から家庭に伝える子どもの様子などを記載している。</p>																						
サブカテゴリ-5																						
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <p>サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5</p> <p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p>評点(〇〇)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p>評点(〇〇〇)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
評価	標準項目																					
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当																				
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当																				
評価	標準項目																					
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当																				
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当																				
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当																				
サブカテゴリ-5の講評																						
<p>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園説明会時に個人情報の取り扱いについて、園で収集し知り得た情報は厳重に管理することやビデオ・写真撮影、画像データの取り扱いについて説明し、同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、着替えの時にはカーテンを閉めたり、おむつ替えやおもらしの着替えなどは外部から見えないところとするなどの配慮をしている。看護師からプライベートゾーンの話をして大事なところは人には見せないようにすることを伝え、水着に着替える時にはラップタオルを使用して着替える方法を伝えている。</p> <p>子ども一人ひとりの思いを大切に保育をしている</p> <p>子ども一人ひとりの思いに寄り添う保育をしている。みんなが庭遊びしている時でも、この本を読みたいと思う時には、自分の思いを伝えて、一人でゆっくり本を読み終えた後、みんなの遊びに入ってきている。5歳児のお店屋ごっこに参加した3歳児が、自分たちもお店屋ごっこをしたいという時には、予定を変更してお店屋ごっこをしている。また、子どもの誕生日は月毎に紹介しているが、お祝いは誕生日の当日にクラスでしている。誕生日は自分で選んだ誕生日バッチをつけて、みんなにお祝いの言葉をもらっている。保育士倫理綱領を事務室に掲示している。</p> <p>子どもの様子やつぶやきなどに気を配り、虐待の早期発見・対応を心掛けている</p> <p>職員は日頃から、子どもの様子の変化や何気ないつぶやき、不審な怪我や痕などには気を配り、虐待の早期発見や対応を心掛けている。子どもに聴いたり保護者に確認したりして、少しでも疑いがあるような時には園長に報告し、園長は子ども支援センターと区の所管課に連絡し、連携して対応することになっている。子ども家庭支援センターからの照会がある場合には、園でも観察を怠らずに報告し連携している。園長が子ども家庭支援センター主催の虐待研修に参加して、職員に報告し周知している。</p>																						

サブカテゴリ-6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○非該当
サブカテゴリ-6の講評	
<p>区立園共通のマニュアルや園独自の手引書などを整備している</p> <p>区立園共通の「杉並区立保育園実践方針」「危機管理マニュアル」などを整備している。園独自に「かみつき・ひっかきの対応について」「朝夕保育当番の仕事」「延長保育の流れ」「天沼保育園防犯マニュアル」「散歩マニュアル」など、さまざまな手引書を作成している。共通のマニュアル類は事務室の棚に置き、園独自の手引書は手元に置き、確認したい時にはいつでも見ることができるようにしている。</p> <p>年度末に見直したり、必要に応じて随時見直したりしている</p> <p>園独自の手引書は年度末に反省をして確認し、見直している。「延長保育の流れ」や「朝夕保育当番の仕事」については、利用児数の増減や子どもの成長、パート職員の入れ替わりなどがあった場合には、随時見直しをして、延長保育室を変更するなどの対応をしている。業務内容のうち、夏祭りや運動会などの行事は終了後に反省をしているが、その他は半期ごとや1年ごとに反省をして、より良いサービス提供に努めている。</p> <p>子どもの様子や職員の提案を受けて、よりよいサービスが提供できるように見直している</p> <p>子どもの生活や遊びの様子、保護者の現状に合わせて、気が付いたことがある場合には見直している。例えば、子どもの遊びの様子や安全性を考慮して、園庭のごっこハウスの位置を見直している。保育室のレイアウトを変更する時も、子どもの動線や遊びの展開の様子から職員が提案し、職員会議で検討して見直している。慣れ保育は、全員4月初日から始めるのではなく、保護者の意向を確認したうえで、仕事復帰時期が遅い場合には、ゆっくりと慣れ期間を設けるなどしている。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当		
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当		
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当		
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当		
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当		
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当		
評価項目1の講評				
<p>子どもが自分で遊びたいものを選んで落ち着いて遊べるような環境設定をしている</p> <p>保育室内は子どもが自分で遊びたいものがすぐに手で取れるように、低い棚に年齢発達に合わせ、興味関心がある玩具類を並べている。子どもの発達や季節に応じて玩具の入れ替えもして、じっくり落ち着いて遊べるように、衝立や棚、柵などで場所を仕切って、ままごとやパズル・カードゲームなどの机上遊び、構成遊びなど遊び毎のコーナーにしている。1歳児クラスには人形や洗面器、おぶい紐、エプロンなどを用意した世話遊びコーナーも設置している。園庭も子どもが自分で使いたいもので遊べるように、遊具類を用意している。</p> <p>園庭は乳幼児が一緒に遊び、自然な異年齢交流の場になっている</p> <p>園庭では乳幼児が一緒になって遊ぶ機会を大切にしているので、幼児の遊びの輪に小さい子が入って一緒に遊んでいる。年上の子どもは乳児クラスの子どもが触って砂場のトンネルを壊してしまうことがあることを知っており、「小さい子だからしかたないなあ」と許すことができている。乳児が部屋に入る時には手をつないで連れて行ったり、靴を脱がせてくれるなどの姿がよく見られている。幼児クラスでは3クラス交流の活動をしているので、運動会で一緒にダンスを披露している。</p> <p>発達の過程で起きる子ども同士のトラブルには双方の気持ちを尊重して対応している</p> <p>1・2歳児の保護者会で、発達の過程として子ども同士のトラブルでは噛みつきやひっかきの姿があることを伝えている。1・2歳児クラスは緩やかな担当制にして小集団のグループで行動していることで、トラブルの発生を少なくすることができるが、トラブルが発生した時には、子どもの思いを言葉に代えて「～したかっただね」と子どもの気持ちをくみ取り、双方に思いを伝える仲立ちをしている。保護者には状況や経過を説明し、園の責任であり、防げなかったことを謝罪するなど、「かみつき・ひっかきマニュアル」に沿って対応している。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの健康観察をして、保護者に家庭での様子を聴いている 登園時には挨拶を交わして子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をしている。保護者には家庭での子どもの様子を聴いている。前日に園でかまれた、怪我をした、発熱した時や欠席で受診をしていたような時には、担任が受託簿に記入して置き、受入をする当番保育士などが、保護者に詳細に聴き取り、受託簿に記入してクラス担任に引き継いでいる。</p> <p>子どもの生活習慣が身につくように、個々の子どもの状態に合わせて援助している 子どもの年齢発達の姿を前期保護者会で説明し、排せつなどの生活習慣は子どもの状態により個別に進めることを伝えている。トイレトレーニングは、子どもの排尿間隔が広がり、トイレに座るようになった頃に子どもの園での状態を伝え、家庭での様子も聴いて、保護者と協力しながら進めている。食事の食具「箸」については、遊びの中で指先が使えるようになった子どもから順番に、1～3名ずつ栄養士が「お箸名人カード」を使って指導して、正しい持ち方で物がつかめるようになった子どもから箸を使うようにしている。</p> <p>迎え時には子どもの日中の様子を伝えている 降園時には、一人ひとりの子どもの日中の様子を乳児クラスでは連絡帳に記入して、幼児クラスは貼りだし日誌を読んでもらうようにして、受け渡し時には子どものエピソードなどを一言添えている。幼児の貼りだし日誌は、写真も使いできるだけわかりやすくして、必ず伝える必要があることはメモを渡している。連絡事項は担任が受託簿に記入して、対応する職員が伝えている。園で怪我をしたなど、説明できる保育士が伝える必要がある場合には保護者の迎えを待って伝え、必要に応じて園長や主査も対応している。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p>子どもがじっくり遊べるように、自由に遊ぶ時間を確保し場所の配慮をしている</p> <p>子どもが遊びたい遊びを自分で選んで遊べるように、子どもの手の届く棚に玩具などを用意している。子どもがじっくり遊べるように衝立などで、場所を確保して、木製積み木類は置いて継続して遊べるようにしている。登園後は自分のやりたい遊びを思いっきりできるように、幼児クラスでは10時頃まで自由遊びの時間にしていく。5歳児は前日に明日の予定を伝えて、当日には「もう少ししたら～だよ」などとその日の活動の流れを早めに子どもに伝える方法にして、子どもが主体的に行動できるようにしている。</p> <p>さまざまな素材を使ったりイメージしたりして製作遊びを楽しんでいる</p> <p>自然物を見たり触れたりする経験を多く取り入れて、描いたり作ったりしている。2階のテラスに鯉のぼりを飾り、各クラスでも自分たちの鯉のぼりを作り、飾っている。アジサイの花を見に行き、アジサイの花を製作している。夏祭りには、子どもたちのイメージを出し合い、5歳児は海の生き物神輿、4歳児はキラキラや虹の山車を作っている。秋にはどんぐり拾いや木の葉集めをして、製作に活かしている。4・5歳児は空き箱を使って製作することが好きで、家庭にも協力を呼び掛けて空き箱を集め、いつでも使えるように用意している。</p> <p>園庭遊びや散歩などで自然に触れたり、体を動かしたりして遊んでいる</p> <p>広くはないが、園庭には鉄棒、滑り台、ブランコのロープなどの固定遊具、砂場、コンテナや風呂マット、タイヤ、板などの可動遊具、ごっこハウスがあり、子どもたちは鬼ごっこをしたり虫探しをしたり、砂遊びや泥んこ遊び、色水遊びなどをして遊んでいる。散歩に出掛けて春は桜の花をながめたり、花びら集めをし、草むらでバッタ捕りをしている。カブトムシの幼虫の飼育や金魚のえさやりもしている。七夕の笹竹は地域にある寺からいただいてきているので、保育士が切り取り、子どもたちがみんなですべて担いで持ち帰っている。</p>			
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している		○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている		○非該当
評価項目4の講評			
<p>自分たちがイメージした神輿や山車を作って夏祭りで練り歩きをしている</p> <p>夏祭りに向けて、全園児が年齢に応じて提灯作りをし、5歳児は神輿とポスター、4歳児は山車作りをしている。神輿って何？という声に、神社に神輿を見に行き、自分たちの好きな海の生き物、魚やりゅうがいる神輿にしようと、コップや紙皿などを使って製作した。山車は子どもたちのイメージしたキラキラや虹、子どもの顔の山車を作り上げた。七夕の笹竹運びをした時の経験が神輿担ぎに活かされて、16時30分頃から神輿を担いで、園周辺の練り歩きをしている。</p> <p>運動会ではみんなで協力して取り組む楽しさや充実感を味わっている</p> <p>運動会は3～5歳児を対象にして、元小学校の校庭を借りて実施している。5歳児では、リレーは「負けるからいやだ」という声があり、「やりたい」という意見もあり、みんなで話し合い「勝つとうれしいからやる」「負けると悔しいけど頑張る」ことになり、何度かみんなでやっていくうちに楽しくなり、勝敗に関係なく盛り上がるようになっていった。当日は大声援を受けて、一生懸命走ることができ、負けて悔しがる様子も見られたが、みんなで協力してできた自信が感じられ、始めの言葉やプラカード係などの役割も頑張りと、充実感を味わっている。</p> <p>年間行事予定を配付し、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を知らせている</p> <p>入園説明会で年間行事の説明をしている。年間行事予定を年度初めに配付し、前期保護者会でも夏祭りや運動会などの保護者に協力をお願いする行事の案内をしている。行事に向けて取り組んでいる子どもの様子は貼りだし日誌で伝えたり、写真掲示で見てもらったり、クラスだよりで知らせたりしている。行事前にはお知らせやご案内、見どころ特集号などを発行して、親子で行事を楽しみにできるようにしている。</p>			

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目5の講評			
<p>夕保育では良く慣れた保育室で安心して過ごせるようにしている</p> <p>17時からの夕保育では4・5歳児は合同にして、2つの保育室を使って過ごしている。他のクラスはよく慣れていて安心して過ごせるそれぞれの保育室で遊んでいるが、同じ部屋ばかりではなく、気分転換をかねて保育室以外の部屋や遊戯室、廊下、1歳児はテラスなども使って遊んでいる。</p> <p>夕保育用の玩具を用意したり、使いたい遊具を継続して使って遊んだりしている</p> <p>日中の保育では使っていない夕保育用の玩具を出したり、継続して遊びたい玩具を持ち込んで遊んだりしている。夕保育担当保育士は、5歳児以外は複数担任のため、基本的に担任が入るようにしているが、できない部分には、他の保育士が入る場合もある。各クラスのパート職員はいつも同じ人にして、見知った顔で安心して過ごせるようにしている。</p> <p>少人数でよく知っている子ども同士、ゆったりと好きな遊びをしている</p> <p>18時30分からの延長保育は乳児にとって最小限の環境の変化で済むように、2歳児室でしている。2歳児室はソフトなマットを敷いて、ゴロゴロと横になつたりできるようにしている。現在定期利用児は3名と少なく、スポット延長児がいても多くはないので、絵本を読んでもらったり、電車や線路のおもちゃなどで一緒に遊んでいる。いつも一緒によく知っているので、年上の子どもが年下の子にやさしく接してくれるなど、自然な異年齢交流の時間になっている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>決まった食事場所で、安定して座り、友だちと一緒に食事をしている</p> <p>保育室内では食事場所を設定して、決まった場所で友だちと一緒に食事をしている。子どもの体格に合わせたテーブルと椅子を使用して、必要な時には足台などを工夫して、姿勢よく安定して座わって食べている。七夕やひな祭りなどの季節の行事には、行事食を提供し、お楽しみ会やお別れ会には会食にし、ローストチキンやフライドポテト、サラダ、おにぎりなどの特別メニューにしたり、おやつにはランチョンマットを使用するなどしている。幼児交流の日には異年齢のグループで保育室に分かれて一緒に食べている。</p> <p>区立園共通の献立で、安全安心で季節感のある給食を園で手作りし、提供している</p> <p>区の栄養士が各園から寄せられる意見を参考に作成した区立保育園共通の2週間サイクル献立で、食品添加物をできる限り使用せず、栄養バランスを考慮している。旬の食材を使用したり季節の行事食を提供したりして季節感を出し、昆布やかつお節、煮干などで出汁を取り、素材の味を味わえるようにしている。囑託の栄養士と委託業者の職員が園で手作りして提供している。子どもたちの喫食状況を調理職員が見に来て、職員も子どもの食べ具合や反応を記録して提出し、次回の調理に活かしている。</p> <p>野菜栽培や食材に触れる経験、おにぎり作りなどの食育活動をしている</p> <p>園庭のプランターできゅうりやかぼちゃ、茄子、トマト、ひょうたんなどの野菜を育てている。子どもたちは水やりをしながら、花が咲いた実がなったなどと生長を観察し、収穫の喜びを味わっている。じゃがいもの収穫経験をして調理してもらい食べている。食材に触れる経験では4・5歳児を中心に取り組み、そら豆などの豆類のさやむき、枝豆のもぎ取りをしている。さんまを観察し、三枚おろしを見せてもらい、5歳児は骨付きの塩焼きを食べている。ラップおにぎり作りをしたり、5歳児はジャガイモを包丁で切る体験をして保育室で焼いて食べている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>健康教育や日常の中で、自分の健康や身を守ることの大切さを知らせている</p> <p>看護師は健康診断や健康教育に、公立の連携園から来てもらっている。子どもが自分の身体に関心をもてるよう、体の不調などを自分から訴えることができるように、健康教育をしている。看護師は主に4・5歳児を対象に、手洗いの方法やプライベートゾーン、風邪やうがいについてなどを絵本など視覚的でわかりやすい教材を用いて伝えている。日々の保育の中では、保育士が実際の手洗い場面で手の洗い方を伝えたり、危険な遊び方や場所などを知らせている。散歩時には道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを伝えている。</p> <p>定期健診年2回、歯科、耳鼻科、眼科健診を年1回受けている</p> <p>薬の預かりは原則としてしていないが、長期間継続した投薬が必要な場合や慢性疾患で、主治医が保育中の服用または預かりが必要と認めた場合には「与薬申請書」を医師に記入してもらい、提出してもらっている。嘱託の園医は年2回の定期健診時に来園し、子どもの健康管理に関する相談にも応じてくれている。その他、全園児対象の歯科健診や3～5歳児対象の眼科健診、耳鼻科健診も年1回実施している。年1回、4・5歳児は保健所の歯科衛生士による歯磨き指導も受けている。</p> <p>保健だよりや掲示などで感染症発生情報などの健康に関する情報を伝えている</p> <p>毎月の身体測定や各種の健診の結果は「健康カード」に記入して保護者に知らせている。毎月の保健だよりでは、健診などの保健行事、体のリズムを整える、登園前の体調チェック、熱中症対策、虫刺され、食中毒、夏の感染症、歯磨きなど、季節ごとの子どもの健康管理の情報を掲載している。感染症の発生情報は各クラスの窓ガラスや廊下、階段の踊り場に設置した掲示板に掲示して、保護者に知らせている。乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、保育園での昼寝時には午睡チェックをしている。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p>保護者会は年2回実施して保護者同士の交流の機会にしている</p> <p>新入園児の場合は4月初日の親子登園の時に自己紹介をして知り合える機会にし、親子の写真を撮影して、覚えてもらうように一定期間保育室に掲示している。保護者会は年2回実施して、前期は自己紹介や簡単なゲームをして楽しんでもらった後で、園からの保育に関する説明をしている。後期は幼児クラスでは15時50分～17時には、ふれあいDAYとして親子で遊んだり、子どもたちが劇遊びを披露したりしている。当園ではクラス単位の父母会活動もおこなわれており、父母会総会には園長が参加している。</p> <p>個人面談や保育参観などの機会に、保護者と職員との信頼関係づくりをしている</p> <p>送迎時などの機会に保護者とのコミュニケーションを大事にしている。園だよりには職員や保護者の人柄がわかるような、リレーエッセイを掲載している。テーマをマイブーム、私がわが子と似ているところ、好きな絵本、その他にして、原稿を依頼して掲載し、職員や保護者同士が知り合える機会にしている。個人面談を年1回期間を決めて実施しているが、必要に応じて随時受けて、じっくりと話を聴くようにしている。</p> <p>保育参観・参加は期間を設けて参加を呼びかけ、給食の試食をしてもらっている</p> <p>保育参観・参加は随時受けているが、期間を決めて呼びかけ、都合に合わせて参加してもらっている。保育参観・参加と個人面談をセットにしていることが多いが、別の日でも実施している。2歳児からは保育参加をする人が多いが、見たい場面や見てもらいたい場面がある場合には、隠れた場所から見てもらう参観をしていることもある。時間は10時から12時15分、食事の場面まで参加された場合には幼児クラスでは給食の試食を提供している。乳児クラスは保護者の時に、おやつまたは給食の試食をもらっている。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>併設の高齢者活動施設と交流したり、図書館を利用したりしている</p> <p>併設の高齢者活動施設の利用者との交流をして、年1回、4・5歳児が歌やソーラン節などの踊りを披露し、利用者と一緒に輪投げ遊びなどをして交流している。高齢者施設の祭りには園児の作品を展示してもらっている。区立図書館には2か月に1回、5歳児が貸し出し絵本の選本に行き、絵本を見たり、絵本の借り方を教えてもらい、公共施設の利用の仕方やマナーを学んでいる。清掃事務所には年1回、スケルトンのごみ収集車で様子を観察し、紙芝居でリサイクルやごみの分別について教えてもらい、マイバック作りをしている。</p> <p>地域の公私立保育園の5歳児と交流している</p> <p>地域の私立保育園2園と5歳児同士の交流をしている。園内研修で、「カードゲームの取り扱い」をテーマに外部講師を招き講演と実技講習を受けた時には、近隣の園に参加を呼び掛けて、私立園2園から4名、公立園1園から3名の参加があり、一緒に学んでいる。近隣の公立園に5歳児が焼き芋会や人形劇に招待してもらい参加している。</p> <p>地域子育て支援として「あまっこ広場(園庭開放)」を実施しているが参加者は少ない</p> <p>地域の子育て家庭への支援事業として「あまっこ広場(園庭開放)」を、毎週月曜日と4・8・3月を除く第3水曜日の10時～11時15分に実施している。近隣に子育てプラザがあるためか、門付近に、お知らせを掲示しているが参加者は少なく、園見学者に遊んで行くように声掛けすると、遊んで帰り、再来園してもらっている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	乳児クラスでは少人数グループで活動し、子どもの思いを受け止める保育をしている	
内容①	園の特色として「子ども・利用者に温かい対応、そして一人ひとりを大切にしたい保育をします」を挙げている。2歳児クラスまで緩やかな担当制にして、園庭で遊ぶグループと散歩に出掛けるグループ、あるいは遊戯室で遊ぶグループと製作遊びをするグループという具合にして、少人数グループで行動する保育をしている。職員同士の協力体制を取りながら、少人数グループにすることで、一人ひとりの子どもの発達に合わせて活動したり、子どもの思いを丁寧に受け止めることができるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	子どもの様子に加えて指導計画なども掲示やファイリングして、保護者に伝えている	
内容②	日中の保育活動や子どもの様子は、乳児クラスは連絡帳で伝え、幼児クラスは貼りだし日誌を掲示し、時には写真を掲示して伝えている。送迎時には、保護者に一言でも子どもの様子を伝えるように心がけている。そして、保育の計画については、前期の保護者会で各クラスの年間指導計画を配付して、クラスの保育目標や大切にしたいことを説明している。毎月の月案はファイリングして、保護者に見てもらいやすいように、1階の階段付近と遊戯室に置いている。週の活動予定は各保育室入り口に掲示して知らせている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	小グループ活動の実践により、職員から前向きな提言がおこなわれている	
内容③	職員のアンケートから3テーマ「園庭」、「食具」、「連絡帳」を選び、各テーマごとにグループ活動を実施している。全職員は3グループのどれかに属し、保育向上リーダーを中心に、保育の現状や課題、改善について継続的に話し合いの機会を持っている。小グループということで、自由に意見が言い合える雰囲気醸成されており、食事に使用するスプーンの改善やクラスだよりの書き方、必要なおもちゃを導入と子どもの遊ばせ方の工夫を行うなど具体的な改善にもつなげている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	古い施設であるが園の環境を工夫して子どもが安心して過ごせる環境作りをしている
	内容	2階建てで、高齢者活動施設との併設施設である。築50数年の古い建物であるが、清掃や整理整頓をして、子どもたちが安心して心地よく過ごせるようにし、園の環境を工夫して、子ども一人ひとりがやりたいことを実現できる環境作りを目指して取り組んでいる。周辺には公園が点在して、自然に触れたり思いっきり体を動かして遊ぶことができるので、よく散歩に出掛けている。利用者調査の結果、施設サービスの総合的な満足度は大変満足55%、満足39%と非常に高い満足を得ている。
2	タイトル	広くはないが、子どもが安心していろいろな遊びの楽しさが味わえる園庭環境にしている
	内容	広くはないが、日当たりのよい庭の小さな花壇には草花、プランターにはナスや大根、白菜などの野菜を植えて、子どもたちが草花や野菜を眺めたり触れたりし、周囲では虫探しをして遊んでいる。砂場では砂遊び、夏には泥んこ遊びや色水遊び、土を運んできて泥遊びができる環境を用意し、園庭ならではの遊びを楽しむことができる。乳児と幼児の優先使用時間は決めているが、一緒に遊ぶ時間も設けて、乳幼児が入り混じって遊べるようにしているなど、子どもがいろいろな遊びの楽しさを味わうことができる園庭環境にしている。
3	タイトル	職員が小グループで自主運営しながら保育の課題について学び合い、保育実践につなげている
	内容	職員が3つのグループ(食具、連絡帳、園庭)に分かれて、月1~2回集まり、自主的に学び合っている。食具グループは子どもにとって良い食具、使いやすいスプーンの頭の形や柄の長さ・太さなどを検討している。連絡帳グループは、連絡帳の書き方を中心に、子どもの様子を伝える書き方について意見交換をしている。園庭グループでは園庭遊びが豊かになるように、保育者が提供したい遊具、子どもが遊びこめる遊具の検討などを行っている。話し合いを通して保育観を共有し、自分の保育を振り返る機会になっている。12月には活動のまとめを予定している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の保育の特色などを盛り込み、本園らしい全体的な計画への見直しを期待する
	内容	全体的な計画は子どもの現状や周囲の状況を考慮して、園目標、そのために大切にしていることを挙げ、保育指針を基に子どもの発達過程を示し、各クラスの保育のねらいや内容を養護と教育の領域で作成している。今後は地域環境や保育の特色、保護者との連携、小学校との連携など、園の全体像を盛り込み、より本園らしい全体的な計画への見直しを期待する。
2	タイトル	子どもたちの経験を広げるために、地域と連携して、さまざまな世代の人々との交流の機会を増やす取り組みを期待する
	内容	地域との交流では併設の高齢者活動施設と年1回交流し、施設のお祭りに作品を展示している。地域の私立保育園と5歳児同士の交流の機会設けている。週1回の園庭開放利用者も、地域の人々との交流の機会も多くはない。今後は、子どもの生活の幅を広げるために、定期的にボランティアを受け入れるなど、地域と連携してさまざまな世代の人々との交流の機会を増やす取り組みを期待する。
3	タイトル	会議・ミーティングの協議事項及び情報共有について、より効果・効率的に話し合いが行われるよう改善されるよう期待したい
	内容	毎週開催している職員会議に加え日々のミーティングで、必要な話し合いや情報共有をおこなっている。特に子どもの状況や体制などについてミーティングを丁寧におこなっている。その一方、職員アンケートでは、「ミーティングの時間が長い」というコメントも寄せられた。そのため、ホワイトボードを活用したコミュニケーションの工夫といった良い取り組みもある。ミーティング時間の短縮に向けて、さらなる効果・効率的な会議・ミーティングの実施を期待したい。

2. 阿佐谷南保育園

阿佐谷南
保育園

調査対象	2019年10月調査時点の在園児121名の保護者102世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。		
調査方法	クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。		
利用者総数	121		
利用者家族総数（世帯）	102		
共通評価項目による調査対象者数	102		
共通評価項目による調査の有効回答者数	78		
利用者家族総数に対する回答者割合（%）	76.5		

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」4名（5%）、「母」50名（65%）、「父母一緒に」12名（15%）、無記入12名（15%）。年齢：「20歳代」1名（1%）、「30歳代」43名（55%）、「40歳代」21名（27%）、無記入13名（17%）。
 ・総合的な感想は「大変満足」26名（34%）、「満足」43名（55%）、「どちらともいえない」7名（9%）、「不満」1名（1%）、無記入1名（1%）で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の89%で、当園の保育に関して高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心のある活動」、問3「食事」、問9「清潔、整理整頓」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。
 ・総合的な感想では、「担任以外の先生やパート職員の人もいつも笑顔なので、安心して子どもを預けることができる」「子どもたちが使用するおもちゃやトイレなどもとてもきれいで安心して利用している」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	74	3	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「集団行動を幼いころから学び、保育園でなければ学べない多くのことを得ている」「お友だちとの触れ合いのなかで、学ぶことが多い」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	71	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、興味や関心を持って活動に関して高い満足を得ている。「子ども一人ひとりの月齢や発達、興味に合わせて、遊びを工夫してくれている」「子どもが、（園で）こんなことをした、などとよく話してくれる。楽しんで活動していると思う」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	71	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「完食することが多く、食べるものについて配慮してくれている」「食べる時の行儀や健康的な食べ方についても、根気強く伝えてくれているようだ」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	54	18	5	1
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」7%、非該当1%であった。「どんぐりや姫りんご、枯れ葉など自然と関わる機会があるので安心している」「お散歩や園庭遊びを積極的に取り入れているのでありがたい」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	54	11	2	11
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」14%、「いいえ」3%、非該当14%であった。「事前連絡をすれば対応してくれるので助かる」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	63	12	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、安全対策について高い満足を得ている。「園舎が新しくなった。設計時点から安全確保のためのノウハウが反映されているように感じる」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	51	21	4	2
「はい」と返答した方々は回答者の65%、「どちらともいえない」27%、「いいえ」5%、非該当3%であった。「いくつか希望日を相談できるのでありがたい」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	64	11	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、家庭と保育所との信頼に関して高い満足を得ている。「連絡帳を通じてわかりやすく報告してくれる」「困ったときには先生に聞いてみたいと思える対応をもらえる」「子ども一人ひとりの個性を把握してくれている」「面談だけではなく、気軽に話せる環境だと思う。日々の送迎の際などに会話する機会があるので心強い」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	76	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「子ども用トイレはいつ見ても問題ないと感じる」「常時、清掃の人がきれいにしてきているので安心している」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	67	6	4	1
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「クラスが違う先生も子どもの名前を覚えてくれている」「廊下で会うといつも声を掛けてくれる」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	69	6	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「小さな傷についても、原因を報告してくれる」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	55	14	4	5
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、利用者同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「些細なけんかについても、どんな様子だったかを教えてくれる」「経緯をきちんと説明してくれるので安心している」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	71	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子ども一人ひとりの個性を活かして保育してくれている」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	62	7	1	8
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。「よく配慮してくれていると思う」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	59	16	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。「毎日の連絡帳や掲示板、個人面談や保護者会でわかりやすく園での生活を伝えてくれている」「クラスだよりや園だよりも楽しみに読んでいる」「日々の日誌を楽しみに読んでいる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	51	16	2	9
「はい」と返答した方々は回答者の65%、「どちらともいえない」21%、「いいえ」2%、非該当12%であった。「適切に早く対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	22	23	13	20
「はい」と返答した方々は回答者の28%、「どちらともいえない」29%、「いいえ」17%、非該当26%であった。				

I 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当	
カテゴリー1の講評		
年度初めの職員会議で、理念・目標などを確認し合い、職員間で共通理解を深めている 児童憲章・理念・園目標を事務所に掲示し、職員への意識づけを図っている。年度初めの職員会議で、理念・目標を確認し合い、職員間で共通理解を深めている。また、「係の目標シート」に記入した該当年度の組織目標について、中間で振り返り(評価)をしているが、年度途中でも適宜検討し、園で大切にしていること、具体的な事例などについて討議している。他方、保護者に対しては、入園説明会や保護者会等で園が大切にしていることを説明している。そのほか、園の重要事項は、お知らせを配布したり、掲示したりして、保護者に周知している。		
保育向上リーダーを含めた当園の5本柱が中心となって、保育の質向上に取り組んでいる 園長・主査は職員個々の意向を聴取し、現場の問題課題を把握・整理分析し、園運営の改善に向け、リーダーシップを発揮している。また、保育向上リーダー2名を配置し、主査2名・園長も含めて、当園の5本柱となり、これらの5名が役割を認識し、園内研修を企画するなど、保育の質向上に積極的に取り組んでいる。幹部層は、トップダウンではなく、職員個々の意見が反映され、時には、時間をかけても、同じ方向を向いて進もうとの話し合いを大切にしている。		
職員個々の意見や提案を職員会議の議題にあげ、職員全体で検討することになっている 事務分担、行事・係、担当表を作成し、職員全員が主体的に園運営に関われるようにしている。園内の組織図も作成し、指示命令系統を明らかにしている。職員個々の意見や提案を職員会議の議題に挙げ、職員全体で検討することになっている。緊急案件には、臨時でクラスリーダーが参集し、解決について検討している。パート職員に対しては、年度初めに書類を配付し、仕事上の留意事項を説明している。また、土曜日の午前、午後の仕事内容表(申し送り)を作成し、毎週、皆で確認し、作業をしている。年1回、パート職員との個別面談もおこなっている。		

2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリー2の講評			
<p>日頃の保護者との会話を大事にして、保護者の希望や要望を把握している</p> <p>保護者会や個人面談、登降園時の担任保育士などとの会話を通して、園への要望・希望を聴取している。乳児クラスは連絡帳も活用し、保護者の思いなどを把握している。運動会や保護者会の実施後に保護者の感想や意見を把握している。4月の父母の会の総会に、園長、主査が参加し、子育てのための情報共有に努めている。保護者会の開催前に話したい内容や質問などを収集し、効果的な保護者会となるよう努めている。</p> <p>地域懇談会などに園長・主査が参加し、情報交換・情報収集している</p> <p>近隣の保育所が参集する地域懇談会や児童館主催の地域子育てネットワーク、行政連絡会、地域防災訓練に園長・主査が参加し、情報交換・情報収集している。また、園長会・主査会や各研修への参加を通して園運営に必要な情報を収集し、職員会議などで情報伝達している。区からの通達文書や専門雑誌、新聞記事などからも保育園をめぐる課題について情報収集し、把握した情報から必要な事項を抜粋し、職員会議などで情報伝達し、自園の運営に活かすようにしている。</p> <p>年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している</p> <p>区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々が何をやるべきか明確にしている。計画に対しては、中間反省、後期目標の設定、年度末反省をおこない、改善に活かしている。また、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しをおこない、財政課の査定を受け予算編成をおこなっている。</p>			

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
<p>「新任研修」に新規職員を派遣し、公務員倫理や人権などについて教育指導している</p> <p>区人事課主催「新任研修」に新規職員を派遣し、公務員倫理や人権、情報セキュリティ、ビジネスマナーなどについて教育指導している。また、保育課主催の新規採用職員研修にも派遣し、区作成の「保育実践方針」を用いて、日々の保育で大切にすることなどを教育指導している。区からの個人情報の保護や公務員倫理などに関する通知文書を職員へ周知し、その遵守徹底を図っている。非常勤職員には、採用時の説明や、区保育課主催の実務研修への参加などを通して、保育上の留意事項について説明している。</p> <p>小さな心配ごとから保護者の思いや意見などを聴取し、すぐの対応に努めている</p> <p>苦情・要望等の相談窓口について「重要なお知らせ」に記載し、入園説明会で保護者に説明している。また、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを事務所に掲示している。入園説明会や保護者会で、心配なことや疑問を感じたときは、すぐに職員に伝えて欲しいことを説明しており、実際に小さな心配ごとから保護者の思いや意見などを聴取し、すぐの対応に努めている。また、保護者の思いや苦情は職員全員がミーティングや職員会議などで共有し、対策について検討している。</p> <p>園庭開放など、地域の子育て拠点としての役割を担っている</p> <p>週1回、園庭を開放しており、地域の在宅親子や近隣の保育施設(小規模園、認証保育所など)が利用している。月1回、地域の子どもの身体測定もおこなっている。近隣保育園が真夏にエアコンが壊れたなどの緊急時には保育室を提供し、1日60名・2日間、園児を受け入れ、区立園としての役割を果たしている。地域の小学校主催の災害救援所訓練に園長・主査と職員も参加し、災害時の地域の防災ネットワークに参画している。中学校の職場体験や高校等のボランティア、保育実習生、東京都支援員研修なども受け入れ、社会貢献に寄与している。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリ-4の講評			
職員会議で事故の事例ごとに内容・対策について話し合い、再発防止に努めている 「危機管理マニュアル」「杉並区業務継続計画(新型インフルエンザ等編)」を用意し、事故、感染症、防犯・災害などの発生時に迅速に対応できるようにしている。事故報告を受けて、職員会議で事例ごとに内容・対策について話し合い、再発防止に努めている。また、区主催の「保育の中の危機管理～保育施設における事故予防～」などの研修に職員が参加し、受講後、職員会議などで職員全体で共有化している。また、看護師がノロウイルス対策について実習をおこない、どの職員も迅速に対応できるようにしている。 計画に沿って、防災・防犯訓練をおこない、非常時に迅速に対応できるようにしている 「防災訓練計画表」を作成し、プール遊び中、午睡中、散歩中、朝保育・夕保育中などさまざまな場面を想定した地震・火災発生時の訓練をおこなっている。毎月、防災頭巾や非常持ち出し用品の点検、自主点検表・備蓄品のチェックなどをおこない、非常時に備えている。予告なしの訓練も実施している。消防署員から最新の救急法について学んでいる。年2回、防犯訓練を実施している。不審者への対応方法、落ちていて判断・連携できるよう、合言葉の確認、サスマタなどの防犯グッズの場所の確認などを実施している。 区の情報セキュリティ基本方針などに基づいて、個人情報の管理をおこなっている 杉並区個人情報保護条例や情報セキュリティ基本方針に基づいて、個人情報の管理をおこなっている。全職員に対して、採用時に個人情報保護の遵守について説明している。個人情報に関わる書類・物品の保管方法や注意事項を一覧表にし、これに則り、対応している。毎日、7時30分、18時45分、19時45分に個人情報の保管場所の施錠について確認している。児童票やSDカードなどを、保管場所から持ち出す際は、園長、または主査に申し出ることや、事務所から持ち出すときは持ち出し票に記録し、返却時にチェックすることとしている。			
カテゴリ-5			
5	職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当	

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>園児の状況や職員の経験年数などのバランスを考慮し、園内の職員配置を決めている</p> <p>正規職員は区人事課が募集・採用し、パート、アルバイト、嘱託職員は保育課で募集・採用している。園長は職員個々と面談をおこない仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を実施している。また、クラス担任の希望を取り、園児の状況や職員の経験年数などのバランスを考慮し、園内の職員配置を決めている。</p> <p>区保育課主催の実務研修に職員を派遣し、職員個々のキャリアアップにつなげている</p> <p>区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで、職員の資質向上を図っている。キャリアアップに必要な実務研修を区保育課で実施しており、計画的に保育士としての知識・スキルの習熟につなげている。研修受講後はレポートの提出だけでなく、毎週おこなっている定例会議で報告し、知識・スキルの共有化を図っている。また、全体的な計画の見直しでの話し合いなどでは、保育計画が実際の保育にどう活かされているか、また個々の子どもの成長の姿や気になる姿などを伝え合う中で、個々の職員の専門スキルの向上につなげている。</p> <p>事例討議などを通して、職員間の自由な意見交換をおこない、やる気向上につなげている</p> <p>園が提唱する働き方改革を受け、時間内に仕事が終わるように職員の意識を変えるよう周知している。また、効率的・効果的な打ち合わせができるよう取り組んでいる。クラスでの打ち合わせや職員会議などでの事例討議では、自由な意見交換ができる関係づくりに努めている。職員アンケートでは、「他職員の意見を聴くことで刺激を受けたり、モチベーションアップにもつながっている」などのコメントが寄せられていた。さらに、園長や主査が、パート職員の仕事内容や関係性についても聞き取り、気持ちよく働けるように調整している。</p>		

カテゴリ7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「保育の計画についての見直しと作成をおこなう」を前年度の重点課題とした。
 ・上記の目標を受け、現状の保育計画について見直しをおこなった。アンケートを取り、保育の計画についての課題を抽出し、毎月の指導計画(平日の昼間に月2回)の検討の他、職員会議にてテーマを決めて、保育の実際について討議を進めた。職員個々の思いや疑問の解決、保育の方法とその意味について話し合うことができた。0歳児保育や障害児指定園としての機能を果たすための準備として全体的な計画を見直し、保育への取り組みについて、深め合うことができた。年間計画の作成に活用した。
 ・次年度に向けては、養護と教育を一体的におこなっている保育園の保育の捉え方を再確認し、新たに始めた0歳児から就学までの継続した保育内容、段階を追った計画の見直し、毎月の指導計画の様式の変更に取り組み、指針、全体的な計画、年間および月の計画が連動して機能できるようにしていきたいと考えている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、次年度からの0歳児保育、障害児指定園としての新事業に備えるため、保育の計画の見直しと作成に取り組んだ。毎月の指導計画検討のほか、職員会議でもテーマを決めて、保育の実際について討議を進め、全体的な計画として0歳児を加えたものに作り替えた。話し合いを通じて、保育への取り組みについて深め合うことができた。職員アンケートでは、「全体的な計画の見直しを通して、保育への思いや振り返りを重ねることができた」「子どもが主体的に活動するためにはどうしていくのが良いか、職員皆で考えている」「子どもたちのために、と話し合う機会を多くつづけている」などのコメントが寄せられた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「新園舎への移転に伴う保育環境の整備の準備と検討をおこなう」を前年度の重点課題とした。
 ・上記の目標を受け、仮園舎での生活を継承し変化を最小限にできるよう保育や生活も考慮して進めた。保護者も子どもも安心して、移行できるように適宜情報を提供した。0歳児保育開始や新園舎への移行についての情報提供は、保護者と子ども達へもおこない、混乱なく移行できた。保育室の環境設定、保育の流れを話し合い、職員間のイメージの共有を図り、仮園舎での生活から新園舎への生活に向けて無理なく移行していけるように環境設定をおこなった。保育課施設担当、営繕課との連携を密にとり、保育施設としての安全や適切な空間作りをおこない、その結果、細部に工夫された施設となった。
 ・今年度は、新たな保育の状況、内容や方針を、保護者に知らせ、安心して子育てができるよう取り組んでいる。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、新園舎で運営を再開したという大きな変化があった。新園舎の準備に加えて、定員の増加や障害児指定園および0歳児保育の実施に向けて他園での実習をおこない、職員同士の話し合いを重ねた。また、仮園舎への移転で出た反省をもとに計画案を立て、準備の効率化を図った。保護者への情報提供や説明を適宜おこなったことで、保護者も子どもも混乱なく移行できた。短い時間も活用し、全職員で協力し、保育室の準備などをおこなった。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>区のホームページや冊子などで情報提供している</p> <p>区のホームページで、園舎の写真や住所、対象年齢、定員、保育目標、地図、主な行事、園の特色、保育室や園庭の写真などを掲載して情報提供している。区が発行している冊子、「保育施設利用のご案内」や「杉並区保育施設マップ」、「くらしのガイド」、広報紙などでも情報提供している。園の門には外部向けに、子育て支援「すくすく」のポスターを掲示して、園庭開放や身体測定（月1回）へのお誘いをしている。</p> <p>区や関係機関などと情報交換し連携している</p> <p>区立直営園であることから、所管課に延長保育実績や子育て支援事業報告、感染症の発生状況などを報告し連携している。区立保育園園長会に月2回参加して、所管課と情報交換している。所管課主催の地域懇談会では年2回、地域の公私立の保育園・認証保育所などの園長と意見交換をしている。地域子育てネットワークでは地域の小学校や公私立保育園、児童館、学童クラブ、中学校、保健センター、民生委員、町会などと子どもに関する情報や年間行事予定などを交換している。</p> <p>見学者受け入れは原則水曜日の午前中にして、園舎内を案内し説明している</p> <p>見学者の受け入れは、水曜日の午前中10時30分～11時30分頃に実施している。毎回10～12組程を受けているが、相手の事情や都合に合わせて、日程調整して受けたり、園で感染症が発生した場合には日程変更をお願いしたりしている。対応は園長がおこない、見学者には施設概要のパンフレットを配布して、園舎内を案内している。園の目標や方針を説明し、保育の特色として、子ども一人ひとりに寄り添う保育、子どもの24時間を考えて園と家庭とで連携しながらの子育て、子どもの主体的な活動を大事にしていることなどを伝えている。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前には入園説明会を実施して、基本的なルールや重要事項を説明している</p> <p>4月入園の内定者には2月中旬ごろに健康診断と入園面接を実施し、園生活に必要な物の説明をしている。3月中旬の土曜日には入園説明会を実施して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「保育園のしおり」を配付して見てもらいながら、施設の概要や保育時間、延長保育、園の保育目標、保育方針、給食、健康管理、園生活のルール、緊急時の対応、安全管理、個人情報の管理、お願い事項などを説明して、同意を得ている。</p> <p>慣れるまでの保育は家庭や子どもの状況により個別に進めている</p> <p>入園面接で家庭や職場の状況、仕事復帰時期などを聴き、慣れ保育についての園の考え方を1週間程度と説明し、子どもの慣れ具合や集団保育の経験の有無などにより、個別に進めることを了承してもらっている。乳児クラスは初日は親子で給食まで過ごしてもらい、保護者に日常の様子を聴いたり、食べさせてもらうなどしている。2日目以降は子どもを預かり、個々の状態に合わせて徐々に保育時間を延ばしている。子どもや保護者と早めに信頼関係を築くことを大事にし、迎えの際には子どもの様子を詳しく伝えている。</p> <p>転園や退園、卒園には可能な支援の継続をしている</p> <p>区立保育園への転園では児童票(写)を送付し、健康カードを継続使用している。引っ越しなどで年度途中で退園する場合には、クラスでお別れ会をしてメッセージカードを渡したり、最終日にはみんなで見送り、「近くに来られた時には遊びに来てください」などと伝えている。卒園児の就学先には「保育所児童保育要録」の写しを送付して、引き継いでいる。卒園した1年生は、父母の会主催の夏祭りに遊びに来ている。地域の小学校のイベントに参加したり朝顔の苗をもらいに行った時など、子どもたちに声を掛けている。</p>			

サブカテゴリ3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリ-3の講評	
<p>子どもの生活や心身の状況を児童票や保育日誌などに記録して把握している</p> <p>入園面接時に身体測定及び園医による健康診断をおこない、子どもの健康・発育状態、既往歴、予防接種歴、アレルギーなどを把握している。保護者に記入してもらった「入園までの生活状況」をもとに、個別面接を実施して子どもの食事、排せつ、睡眠、言葉、運動機能、好きな遊びなどを確認し把握している。入園後は日々の子どもの体調などを、乳児は複写式の連絡帳で、幼児は口頭で聴き取り把握して保育し、保育日誌や保健日誌に子どもの状態を記録している。子どもの保育の経過記録を児童票に記載している。</p> <p>指導計画は子どもの実態などを振り返り、担任同士で話し合って作成している</p> <p>職員皆で話し合って作成した全体的な計画を基に、年間指導計画を子どもの実態やクラスの状態を見据えて作成している。月間指導計画（月案）、週案は子どもの姿やクラスの状態を担当同士で振り返り、翌月のわらいや活動内容を決めて作成・見直している。看護師や栄養士の意見ももらい参考にしている。個別の計画は0～2歳児は毎月全員、幼児は必要な子どもの配慮点を月案に記入している。特別な配慮が必要な子どもの場合には子どもに応じて2か月ごとの個別計画を作成している。</p> <p>子どもに関する情報共有のためにミーティングなどさまざまな会議を開催している</p> <p>月末には指導計画の検討会議を2日間開催して、各クラスの月案に眼を通し、担任から出される課題について討議をして、子どもの実態やクラスの状態を全職員で把握している。その他にも毎日のミーティングで、職員体制や子どもの怪我、ヒヤリハットなどの報告、アレルギー一食の確認などを行っている。月1回の職員会議では保育内容をテーマに話し合い、週1回の定例会議では行事計画や避難訓練の検証、各係からの課題について話し合っている。幼児・乳児打ち合わせもそれぞれ月1～2回実施して、異年齢交流などの検討や情報交換をし、保育を共有している。</p>	
サブカテゴリ-5	
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5</p>
<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている
<p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
サブカテゴリ-5の講評	
<p>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>区の個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底することや写真・ビデオなどの取り扱いについて入園説明会で説明し、同意を得ている。療育機関との連携は対象児の保護者の要望と同意を受けておこなっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、水遊びやシャワーの際には、衝立や扉などの目隠しを設置している。5歳児を対象に看護師によるプライベートゾーンの話をして、他の人に見せないことや着脱の仕方を知らせ、おむつ替えやおもらしの着替えなども他から見えないように配慮している。</p> <p>一人ひとりを大切に保育をしている</p> <p>「子ども一人ひとりを大切に、子どもの心身の育ちを保障します」を保育理念に掲げて、子どもの表情や行動を丁寧に観察して子どもの気持ちに寄り添う保育を心掛けている。子どもの誕生日には、その日に誕生日のバッジをつけて、出会ったみんなからお祝いの言葉ももらい、一人ずつクラスでお祝いをしている。玄関近くの絵本コーナーや乳児保育室の入り口など場所を決めて、誕生児紹介の掲示をしている。また、子どもの名前を大事にして、保護者の意向を聴いて呼び方に配慮している。</p> <p>日頃から子どもの様子などに気を配り、虐待の早期発見・対応を心掛けている</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応している。職員は日頃から、子どもの様子やつぶやきなどの言動、身体の不審な傷などに気を配り、理由を子どもに聴いたり保護者に確認したりして、虐待の早期発見・対応を心掛けている。少しでも気になる場合には園長に報告している。園長は子ども家庭支援センターと区の所管課に連絡し、連携して対応することになっている。職員は、テーマ「子どものSOSとその対応」の研修を受講し、研修報告をして職員間で共有している。</p>	

サブカテゴリ-6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○非該当
サブカテゴリ-6の講評	
<p>区立園共通のマニュアルや園独自の手引書などを整備している</p> <p>区立園共通の「杉並区立保育園実践方針」「危機管理マニュアル」などを整備している。マニュアルは事務室の棚に置き、確認したい時にはいつでも見ることができるようにしている。園独自の手引書として、「職員・パート職員の仕事、(平日用)・(土曜日用)」「土曜日の支度の仕方図」「職員のオリエンテーション」「役割分担・係分担」「散歩に関する確認事項」「園庭及び室内遊びの確認事項」などを用意している。</p> <p>年度末や必要に応じて随時、見直しをしている</p> <p>年度末の1月頃から、新年度に向けて、園独自の手引書類の見直しをしているが、変更する必要が生じた場合には随時に見直しをしている。例えば、「パートの仕事の内容」については子どもが成長したり、職員の事情などで変更する必要が生じた時には職員会議に提案して、見直し修正をしている。「土曜日の支度の仕方」や「当番の仕事内容」などは曖昧になっている点に気が付いた時には提案して確認している。</p> <p>職員や保護者からの意見・提案は検討して改善につなげている</p> <p>毎年度末時に指導計画や延長保育、延長スポット保育、保護者対応などの年間反省をして、次年度に引き継いでいる。また、職員や保護者からの意見・提案には、受けとめて検討し、改善につなげている。例えば、土曜日に登園する子どもの支度場所について保護者の意見を取り入れてわかりやすく統一した。門の開閉のチェーンを忘れられるなど、約束事が守られていない状況がある場合にはお知らせを発行して、保護者にも協力を依頼している。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で遊びたいものを選んで遊べるような環境設定をしている</p> <p>前年に完成した施設で、1・2歳児室は、それぞれ隣接した2部屋あり、分かれて保育が可能な設計になっている。訪問した12月には、両クラスとも食事と遊びの部屋に分けて、少人数で活動する保育をしていた。遊びの部屋は子どもの年齢発達に合わせ、興味や関心がある玩具類を子どもの使いやすい玩具棚に並べて、ままごとや絵本、積み木などの遊びごとのコーナーを作り、子どもが自分で遊びたいもので落ち着いて遊べるようにしている。0・1歳児室では階段、肋木、布団などを設定している。</p> <p>幼児クラスで異年齢の3グループに分かれて、交流活動をしている</p> <p>幼児クラスは3グループに分かれて、月1回程度、たて割り保育の日を設定し、遊んでいる。グループ毎に名前を決めて、交流している。また、リズム遊びを共通しておこない、運動会では3クラス合同種目として一緒に取り組んでいる。</p> <p>地域の連携小学校と交流して、交流給食や学校案内などをしてもらっている</p> <p>園児の就学先の小学校は数校あるが、地域の連携小学校と交流して、今年度からは5歳児が交流給食に参加する予定である。学習発表会を見せてもらったり、2月頃には、1年生との交流で、学校内を案内して教室で教科書を見せてもらい、一緒に遊んだりしている。別の小学校にも、1年生が育てた朝顔の苗をもらいに行っている。6月の5歳児保護者会では連携校の1年生の担任の先生に「新1年生になるにあたって」のテーマで講話をお願いし、12月には学童クラブの職員からの説明を受け、保護者からの質問にも応じてもらっている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの健康観察をして保護者に子どもの様子を聴いている 登園時には挨拶を交わして、子どもの表情や顔色、機嫌などの健康観察をしている。保護者に、家庭での子どもの様子を聴いている。朝当番保育士が受ける場合には、前日かまれた、引っかかれた、発熱、嘔吐して欠席などについては、担任が朝タノートの前日からの連絡欄に記入して、保護者に確認している。保護者からの伝言や聴き取ったことなどは、家庭からの報告欄に記録して漏れがないように引き継いでいる。</p> <p>休息(昼寝を含む)は子どもの状況に合わせて配慮している 0歳児は必要に応じて午前や夕方にも睡眠をとっている。1～5歳児では午前中の活動で汗をかいたり、汚れたりしている時には、食事前に着替えて、昼食後には昼寝というリズムにしている。早めに目覚めた子どもは起こして、同じ部屋で静かに遊んだり、特別室で遊んだりしている。寝ていても15時には起こしている。就学を控えた5歳児は12月頃からは昼食後静かに遊び、昼寝の時間を徐々に短くしていき、過ごしている。</p> <p>迎えの保護者には、連絡帳や掲示日誌、口頭で子どもの様子を伝えている 降園時には迎えの保護者に、担任がいる時には日中の子どもの様子を伝えている。乳児クラスは連絡帳に日中の子どもの様子を記載し、幼児クラスは掲示している日誌を読んでもらい、保育の様子を知らせている。園からの連絡事項がある場合は朝タノートの園からの連絡欄に担任が記載して、口頭でも引き継ぎ保護者に伝えている。怪我や体調など、子どもの状況を説明する必要がある場合には説明できる担任が保護者の迎えを待って伝えている。状況により園長や主査も保護者の迎えを待って対応している。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもがじっくり遊びこめる時間や場所の確保をするためにクラスが連携している</p> <p>木曜日に翌週の園庭、遊戯室、散歩の予定を立てて、各クラスが連携して十分遊べるように工夫している。園庭は8時30分頃から自由に好きな遊びをしているが、9時30分頃には予定していたクラスが使っている。保育室に電車と線路や木製積み木などのコーナーを作り、継続して遊べるようにしている。のびのびと積み木遊びができるように、特別室の一つを積み木遊びができる部屋にしている。子どもの製作物や組み立て途中の物は棚におけるようにしている。</p> <p>5歳児は人数報告当番を通していろいろな人に伝える話し方を経験している</p> <p>乳児クラスでは少人数保育をして、子ども同士や保育者との関わりを大事にして、言葉遊びや手遊び、絵本などを通して、いろいろな言葉に親しんでいる。5歳児になると当番活動として、人数報告と給食当番、水やり当番をしている。人数報告は幼児クラスを回り、出席人数を書いてもらい事務室に報告に来ている。ノックをして入室し挨拶、「人数報告に来ました」と告げてから人数を読み上げて報告してくれている。調理室にも同じように報告している。友達同士でおしゃべりをする時とは違う、いろいろな人に伝える話し方を経験する機会になっている。</p> <p>園庭遊びや散歩などで自然に触れて遊び、季節の移り変わりを感じている</p> <p>園庭には鉄棒や砂場があり、子どもたちは砂遊びや泥遊びをしたり、風呂マットやマルチパーツ、板などの可動遊具、フープ、竹馬などは子どもが使いたい時にいつでも使えるようにしている。散歩に出かけて、公園でダンゴムシやセミの抜け殻集めをしたり、カマキリに出会ったりしている。芝生の上を歩きまわられる公園では雑草摘みをし、池で鯉やザリガニを見たりしている。カナヘビを見つけて飼育したり、カブトムシ、アゲハの幼虫を飼育している。5歳児クラスでは散歩先で集めてきた木の实や木の葉、松ぼっくりなどを飾って楽しんでいる。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>興味がある「りゅう」を作り上げ、「りゅうまつり(お店やごっこ)」に取り組んでいる</p> <p>新聞紙で竜を作ったことがきっかけで「りゅうまつり(おみせやごっこ)をしようということになり、どんなお店をするのか、何を売るとかなど、子どもたちが考え、相談しながら取り組んだ。的あてゲームでは赤ちゃんもできる的あてを作ったり、お店屋の看板を工夫したり、食べ物屋は作りながらアイデアが浮かんできて種類が増えたりした。当日は、小さいお客さんの手を引いて迷路に入ったり、買い物に付き合ったり、やさしい売り子になったり、お店の切り盛りをしたりしたことが、「楽しかった」「やってよかった」という満足感、達成感になった。</p> <p>運動会は日頃取り組んでいる運動的な遊びを見てもらい、親子で楽しむ機会にしている</p> <p>5歳児は、開会の言葉や体操のお手本、閉会の言葉などの役割を果たし、種目では夏祭りの踊りをヒントにし、太鼓やバチも手作りして沖縄民舞に挑戦し、クラス競技には楽しかったりゅうまつりをもう一度やりたいという意見が出て、りゅうをイメージしたリズムのポーズを取り入れ、子どもたちがよく遊んでいる大縄跳びの縄を竜に見立ててぐったり跳んだりして披露した。リレーも繰り返し遊んでいる中で、チーム分けや走者順なども自分たちで相談し、作戦を考えて一所懸命走り、充実感を味わっていた。</p> <p>年間行事予定を配付し、保護者会や掲示日誌などで子どもの活動の様子を伝えている</p> <p>年間行事予定を年度初めに配付している。保護者参加の行事は運動会と卒園式であり、春の保護者会で伝えている。運動会に向けて取り組んでいる子どもたちの様子は、毎日の活動の様子をお知らせしている掲示日誌で見てもらったり、クラスだよりで知らせたりして楽しみにしてもらっている。期日が近づくとご案内や運動会だよりなどで見どころを伝えている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目5の講評			
<p>できるだけ良く慣れた保育室で安心して過ごせるようにしている</p> <p>夕保育では、4・5歳児は17時から4歳児室と一緒に過ごしているが、他のクラスは子どもがよく慣れた部屋で好きな遊びができるようにしている。いつも同じパート職員を配置して、一人ひとりの子どもとの関係ができて大人と一緒に、絵本を見たりまごごとや手先遊びなどの好きな遊びをしている。18時になると、4・5歳児は遊んでいた遊具や玩具などを3歳児室に持ち込んだりして、合同保育にしている。0・2歳児も18時には1歳児室に移動して18時30分まで一緒に遊んでいる。</p> <p>遊びや場所を変えて気分転換をして、落ち着いて楽しく過ごしている</p> <p>午後のおやつの後、雨天でない限り幼児クラスは園庭遊びをしてから室内で遊んでいる。乳児クラスも廊下やホール、ベランダ、特別室などで遊び、気分を変えて各保育室で夕保育に入っている。夕保育の当番保育士は基本的に乳児・幼児の担当がそれぞれの担当をしている。また、各幼児室は廊下を通らないで部屋間の移動ができる構造になっているので、子どもたちの遊びの区切りがよいときに移動するようにしている。</p> <p>延長保育は年上の子どもと年下の子どもと一緒に遊び、異年齢交流の場になっている</p> <p>延長保育は玄関横の特別室で過ごしている。室内にはソフトマットを敷いているので、上履きを脱いで、腰をおろし、ゆったりと過ごしている。乳児・幼児の利用児全員が一緒に、低いテーブルで折り紙を折って遊んだり、絵本を読んでもらったりしている。大人と一緒にいたい時には膝に抱いてもらったりもしている。年上の子どもと年下の子どもと一緒に遊んでいたりと、年上の子どもが年下の子どもに声をかけてくれるなど、自然な異年齢交流の場になっている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>安定して座り、決まった席で友達と一緒に楽しく食事している</p> <p>保育室内では食事の場所を決めて、テーブルを設定している。子どもの体格に合わせたテーブルやイスを使用し、必要に応じて足台などを用いて、安定して座り、決まった席で食べている。5歳児は後半になると子どもたちの当番活動として、配膳をしている。幼児クラスでは、誕生日や行事の会食にはランチョンマットを使用している。七夕や12月のわくわくパーティー、3月のひな祭りには会食し、縦割りグループで食べたり、部屋を行き来したりして実施している。七夕のメニューは七夕ちらし、鳥の照り焼き、サラダ、天の川スープなどであった。</p> <p>区立園共通の献立で、旬の食材を使い季節感を大事にして手作り給食を提供している</p> <p>区の栄養士が各園の職員の意見を取り入れながら作成した、区立保育園共通の2週間サイクル献立である。食品添加物を使用した食品は極力使用せず、栄養バランスを考慮し、旬の食材を使って季節感を出したり、季節の行事食を提供している。昆布、かつお節、煮干などで出汁を取り、素材の味を味わえるように薄味で手作りしている。子どもたちの喫食状況を調理職員も見に来てくれて、担任も食べ具合や反応などを記録して提出している。給食の簡単メニューを配布し、人気メニューを区のホームページに掲載したりしている。</p> <p>野菜栽培や食材に触れる経験、おにぎり作りや茶巾絞りをしている</p> <p>園庭のプランターで、きゅうりやトマト、ピーマン、里芋などの野菜を栽培している。子どもたちは水やりをしながら、花が咲いた実がなったなどと生長を観察し、収穫して調理してもらい食べている。赤と緑のピーマンを収穫した時には食べ比べをしている。食材に触れる経験では、とうもろこしや玉ねぎの皮むき、そら豆などのさやむきを手伝い、4・5歳児はおやつのおにぎりを自分で握っている。5歳児は保育室で炊飯の様子を観察し、炊きあがりの匂いを嗅ぐなどしている。芋ほりで収穫してきたさつまいもを使用して、茶巾絞りの経験をしている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>子どもが自分の身体や健康に関心を持つように健康教育をしている</p> <p>子どもが自分の身体に関心を持ち、病気や怪我の予防ができるように、健康教育をしている。風邪予防として、手洗いやうがいが大切であることをパネルシアターで分かりやすく説明し、咳をすれば菌が3～5m飛んでいることを紐を使って教えて、咳が出る時にはエチケットとして手で押さえることが大事と伝えている。5歳児対象のプライベートゾーンの話は絵本を使って知らせている。子どもへの健康教育は掲示して保護者にも紹介している。保育のさまざまな場面で危険な遊び方や場所、道路の歩き方などを知らせたり、子どもに気づかせたりしている。</p> <p>子どもの健康維持のために専門機関と連携している</p> <p>障害児指定園であり、囁託の園医は0歳児と特別な配慮が必要な子どもを対象に月1回、その他の園児は年2回健診で来園している。全員対象の歯科、3・4・5歳児対象の眼科、耳鼻科の健診は年1回専門医にお願いしている。区立療育機関からの訪問支援は保護者の要望や同意を得て、専門職に園での様子を見てもらい、支援の仕方についてアドバイスをもらい、担当が療育機関の摂食指導や療育の様子を見学させてもらうこともある。民間の療育機関の専門家が対象園児の保護者の了解を得て、園での様子を見に来園することもある。</p> <p>保健日よりや感染症の掲示などで保護者に情報を提供している</p> <p>毎月「ほけんだより」を発行して、保健行事予定、健康観察、生活リズムを整える、日射病、虫刺され、熱中症、嘔吐・下痢の対応、感染症など、季節に合わせた子どもの健康管理の情報や健診の結果などを知らせている。健康・保健に関するポスターや感染症発生情報は掲示して知らせ、マイコプラズマ肺炎、流行性結膜炎などのお知らせを掲示している。また、乳幼児突然死症候群(SIDS)の対策として、園の昼寝時には頭位や体位、呼吸などを観察する午睡チェックを実施している。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p>保護者の事情には園で可能な限り、配慮して対応している</p> <p>家庭や子育ての事情については担任や園長がよく話を聴き、園で可能な限り受け止めて対応している。例えば、仕事の繁忙期には保育時間を変更したり、土曜日に仕事が入って保育が必要な場合は申し出てもらって受けている。個人面談も期間を決めて実施しているが、必要に応じていつでも面談を受けることを入園説明会や保護者会などで伝えている。困っている状況によっては、区などと連携して相談窓口などを紹介することになっている。</p> <p>保護者会や運動会で保護者同士が交流する場を設けている</p> <p>年2回保護者会を実施し、1回目には自己紹介やグループ懇談などで親しくなるように工夫している。保護者会は13時30分に開始し15時までに行っているが、子どもたちがおやつを食べている間は保護者同士の交流の時間になっている。運動会は3～5歳児対象であり、各クラス親子種目や保護者種目を企画して、子どもと一緒に保護者同士も交流できる機会になっている。</p> <p>保育参加や参観を呼び掛け、給食試食会も実施している</p> <p>園の保育を入園説明会や保護者会で伝え、毎月のわらいや週のわらいをエントランスホールに掲示し、乳児クラスは連絡帳で、幼児クラスは掲示している日誌で日々の保育内容を伝えている。年1回給食試食会を実施して給食職員が説明している。個人面談と一緒に保育参加を呼び掛けて、参加してもらっている。子どもの普段の様子が見たいとの希望で隠れた場所から見る参観を希望される場合も、日程を柔軟に対応している。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>月1回のボランティアによる「おはなしの会」などで、外部の方と交流している</p> <p>月1回ボランティアによる4・5歳児対象の「おはなしの会」で、読み聞かせや素話をしてもらっている。区内の農園に、芋ほり体験に行き、芋つるを活用してリース作りをしている。地域の小学校と連携して、5歳児の交流や運動会の会場貸し出しをもらっている。中学生や高校生の職場体験やボランティアを受け入れて、子どもたちと触れ合っている。</p> <p>地域のお祭りに作品を出展し、園庭開放では地域の園児などと交流している</p> <p>地域の商店街の七夕祭りに子どもたちの作品を出展し、南伊豆の高齢者施設にも展示してもらっている。新園舎に移転後、休止していた地域子育て支援事業「すくすく(園庭開放)」を今年度から再開し、毎週水曜日10時から11時15分で実施し、第3水曜日には看護師による身体測定と健康相談をおこなっている。5月末には小規模保育所の園児が遊びに来て、現在3園に利用してもらっている。地域の子育て家庭の利用はまだ少ないが、これからも参加を呼び掛けていくことにしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	ままごとコーナーでは見立てて遊べるようにさまざまな素材で手作り具材を用意している	
内容①	新しい施設であり、保育室は明るくて広く、清潔感がある。乳児クラスの保育室は子どもが好きな玩具を選んでじっくりと遊べるように、遊び毎のコーナーを設定している。特に、ままごとコーナーでは、キッチンに調理用具や子どもが見立てて遊べるようにお人形、お手玉、数種類のチェーンリング、紐製・フェルト製の物、小型のペットボトルなどのさまざまな素材で手作り具材を作成し、エプロン、三角巾、バック、スカートなどを用意して、子どもたちが遊びたいと思えるような心地よい環境作りをしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	一人ひとりの子どもの発達や育ちに寄り添う少人数グループの保育をしている	
内容②	保育方針に「一人ひとりの発達や個性に寄り添った援助をし、健やかな体と生活に必要な力を育みます」を掲げている。今年4月から0歳児保育が始まり、1歳児18名、2歳児20名とクラスの定員が多いので、乳児クラスでは少人数のグループ分けをして職員が連携しながら活動したり生活したりしている。1・2歳児室はそれぞれ隣接した2部屋になっており、特別室も3室ある園の環境を活かして保育している。少人数で活動することで、子ども一人ひとりの愛着関係を育み、それぞれの子どもの育ちを十分把握して対応することができている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	保育で大切にしたいことを自由に意見交換し、互いに学び合う職員集団をつくっている	
内容③	「全体的な計画」についての見直しと作成を通して、園の保育で大切にしたいことや、育てたい子どもの姿について話し合い、確認している。また、月案やケース討議、実践の事例討議を通して、保育の質の向上につなげている。たとえば、「食育」に関して、子どもにとってのマナーとは何か、意見を出し合い、検討し、職員個々の思いも共有している。職員アンケートには「気づきや感じたことなどについて、立場に関係なく伝え合える職場の雰囲気がある」「職員同士が進んで協力し合い、互いを否定しない」などのコメントが寄せられた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの発見、観察、味見からヤマモモシロップ作り、ジュース屋ごっこ展開するなど、子どもの主体的活動を大事にした保育をしている
	内容	園庭のヤマモモの実が色づいていることを発見した5歳児が、観察して実から色が出るから絵具の代わりになるなどと話していたが、図鑑で調べてみて「食べられる」と気づき、「じゃ食べてみたい」と味見して、酸っぱいことを経験した。クラスみんなでヤマモモ会議を開いてヤマモモシロップ作りをすることになった。収穫した実をよく洗い、氷砂糖と混ぜて瓶に入れ、時々ゆずって、実の様子や変化を観察し、出来上がったシロップでジュースを味見し、美味しいから他のクラスにも味わってもらいたいと意見が出て、ジュース屋ごっこに取り組んだ。
2	タイトル	月案を基に子どもの様子やクラスの状況を共有し、子どもの見方や援助の方法などを話し合い、保育の質向上に努めている
	内容	各クラスの月案を事前配布して、カリキュラム会議を2回実施し、子どもの様子やクラスの状況などを職員間で共有している。園長・主査、保育向上リーダー2名が会議の運営を話し合い、向上リーダーが司会進行をしている。1回目は各クラスから大事にしているポイントやクラスの課題を報告、2回目には出された課題について意見交換をしている。例えば、乳児にとつての描画とは何か、子どもの主体的な姿とはどんなことかを乳児期からの生活・遊びの場面を考えるなど、職員同士で子どもの見方や捉え方などを振り返る機会になっている。
3	タイトル	子どもの運動量の確保や運動機能の発達を促すために、リズム遊びや運動遊び、散歩などに取り組んでいる
	内容	新園舎になり定員が増え、園庭が狭くなったことで、子どもの運動量の確保や運動機能の発達を促すために、園庭や遊戯室の有効活用を工夫し散歩の回数を増やしている。年齢ごとのリズム遊びや運動遊具を使った体を動かす遊びも積極的に取り入れて、園だよりに運動遊びの紹介欄を設けて、リズム遊びでうさぎやかめの動きをしている様子や巧技台・肋木・鉄棒などで体のさまざまな部位を使っている様子を写真とコメントで紹介している。利用者調査の結果、園の活動は心身の発達に役立っているかの問いに、98%の非常に高い評価を得ている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、保護者の悩みや意見をじっくりと聴いて共有し、子どもの成長を共に喜び合える関係づくりが望まれる
	内容	保護者と協力し合いながら「共育で」をすることを方針に掲げて、子どもの様子や園の意図を年2回の保護者会や日々の連絡帳や掲示日誌、写真掲示などで伝えている。しかし、利用者調査の不満や要望を伝えた時、職員はきちんと対応してくれるかの問いに21%が「どちらともいえない」と回答し、さまざまなコメントも寄せられている。今後は、これまで以上に保護者の悩みや意見などには、じっくりと話を聴いて共有し、子どもの活動と園の意図、育っている様子を具体的に伝えて、子どもの成長を共に喜べる関係づくりが望まれる。
2	タイトル	子どもたちの経験を広げるために、地域のさまざまな世代の方々とかかわる取り組みを期待する
	内容	前年の11月に現園舎に戻って保育を再開したところである。地域との連携では、ボランティアのおはなしの会の方々に月1回、読み聞かせや素話をしてもらい交流している。地域向けの子育て支援事業として毎週水曜日に実施している園庭開放に、他園の園児が遊びに来て交流している。今後は、子どもたちの経験を広げるために、これまで以上に、地域と連携してさまざまな世代の方々とかかわる機会を設けることを期待する。
3	タイトル	ヒヤリハットや安全チェックを活用し、リスク管理へのより一層の取り組みが望まれる
	内容	事故報告を受けて、職員会議で事例ごとに内容・対策について話し合い、再発防止に努めている。しかし、ヒヤリハット用紙は活用されていなかった。また、毎朝、パート職員が園庭をみてまわり危険がないかどうか確認したり、土曜日出勤の正規職員が溝の掃除をしたり、砂おこしをして安全に遊べる環境を整えている。今後は、ヒヤリハット用紙や安全チェックリストなどを活用し、リスク管理へのより一層の取り組みを期待したい。

3. 高円寺北保育園



調査対象	調査(2019年10月)時点での利用児89名の保護者75世帯。
調査方法	クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。

利用者総数	89
利用者家族総数(世帯)	75
共通評価項目による調査対象者数	75
共通評価項目による調査の有効回答者数	60
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.0

利用者調査全体のコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・調査票の記入者：母41名(68%)、父母一緒に9名(15%)、無記入10名(17%)。調査票記入者の年齢：「30歳代」29名(48%)、「40歳代」20名(33%)、「50歳以上」1名(2%)、無記入10名(17%)。 ・総合的な感想は、「大変満足」13名(21%)、「満足」31名(52%)、「どちらともいえない」8名(13%)、「不満」4名(7%)、「大変不満」3名(5%)、無記入1名(2%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の73%であった。 ・回答者の90%以上が「はい」と返答し、特に満足度が高い設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」であった。 ・自由記述では、「子どもは保育園のことが大好きで楽しいようである」などの満足の声がある一方、「行事が全体的に縮小傾向である。また、内容も簡素化している」との声が多数寄せられ、その変更理由が保護者に十分に周知されていないことによる不満が多く寄せられていた。
--

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	56	2	2	0
回答者の94%が「はい」との返答で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「家では経験できないような行動や、年上の園児の活動を通して身近な目標となる存在があり、子どもの成長が早い」「鉄棒やマット運動など運動系のものだけではなく、歌もたくさん教えてくれている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	51	8	1	0
回答者の85%が「はい」との返答で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して高い満足を得ている。「折り紙やぬり絵など子どもが興味を持てるものをおこなってくれている」「身近な物(ペットボトルなど)を使用した園庭での活動は、子どもの関心の高い遊び方を工夫してくれている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	8	2	0
回答者の84%が「はい」との返答で、食事に関して高い満足を得ている。「離乳食について、成長の時期に合わせてしっかりと対応してくれている」「食事サンプルが置いてある場所の前で、子どもはいつもうれしそうに話をしてくれる」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	44	12	3	1
回答者の73%が「はい」との返答で、戸外遊びに関して概ね満足を得ている。「園の行事で子どもがとても活動的になっている」「できるだけ多くの社会と関わる機会を子どもに与えられるよう努力してくれている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	9	1	6
回答者の73%が「はい」との返答で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「急な延長にも電話一本で対応してもらえるのでありがたい」「スポット保育の締め切り時間をもう少し遅くしてもらえると助かる」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	36	16	7	1
「はい」は回答者の60%、「どちらともいえない」26%、「いいえ」12%、無記入2%であった。「メールで知らせてくれている」「以前お迎えの時間に地震が発生したことがある。クラスの皆で集まり避難している様子を見て、きちんと対応していると思った」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	43	12	4	1
回答者の71%が「はい」との返答で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「もう少し遅い時間でお願したい」「土日に行事を開催してくれるので助かっている」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	36	17	6	1
「はい」は回答者の60%、「どちらともいえない」28%、「いいえ」10%、無記入2%であった。「お迎えのときにしっかりと状況を伝えてくれている」「担任の先生のなかには、親身に対応してくれる頼りになる先生がいる」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	33	24	3	0
「はい」は回答者の55%、「どちらともいえない」40%、「いいえ」5%であった。「きれいになっていると思う」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	44	12	4	0
回答者の73%が「はい」との返答で、職員の接遇・態度に関して概ね満足を得ている。「問題ないと思う」「親に対してもとても気を配ってくれていると感じる」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	41	13	5	1
「はい」は回答者の68%、「どちらともいえない」22%、「いいえ」8%、非該当2%であった。「怪我をした状況についても丁寧に伝えてくれているので信頼している」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	25	26	2	7
「はい」は回答者の42%、「どちらともいえない」43%、「いいえ」3%、非該当12%であった。「(喧嘩の)その後の様子もしっかりと見てくれている」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	44	9	5	2
回答者の73%が「はい」との返答で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「子どもがよく笑うようになった。園で愛情をたっぷりもらい一日過ごせているのだと思う」「部屋の中の様子は窓に目隠しがされているので見えない。何をしているかわからないこと自体が不感いっぱいである」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	36	14	3	7
「はい」は回答者の60%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」5%、非該当10%・無記入2%であった。「今まで自分たちのプライバシーがほかの人に伝わっていると感じたことはない」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	29	19	10	2
「はい」は回答者の48%、「どちらともいえない」31%、「いいえ」17%、非該当2%・無記入2%であった。「とてもわかりやすいと思う」「園にいる数時間の子ども様子を連絡帳のやり取りだけで把握するのは難しいと思う」「先生から口頭で伝えられることもなくなり、わかりやすいとも言い切れないと感じている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	26	22	9	3
「はい」は回答者の43%、「どちらともいえない」37%、「いいえ」15%、非該当5%であった。「意見を伝えても、どのような経緯でどうなったかという説明をしてくれない。「〇〇になりました」と園としての決定を言われるだけである」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	13	15	21	11
「はい」は回答者の22%、「どちらともいえない」25%、「いいえ」35%、非該当18%であった。「父母会を通じて要望書を提出したとき、運営会社の相談窓口を提示された」「そのようなことができるのかと今回初めて知った」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当	
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当	
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当	
カテゴリー1の講評		
<p>職員会議・クラス会議等で園の保育目標などを確認している</p> <p>「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」に法人理念(赤ちゃんのいる暮らしを幸せと思える社会づくり)・保育理念(あったかい もうひとつの おうち)・園の保育目標(子どもが関わる大人との関係に安心し、信頼関係が築けるよう支援し、「その子らしく生きる力」を育てる)を明記し、これに基づいて年間指導計画などを策定し、理念に沿った保育の実現に向けて取り組んでいる。職員会議・クラス会議などで保育計画の振り返りをし、その際に理念などを確認している。また、園目標を玄関に掲示し、保護者・職員・関係者等に周知している。</p> <p>職務分掌を作成し、各職位の役割と責任を明らかにしていくことが望まれる</p> <p>法人全体で多数の保育園を保有しており、定期的に園長会を開催し、会社方針を各園の園長に伝え、職員会議などで園長から会社方針が伝達されている。他方、当園のリーダー層は、園長・主任2名・クラスリーダー6名である。園長・主任・クラスリーダーの職務内容を具体的に明示したものは作成されていない。今後は、リーダー層も含めた各職位・職種の職務分掌を作成し、それぞれの仕事の役割・責任を明らかにすることで、円滑な組織運営につなげていかれることを期待する。</p> <p>「職員会議」(月1回)にて現場の問題課題について共有化している</p> <p>必要に応じて、園長・主任会議を開催し、園の方向性を検討し、その後、正規職員が参加対象である「職員会議」(月1回)にて現場の問題課題について共有化している。そのほか、クラス会議、行事会議、献立会議、リーダー会議などを開催している。各クラス会議(月1回)には、園長・主任・クラス担任全員が参加し、月案の見直しなどについて討議している。パート職員に対しては、各クラス担任から必要な情報を伝達している。そのほか、職員ファイルを職員個々に配布し、各伝達事項をいつでも確認できるようにしている。</p>		

2		サブカテゴリ1(2-1)	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		6/6	
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
実践的な計画策定に取り組んでいる		3/5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○●)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○●)	
評価	標準項目		
○あり ●なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリ2の講評			
<p>保護者へのアンケートを実施し、その意向把握に努めている</p> <p>運動会・夏祭り・発表会などの行事実施後のアンケートや連絡帳を通して、保護者の意向を把握している。利用者調査では、保護者の要望や意見に対する園側の説明が不十分であるとの指摘が複数寄せられており、改善事項である。職員の園運営への提案・意見などは、職員会議で把握するほか、年1回の満足度調査(9月～10月)を実施している。この結果を受け、会社のビジョンが職員に十分に浸透されていないと認識し、会社の目指すべき方向性や方針を周知するよう取り組んでいる。</p> <p>関係機関との連携などを通して、園運営に必要な情報を収集している</p> <p>児童館・小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や地域の保育所が参集する地域懇談会への参加、小学校との連携などにより、地域ニーズを収集している。杉並区私立園長会・会社全体の園長会に参加し、国・都・区の保育施策について情報収集している。会社園長会では、各園の取り組みや事故報告なども共有し、当園の運営の参考としている。そのほか、インターネット・新聞などの情報や、同業他社との情報交換や連携により、園運営に必要な情報を収集している。</p> <p>各年齢の発達過程に応じた保育計画を作成し、より良い保育に向けて取り組んでいる</p> <p>会社全体の中期目標(2020～2022年)は立案されているが、当園の事業計画との運動性はみられない。また、事業計画は、実施すべきことと指針を簡潔に記載しているだけで、園の経営環境における現状の課題を踏まえた戦略的な計画とはなっていない。保育計画のほうは、全体的な計画のもと、各年齢の発達過程に応じた保育のねらいや内容および保育の環境を体系的にまとめ、毎週・月・期・年ごとに振り返りをしながら、次の計画の改善につなげ、より良い保育に向けて、計画的に取り組んでいる。</p>			

3 経営における社会的責任			カテゴリー3	
サブカテゴリー1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している			○非該当
サブカテゴリー2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある			○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している			○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている			○非該当
サブカテゴリー3(3-3)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している			○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>コンプライアンス・ホットライン」を設け、違法行為を通報する仕組みを設けている</p> <p>会社の新人研修で、「企業倫理指針」「コンビグループ行動規範」について学んでいる。年度初めに契約社員も含めた全職員で「職員の心得」の読み合わせをしている。外部講師による「本社研修」に職員を派遣し、保護者に伝えるポイントや保護者との関係づくりなどについて学んでいる。会社では、法令等に違反する行為、社会規程に違反する行為、その恐れのある行為を対象に「コンプライアンス・ホットライン」を設けており、これらの行為があると思えた場合、通報する仕組みを整えている。</p> <p>「ほいくえんのしおり」には、苦情対応の仕組みを明記し、入園説明会で周知している</p> <p>「ほいくえんのしおり」には、苦情受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員を明記し、保護者の意見や要望に速やかに解決していく体制を整えている。第三者委員を2名選定しているが、第三者委員の活用はされていない。園の苦情対応の仕組みは、入園説明会で伝え、園内に掲示している。玄関に意見箱を置いている。「クレーム報告書」の書式を用意しているが、活用されていない。保護者の苦情やその対応などについて記録化しておくことが望まれる。</p> <p>主任・看護師が育児相談会で講師をし、専門性を地域に還元している</p> <p>年1回、主任・看護師が児童館主催の育児相談会で講師として協力しており、トイレトレーニングなどについての話をし、専門性を地域に還元している。お店屋さんごっこやお楽しみ会などで、近隣小規模園と交流している。また、就学に向けて、近隣の小規模園の年長児が来園し、活動に参加しており、他園と協働し、就学前準備の一助としている。中学生の職場体験や高校生の夏ボランティアを受け入れたり、毎月、3名のお話ボランティアの方が来園し、4歳・5歳クラスで読み聞かせをしてくれるなど、地域との連携にも努めている。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>6月の職員会議で、散歩時の安全確認をしている</p> <p>今年度、大津の保育園園児の交通事故を受け、職員会議で、「散歩のときは、信号で待つときの場所を見直す」「無理して信号を渡らせない」「横断歩道を渡る練習として、遊びの中で取り入れていく」などについて話し合っており、散歩時の安全確認をおこなった。火災・地震を想定しての避難訓練の年間計画書を策定し、月1回、計画に沿った訓練をしており、消防署の指導のもと救命講習も実施している。感染症対策は、看護師を中心に嘔吐物処理の研修をしている。嘔吐物処理一式を置き、迅速に対応し、感染の蔓延防止に努めている。</p> <p>ヒヤリハットの気づきを活かして、事故防止に努めている</p> <p>グループ会社全体で「リスクマネジメント基本方針」を策定し、園長会で事故を含むリスクに関する検討をおこない、その内容を職員に伝え、注意喚起している。会社全体で「事故・ヒヤリハットルール」を明確化している。「ケガ報告書」「ヒヤリハット報告書」を用意し、発見者がその内容・対応策までを記入し、毎日の申し送りや職員会議で情報共有している。また、振り返りをし、要因分析をおこない、事故予防策を講じている。また、毎日、「安全チェックリスト」を使って、各クラス内の危険について点検している。</p> <p>個人情報保護規程に基づき、情報管理している</p> <p>「個人情報保護規程」「情報システム規程」「特定個人情報取扱規程」「機密情報管理規程」「情報資産および情報セキュリティに関する基本方針」を整備し、これらに則って情報を管理している。ホームページでは、「子ども個人が認識できるような形では掲載しないこと」と明示している。また、データ管理はアクセス権限のあるサーバーに保管、紙媒体の個人情報は鍵付きロッカーにて保管している。各クラス内の誕生表の掲示、行事等を含めた園内・外の子どもの写真掲示について、保護者の了解を得ている。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>人事評価制度を導入し、年3回の個人面談を通して、能力開発につなげている</p> <p>インターシップ(保育体験)の受け入れ、ハローワークでの新卒求人公開、各種の就職フェアなどへの参加などにより、会社本部の採用専門グループが職員の募集・採用をおこなっている。会社本の書類選考後、半日保育園で過ごしてもらい、園長の面接、その後、会社役員の面接で、採用の可否を判断している。人事評価制度を導入し、年2回以上、園長・主任が個人面談をおこない、能力開発につなげると共に、給与にも反映している。会社内他保育園の人事異動は不定期としている。</p> <p>年間研修計画を作成し、計画的に職員の資質向上を図っている。</p> <p>年間研修計画を作成しており、区主催研修・会社本社主催研修・園内研修(OJTを含む)・外部研修(保健所など)・自己啓発などにより、職員の資質向上を図っている。職員個々の研修意向や経験年数・技量に応じて、園長が主任と相談し、受講する研修等を決めている。研修受講後2週間以内に報告書を提出することとしている。園内研修は、研修受講した職員が職員会議で報告する方式である。</p> <p>安全衛生委員が巡回し、職場環境を把握し、園へフィードバックしている</p> <p>大きな行事後は、親睦会を実施し、職員間のコミュニケーションの活性化に努めている。安全衛生委員が巡回し、職場環境を把握し、園へフィードバックしている。月1日本社に臨床心理士が来社し必要な職員はカウンセリングを受けることができる。今年度から退職金制度を設け、退職後の生活の保障を担保している。年間休日120日を設け、産育休制度の利用率は高い。自治体実施の借上げ住宅制度や処遇改善制度を活用し、福利厚生を充実を図っている。</p>		

カテゴリ7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

人材育成を課題とし、「園内・外部研修へ積極的に参加する」を重点目標とした。
 ・シフトを調整しながら可能な限り研修に参加し、研修報告書を回覧することで学びを広げていった。園長が持っている保育書の中から理解しやすいものを貸し出し、学びの大切さを伝えていった。保育日誌を見直し、振り返りの大切さを伝えていった。園長も保育に入りながら、ともに保育をして実践を見せていった。
 ・上記の取り組みの結果、日誌の見直しにより、子どもを観る力が少しずつ向上してきている。また振り返りの意味を理解し始め、次の保育につなげようとする姿が見られるようになってきている。保育の学びについては、日々の業務をこなすことで精一杯な姿も多く、時間の確保が難しい様子である。
 ・今後は、外部研修に頼りすぎず、園内研修の時間を会議内に設定するよう努めている。各クラスに参考資料を用意したり、クラス便りのフォーマットを決めることで、日々の業務の時間短縮につなげている。巡回相談のカンファレンスには可能な限りの職員が参加し、子どもを学ぶ時間としている。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・年度当初に、職員個々が参加する研修テーマを決め、シフト調整しながら、必要な研修に派遣している。職員アンケートでは、前年度の取り組みにより良かった点として「職員が研修に参加する機会が増え、学ぶことが多くなった」「各職員に応じた研修の機会が増えた。研修内容を職員全体で共有し、実際の保育に取り入れることが増えてきた」などのコメントが寄せられていた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・子どもが待たされている時間がないよう、「担当制保育の確立」を重点目標とした。
 ・上記の目標に向けて、担当制保育への理解を深めるために、クラス会議や保育実践を通してその意味を確認していった。また保育補助の職員も含めて保育者の動きを確認し、連携することを意識していった。
 ・上記の取り組みの結果、取り組みを開始した2017年度に比べ理解が進み、職員によっては自分で学び、保育を進める姿が見られるようになっている。さらにそのような職員の姿に触発されて、時間を作り保育を学ぼうとする姿も見られ、良い変化が出てきている。
 ・今後は、理解が深まってきている職員を柱とする担任配置を考え、クラス運営の安定を目指している。また、柱となっている職員を中心に子どもの姿が良い方向に変化していることを観察し、学びの意味を感じられるようにしたいと考えている。子どもの変化に喜び・やりがいを感ずることで、職員のモチベーションアップにつなげ、保育の質の全体的な底上げを目指している。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行ってなかった(目標設定を行ってなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・幹部層は、当園の良い点として「担当制保育への職員の理解が深まり、子どもと丁寧に向き合い、保育が安定してきている」を挙げている。職員アンケートでは、前年度の取り組みにより良くなった点として「(担当制により)職員が子ども一人ひとりの発達に合った保育を意識できるようになった」「乳児に担当制保育を取り入れ、子ども一人ひとりの発達や個性に合わせて丁寧に見ることができるようになってきた」「乳児に担当制保育を取り入れたことで、愛着形成が大事な時期に子ども一人ひとりに応じて丁寧に関わることができている」などのコメントが寄せられた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>園のホームページや区のホームページ、冊子などで情報提供している</p> <p>園のホームページでは、公設民営園であることを説明し、園目標、園の概要（住所、対象年齢、定員、開園時間）、主な行事を掲載して、登園許可意見書や与薬申し込み書などをダウンロードできるようにしている。区のホームページでは園の概要や地図、年間行事、園の特色を掲載し、冊子「保育施設利用のご案内」「杉並区保育施設マップ」「くらしのガイド」、広報紙などでも情報提供している。区のイベント「杉並フェスタ」では私立保育園のブースに園のチラシを置き、持ち帰り自由にし、地域の児童館主催「馬橋っ子祭り」でも配布している。</p> <p>行政や関係機関と情報交換して連携している</p> <p>指定管理者として公立園を運営し、毎月区に、入所児童数や延長保育利用児数、行事、保護者会、指導計画、献立表などの実施状況報告書を提出している。園長は区主催の私立保育園連絡会に参加して、行政や他私立保育園長と情報交換している。法人の施設長会にも月1回参加している。区主催の地域懇談会に年2回参加し、公私立園や認証保育所などと情報交換している。地域子育てネットワークに参加して年間行事予定を提出し、情報交換している。警察署には防犯訓練やさすまた訓練を、消防署には消火訓練や救急救命講習を受けている。</p> <p>園の見学日を伝えて、都合の良い日に来てもらい、園舎内を案内している</p> <p>見学希望者には、見学日を伝えて都合の合う日に来てもらい、予約表を作成して一人からでも受けている。見学者の対応は「見学者対応マニュアル」に沿って、主に園長がおこなっているが、不在の場合には主任や他の職員も対応している。パンフレットを配布して、園舎内全体を案内し、保育方針や行事などを説明している。見学者には、園の特長として、乳児保育は担当制にして、丁寧に保育をしていることや食育に力を入れていることを説明し、質問の時間を設けている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園説明会を実施して、園の概要や基本的なルールについて説明している</p> <p>4月の入園内定者には、2月中に入園面接を実施して、準備してもらう物や朝の支度の仕方などを説明している。事前に書類を送付して目を通していただくようお願いして、3月の土曜日に説明会を実施し、重要事項説明書と園のしおりを基に、園の概要や保育理念、保育方針、保育目標、年間行事予定、開所時間と保育時間、健康管理、給食、時間外保育、園からのお願い、個人情報取り扱いなどを説明している。説明内容と個人情報取り扱いについての同意を得ている。質疑応答の時間も設けている。</p> <p>慣れ保育は子どもの状況や保護者の意向などを考慮して個別に対応している</p> <p>入園面接時に、家庭や就労の状況、仕事復帰の時期などを聴き、園の慣れ保育の考え方を伝えて、保護者の意向を考慮して慣れ保育の予定を立てている。基本的には、初日は親子で入園式に参加してもらい、2日目は2時間程度預かっている。3日目以降は集団保育の経験の有無や保護者の就労状況、希望などにより、個別に柔軟に対応している。ゆっくりを希望される場合には緩やかに慣れ保育を進めている。早めに慣れて生活できるように一人ひとりに丁寧に向き合い、迎える保護者には子どもの様子を詳しく伝えて安心してもらうようになっている。</p> <p>卒園した1年生には夏祭りや運動会に招待状を郵送している</p> <p>転園の場合は、必要に応じて保護者に了解を得て、子どもの様子を転園先に伝えている。卒園児は就学先の小学校に「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継いでいる。就学支援シートの提出を保護者から依頼された場合には作成して提出している。卒園した1年生には園の夏祭りや運動会に招待状を郵送して、ほとんどの子どもが参加してくれている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリ-3の講評	
<p>子どもの心身や生活状況を連絡帳や保育日誌、児童票などに記入して把握している</p> <p>入園面接と園医による子どもの健康診断を実施して、健康・発育状況、成育歴、既往歴、予防接種歴、アレルギーなどを把握している。提出してもらった「入園までの生活状況」を基に、食事や排せつ、睡眠、好きな遊びなどを面接票を用いて聴き取っている。入園後は、0歳児は24時間を見据えた連絡帳、1・2歳児は排便や睡眠、食事などを園と家庭とで記入する連絡帳で把握している。幼児クラスはノートを使用して必要な連絡事項を記入している。日中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌に記入し、児童票に子どもの保育経過記録を記載している。</p> <p>指導計画は子どもの様子やクラスの状況を振り返り、作成している</p> <p>全体的な計画を基に、子どもの実態や取り巻く状況を考慮して年間指導計画を作成し、月間指導計画(月案)や週案は複数担任の場合はクラス会議の中で、子どもの様子やクラスの状況などを話し合い、園長・主任の指導を得て作成している。毎週木曜日には各クラスの週案を持ち寄り、週案会議を開き、園庭や散歩などの活動の調整をしている。保育の計画はクラス懇談会で年間目標を説明し、クラスだよりには月のねらいを掲載している。幼児クラスでは、1階の靴箱付近のホワイトボードで、日中活動の様子を掲示して、読んでもらっている。</p> <p>毎日の申し送りや職員会議などで、子どもに関する情報を共有している</p> <p>子どもや保護者に関する情報の共有は、毎日14時20分から実施している申し送りに、各クラス1名参加して、各クラス、行事関係、調理、看護師、事務室から、共有する必要がある情報を報告し合い園日誌に記載し、参加者がクラスの他の職員に伝達している。職員会議は月1回、昼間に実施し、各クラスや子どもの状況、行事の取り組み、園長会報告、研修報告などを行っている。各クラス基本月1回クラス会議を実施して、子どもやクラスの状況を話し合い指導計画を作成している。行事の反省は行事終了当日に実施している。</p>	
サブカテゴリ-5	
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5</p>
<p>評価項目1</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている
<p>評価項目2</p> <p>サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
サブカテゴリ-5の講評	
<p>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園説明会で、「高円寺北保育園における個人情報の取り扱いについて」の文書を基に、区の個人情報保護条例に準じて秘密保持の取り扱いをする旨、および、園における個人情報の利用について説明し、同意を得ている。個人情報を外部とやり取りする必要がある時には、個別に保護者の同意を得ることになっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、衣類の着脱時にはカーテンを閉めて外部から見えないようにしたり、水遊びやプール遊び時のシャワーはすだれなどを用いて配慮している。</p> <p>子ども一人ひとりを大切に、人権を守る取り組みをしている</p> <p>「職員の心得」の中には「子ども一人ひとりを大切にしよう」を盛り込み、人権を守る取り組みをしている。子どもの誕生日のお祝いはクラスでおこない、1歳児以上の誕生日には食材の切り方や盛り付けを工夫した特別なお誕生日プレートで提供している。また、子どもと保護者の価値観などにも配慮して、宗教上から豚肉除去を希望される場合は除去食を提供している。家庭や職場の事情などで迎えが遅くなったり、早めに登園するなども連絡をもらって園の開園時間内は預かっている。</p> <p>子どもの様子などに気を配り、虐待の早期発見や対応に努めている</p> <p>「児童虐待の早期発見・対応マニュアル」に沿って対応し、職員は常日頃から、子どもの様子の変化や何気ないつぶやき、不審な身体の傷などに気を配り、子どもに聴いたり保護者に確認したりして、虐待の早期発見や対応に努めている。少しでも気になる場合には園長に報告し、園長は子ども家庭支援センターに報告することになっている。育児困難家庭などへの支援に向けて、法人主催の研修「保育施設における子どもの人権」「子どもの権利条約」、区主催研修「子どものSOSとその対応」に参加して、職員会議で報告している。</p>	

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
区立園共通マニュアルや園独自のマニュアルを整備している 「杉並区危機管理マニュアル」「危機管理マニュアル(保育園)」「園外保育マニュアル」「児童虐待対応マニュアル」などの区立園共通のマニュアルを整備している。法人の「侵入者対策」「散歩外出ルール」「地震発生時の行動手順」なども用意している。園独自の「散歩マニュアル」「見学者対応マニュアル」「朝保育の流れ」「土曜日保育の流れ」「職員の心得」などを作成している。マニュアル類は事務室の棚に置き、必要な時には確認している。園独自の「職員の心得」などは手元に置きいつでも見ることができるようにしている。			
年度末に基本的なルールなどを見直し、必要に応じて随時の確認や見直しもしている 年度末には、新年度準備に向けたオリエンテーションなどで、基本的なルールや手順について確認し、必要に応じて見直している。また、年度途中でも業務の内容で確認したいことがある時には職員会議に提案して見直している。例えば、通園用のリュックサックにキーホルダーをつけることや肩の出た服の着用、髪用の飾り付きゴムについてなど。			
保護者から寄せられた意見は検討して、可能な見直しをしている 保護者アンケートや父母会からの要望書などでもらった意見については検討して、可能な見直しをしている。発表会は乳児・幼児で分けて実施していたが、人数が多いため、会場入れ替えで実施することにした。園の出入り口前の道路が危ないため、入り口にミラーを設置した。昼寝布団の置き方について、シーツ替え済の物と未だの物とを分けて、済の物は布を掛けて出しておくことにした。乳児クラスで廊下に用意してもらっていた食事用のエプロンは出しっぱなしにせず、引き出し式の入れ物を用意することにした。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している			○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			○非該当
評価項目1の講評				
<p>子どもが自分で遊びたい物で遊べるように、遊び毎のコーナーを設置している</p> <p>0～3歳児の保育室は広いので、食事や着替えなどの生活と遊ぶ場所を、玩具棚や柵などで区切っている。遊びの場所はままごとや絵本、構成遊び、机上遊び、体を動かすなどのコーナーに分けて、自分で好きな遊びを選べるようにしているが、1歳児室のままごとの柵には人形2体と布団、具材3種類程度であり、他のコーナーの玩具類も少なめであった。体を動かすコーナーには手作りの紙製大型積み木や布巻きタイヤを工夫して使用している。乳児室の廊下側窓ガラス全面に白いレースを取り付け、子どもが気が散らないようにしているとのことである。</p> <p>双方の子どもの気持ちを尊重して対応し、保護者には状況を説明している</p> <p>1・2歳児の発達の過程で生じるトラブルは、1歳児の懇談会で年齢発達の姿を伝え、言葉で自分の思いを伝えることができないために生じるが、少しずつ減ってくることを説明している。トラブルが生じた時には、双方の子どもの気持ちを受け止めて「～したかっただね」と代弁してやり、「叩いたら痛いよ、やめようね」などと知らせている。幼児の子ども同士のトラブルの場合は、子ども同士で解決できるように見守り、解決できないような時には大人が仲介している。保護者には、トラブルの状況を伝えて説明している。</p> <p>地域の小学校と連携して、5歳児が交流している</p> <p>地域の小学校2校と交流している。1校には給食体験や1年生と交流して、ランドセルを背負わせてもらったりしている。2年生との交流では一緒にザリガニ釣りを行っている。園の運動会は体育館を使わせてもらっている。もう1校の秋祭りに誘ってもらい、製作物を一緒に作ったり、発表会も見せてもらっている。幼保小会議に年2～3回参加して、情報交換している。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時は子どもの健康観察をし、家庭での子どもの様子を保護者に聴いている</p> <p>朝の受け入れをする保育士は、挨拶をして、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。当番保育士が担当する場合は、園日誌に記載してある前日の子どもに関する情報を把握して、園で怪我をしたり、かまれたり、発熱したり、受診して休んでいた時には、詳しく様子を確認して、保護者に聴き取った内容や、その他の保護者からの連絡事項なども、担任に引き継いでいる。</p> <p>生活習慣が身につくように、一人ひとりに合わせて、保護者と協力して援助している</p> <p>クラス保護者会で、子どもの食事や睡眠、排せつ、着脱などの生活や遊びの様子を伝えている。年齢発達の子どもの姿も資料を用いて、1～2歳児では自我が出てきてやりたがる姿があることや、スプーンや箸の持ち方、トイレトレーニングなどを説明している。一人ひとりの個性や発達に合わせて保護者と協力しながら進めることを伝えている。トイレトレーニングは、排尿の間隔が広がり、トイレへの興味が出てきて便器に座るようになるなどの姿が見られるようになったことを保護者に伝え、家庭での様子も聴いて、連携して始めている。</p> <p>日中の子どもの様子を迎える保護者に伝えている</p> <p>0～2歳児は園での子どもの様子を連絡帳に記載しているが、お伝えボードにも体温、食事、おやつ、園の様子、排便を記入して、迎える保護者に、口頭でも伝えている。3～5歳児は連絡帳は必要な時のみ記載しているので、日中の活動の様子は掲示して読んでもらっている。当番保育士が対応する場合には、連絡事項を担任から引き継ぎ伝えている。迎えが重なると子ども一人ひとりの様子は伝えられない状況である。怪我などで様子を説明する必要がある場合には、説明できる保育士が保護者の迎えを待ち、状況により園長や主任も対応している。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>十分遊べるように時間や保育室環境の配慮をしている</p> <p>5歳児は9時まで、その他のクラスは9時20分までの登園をお願いして、朝の会をしている。朝の会では季節の歌を歌ったり今日の活動予定を伝えて、子どもが主体的に行動できるようにしている。その後、4・5歳児は保育室の雑巾がけをしている。給食は12時頃からにしている。午前一杯遊べる時間になっている。午後のおやつ時間には明日の予定を伝えて、おやつ後も自由に遊べる時間を多く持つようにしている。遊びの継続ができるように、4・5歳児クラスでは積み木やブロックのコーナーを作り、製作途中の物は置いておけるようにしている。</p> <p>絵本や紙芝居、言葉遊びなどを楽しみ、言葉の感覚を養っている</p> <p>絵本や紙芝居などの読み聞かせは計画的に取り入れている。ボランティアさんによるお話し会が4・5歳児を対象に月1回おこなわれて、素話や絵本などを読んでもらっている。カルタ取りや言葉遊びもしている。4・5歳児は朝の会で、当番が今日の給食献立を発表している。七夕集会などでは3・4歳児の作品紹介を5歳児が担当して紹介することにしており、人前に出て、わかりやすく話をする経験の場になっている。</p> <p>園庭遊びや散歩などで自然に触れて遊び、季節の移り変わりを感じている</p> <p>日当たりの良い園庭には滑り台や鉄棒、砂場、プールがあり、ベンチやタイヤ、コンテナ、風呂マットなどの可動遊具も用意している。子どもは走り回ったり、花壇の周りで虫探しをしたり、重ねたタイヤに入ったり、牛乳ケースを並べてお家ごっこをしたりして遊んでいる。砂遊びや水遊び、泥遊びもしている。戸外遊びに適した季節には散歩に出掛けて、公園では固定遊具やアスレチックで遊んだり、縄跳びや鬼ごっこなどをしたり、ダンゴムシや蟻、木の葉や草花などを見つけて触れたりし、4・5歳児は観察して持っている小型図鑑で調べたりしている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>お店屋ごっこではどんな店にするかを話し合っ決めて、協力して取り組んでいる</p> <p>6月のお店屋ごっこでは、商店街を散歩してお店を覗いてまわり、イメージしてからみんなで話し合い、買い物に来てくれる小さい子にも買いたい物を聴くなどして、お店屋を決めている。結果、ドーナツ、お寿司、おもちゃ、アイス、バック屋をすることになった。当日はお客さんに「いらっしやいませ」「どれにしますか」など声を掛け、張り切ってお店屋になっていた。5歳児が3歳児をリードしながら一緒に商品作りをし、4歳児も商品や看板作りをし、4・5歳児がお店屋役を担っている。お客の2歳児は、クラスに戻るとすぐに、お店屋ごっこを始めていた。</p> <p>運動会では、普段から取り組んでいる運動遊びを見てもらっている</p> <p>10月の運動会は、地域の小学校の体育館を借りて実施している。3・4・5歳児は、体育指導で取り組んでいたマットや跳び箱、鉄棒などをサーキットにして披露した。5歳児は縄跳び、竹馬、ゴム跳びもサーキットにして観てもらったが、竹馬は初めはできなくて、補助してもらいながら低い竹馬から挑戦して、少しずつできるようになり、「もう補助はいらない」「高さをもっと高くしたい」など、自信をつけて取り組むようになった。当日は跳び箱も、自分の跳べる高さで跳ぶようにして、自信をもって、見てもらうことができていた。</p> <p>年間行事予定を配付し、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えている</p> <p>年間行事予定表を年度初めに配付している。保護者参加の行事は夏祭りや運動会、12月の発表会である。行事前にはお知らせやクラスだより、ご案内、見どころ、配役についてなどの情報を事前に配付している。また、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を掲示で伝えたり月1回発行のクラスだよりで伝えて、保護者にも楽しみにして貰えるようにしている。その他、七夕には短冊を家庭で書いてもらい、笹に飾り付ける協力をお願いしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>17時30分からは2・3歳児と4・5歳児に分かれて合同保育にしている 朝保育は8時30分まで、0・1歳児は1歳児室と一緒に過ごし、2～5歳児は2歳児室で合同保育をしている。午後のおやつ後はクラス保育をしているが、0・1歳児は18時から1歳児室で、2・3歳児と4・5歳児は17時30分から合同保育にして2歳児室と5歳児室で過ごしている。18時30分には2歳児室に移動して2時間の延長保育を実施している。</p> <p>安心できる大人と一緒に、人数が多い間はゆったり過ごせる自分の保育室で過ごしている 朝・延長保育の職員は当番で変わるが、朝のパート職員は同じ人を配置して、子どもも顔見知りで安心して過ごせるようにしている。当園は2時間延長保育であり、パート職員不足になっているため、延長保育は正規職員2名とパート1名で対応している。ゆったりと落ち着いた雰囲気でも過ごせるように、人数が多い時間帯は必要に応じ、正規職員が残業するなどの対応をしている。</p> <p>延長保育用の玩具を出したりして雰囲気を変えて遊び、異年齢の交流の場になっている 延長保育の2歳児室には、押し入れの下を遊べる空間にして、座布団などでお家ごっこができるようにし、ゆったりできる布団なども用意している。延長保育用には日中の保育で使用する玩具と雰囲気を変えて、パズルや塗り絵などを出して使っている。利用児は10名ほどであり、異年齢で過ごしているため、年上の子どもが年下の子どもと一緒に遊ぶなど、自然な交流が見られている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>子どもが安定して座り、落ち着いて美味しく給食を食べている 保育室内では食事場所を決めて、同じ場所で友だちや職員と食べている。0・1歳児では担当の職員と食べている。椅子は子どもが安定して姿勢よく座って食べられるように、テーブルに合わせて、風呂マットで手作りした足台、背あて、座布団などを取り付けて高さを調整している。3～5歳児は主食と汁物をクラス配膳にして、温かい物は温かく食べられるようにし、お代わりもしている。子どもの日などの行事には行事食を提供し、七夕には幼児クラスは流しそうめんをしている。ひな祭りで会食をしたり、仲良し遠足では給食を弁当にして提供したりしている。</p> <p>旬の食材を取り入れて和食を中心にした給食で、盛り付けや色彩にも配慮している 園の栄養士が栄養バランスを考慮して作成した2週間サイクル献立の和食を中心にした給食を提供している。季節感を大事にして、春キャベツなどの旬の食材を使い、毎日煮干しや削り節で出汁をとって、薄味にして素材の味が引き出している。子どもたちの食欲が出るように盛り付けや色彩にも配慮して、ホットドッグなども出している。食物アレルギーを考慮して、主食には卵や乳製品不使用の食パンやマヨネーズを使用し、副菜には卵は使用していない。毎食デザートは果物をつけ、午後のおやつはもちやドリアなどの手作りおやつを提供している。</p> <p>野菜の栽培や食材の下処理・調理保育などの食育活動をしている 園庭の花壇を利用して、人参やごぼう、玉ねぎ、オクラ、ピーマンなどの野菜を栽培している。植え付けから子どもも加わり、水やりをしながら、花が咲いた、実がなったなどと生育を観察して、収穫する時には子どもと職員と一緒に、採れたてを調理してもらい食べている。食材の下処理手伝いとして、3歳児からそら豆などの豆類などのさやむき・皮むき、梅ジュース作りをしている。4歳児は梅干し作りやさつまいも団子作り、5歳児は米研ぎ、野菜切りなどをして、カレー・デザート作り、おにぎり・みそ汁作りなどを行っている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが健康生活に必要な習慣を身につけられるように保育の場面に応じて伝えている</p> <p>子どもが自分の身体に関心を持ち、健康生活に必要な決まりや習慣を身に付けられるように、汗をかいたら拭くことや戸外から帰った時、トイレの後、食事前には手を洗うことなど生活の場面で繰り返し伝えている。夏には水分補給や休息の大切さ、秋にはうがいの仕方やおなかの冷えなど知らせている。保育の活動の中で、危険な遊び方や場所などを知らせたり、一緒に考えたりして、危険な行為はしないことを伝えている。散歩に行く時は道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルールなどを知らせている。</p> <p>囁託の園医などの医療機関や療育機関と連携している</p> <p>医療的なケアが必要な子どもは在籍していない。囁託の園医は、0歳児健診に月3回、乳児健診に月1回、全園児対象の定期健診に年2回来園している。子どもの健康に関する相談をしている。その他、歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を年1回実施し、身体測定月1回、爪点検週1回実施して子どもの健康管理をしている。区の療育機関からは年2回専門職が来園して園での対象児の観察をして職員とカンファレンスをしている。</p> <p>ほけんだよりや掲示物などをで子どもの健康に関する情報提供をしている</p> <p>毎月、「ほけん花だより」を発行して、保健行事の日程や生活リズムの大切さ、あせもの予防法、朝ご飯の大切さ、虫歯予防、日射病・熱中症予防など、季節ごとの子どもの健康管理についての情報を掲載している。玄関ホールのお知らせボードに溶連菌感染症などの感染症発生状況を提示して注意を喚起している。全園児の保護者に緊急連絡網に登録してもらっているので、感染症発生など必要時に発信して情報提供している。園における昼寝時には乳幼児突然死症候群対策をして、体位、呼吸、顔色などを把握して午睡チェックを実施している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の個々の事情には相談してもらい、可能な限り支援をしている</p> <p>保護者の子育てや就労などの個々の事情には、相談してもらい、園で可能な支援をしている。保育時間の変更や急な残業、土曜日が仕事になって保育が必要になった場合などは、開園時間内であれば受けている。お迎えの人が変わる場合には、事前に連絡をもらって受けているが、慣れない人が迎えの時には、帰り支度などの手助けをしている。受診などで登園が遅くなる場合には、乳児は11時30分、幼児は12時30分を過ぎる場合に食事をしてから登園してもらっている。</p> <p>クラス懇談会で、園の取り組みを伝えたり、給食の試食を提供している</p> <p>年2回クラス別懇談会を実施し、時間は17時30分～19時にしている。1回目は、自己紹介をしたりして交流した後、クラスの保育目標や園生活の一日の流れ、子どもの様子、お願い事項などを伝えている。0・1歳児では離乳食・給食の試食をしてもらっている。他のクラスはおやつを試食を提供している。2回目の懇談会には、各クラスで子どもの1年間の成長の様子をスライドショーで見てもらっている。父母会活動がおこなわれている。</p> <p>保育参観・参加や個人面談、誕生会への参加など、保育に参加してもらっている</p> <p>0・1歳児の保育参観、2歳児の保育参加は期間を決めて実施しているが、都合が合わない場合には日程調整して受け、参観・参加の後、個人面談を実施している。幼児クラスは月に外部講師による体育指導の参観を3回実施して、都合の良い日に見てもらっている。個人面談は別日に期間を決めて実施しているが、保護者の都合に合わせて柔軟に対応している。5歳児の誕生会には保護者も参加を勧めて、一緒にお祝いをしている。2～5歳児クラスは保育参加・体操参観の際に、給食の試食を提供している。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当	
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当	
評価項目9の講評			
<p>4・5歳児対象に、ボランティアによるお話し会を月1回ずつしてもらっている 月2回、地域のボランティア3名が4・5歳児を対象に素話や絵本の読み聞かせなどをしてきている。近隣の小規模保育所3園と交流していて、5歳児同士の交流として、ドッジボールをしたり、お楽しみ会へのお誘いを予定している。地域の図書館には3か月ごとに絵本を借りているが、子どもたちは連れて行っていない。</p> <p>近隣の小規模保育所など3園と交流して、行事などへのお誘いをしている 近隣の小規模保育所の園児が6月のお店屋ごっこに参加している。1月のお楽しみ会へもお誘いをすることになっている。5歳児同士の交流を実施し、一緒にドッジボールをしたりして遊んでいる。地域への子育て支援として、園庭開放などはしていないが、児童館の事業への協力として、主任保育士や看護師がトイレトレーニングなどの講師を務めたりしている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	梅ジュースや梅干し作りなど、さまざまな食育活動に取り組んでいる	
内容①	<p>「楽しく食べる元気な子」を目標に、食事を楽しみ、食事に関心をもつ子どもに育てようと食育活動に取り組んでいる。給食は、幼児では主食と汁物をクラス配膳し、お代わりもしている。調理活動では、調理職員の指導の下で食材の皮むき手伝い、芋掘りしたさつまいもでスイートポテト作り、米研ぎ、野菜切りしてカレー作りなどを行っている。その他、毎年、3歳児は梅ジュース、4歳児は梅干し、5歳児は味噌作りをしている。子どもたちが梅をよく洗い、へたを丁寧に取るなどの作業を経験して、出来あがったジュースや梅干し、味噌などを味わっている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	外部講師による体育指導や美術教室を取り入れて、子どもたちが多様な経験をしている	
内容②	<p>外部専門講師による体育指導と美術教室を取り入れている。体育指導は、3・4・5歳児を対象に週1回、それぞれ30～40分程度、カリキュラムに沿って、マットや鉄棒、跳び箱などのいろいろな運動遊びをしている。運動会では運動遊びの成果を披露し、1月には体操参観を実施している。美術教室は4・5歳児がそれぞれ月1回1時間程度で、鯉のぼり作りや新聞紙で大きな道作りをするなど、いろいろな素材を用いて表現する楽しさを味わっている。子どもが、園の職員とは違う大人との触れ合いや多様な経験をする機会になっている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	「防犯訓練実施計画」を実施し、不審者対応に注力している	
内容③	<p>「防犯訓練実施計画」を実施し、年6回、不審者対応訓練をおこなっている。そのうち、2回は警察署と連携し、通報機器などを使用した本格的な訓練、指導をおこなっている。防犯訓練は、毎回担当者を定め、計画の目的、職員・子どもの行動、留意点を明確化し、不審者が侵入したときに適切な対応ができるようにしている。そのために、日頃から近隣との方々との挨拶をし、その連携体制を整えることも大切なこととして取り組んでいる。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	乳児クラスは担当制にして一人ひとりの個性や発達に寄り添い、子どもが安心して自己発揮できる保育をしている
	内容	乳児クラスは担当制にして、職員同士で連携しながら、少人数グループで生活や活動をする保育をしている。担当の保育士が少人数の子どもに関わることで、一人ひとりの子どもの個性や発達に寄り添って丁寧にかかわることができるようになっている。子どもは、保育者との信頼関係を築き、安心して自分を発揮して生活したり遊んだりしている。利用者調査の結果、園の活動は子どもの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、94%が「はい」と回答し、非常に高い評価を得ている。
2	タイトル	子どもが思いっきり体を動かして遊べるよう、散歩や園庭遊びなどの戸外遊びを多く取り入れている
	内容	季節の自然に触れて興味関心を広げ、体を動かして遊ぶことを大事にして、園庭遊びや散歩などの戸外遊びを多く取り入れている。公園では、草花を眺めたり触れたりし、虫探し、園にはない固定遊具やアスレチックなどで遊んだり、縄跳びや鬼ごっこ、リレー、追いかっこなどで思いっきり体を動かしている。園では遊戯室がないため、木曜日に週案会議を開いて、園庭使用や散歩を調整し、広めの保育室内には体を動かして遊ぶスペースを用意し、雨天には玄関ホールや廊下なども使うなど、工夫をしている。
3	タイトル	玄関ホールを活用して、ホッとできる空間の絵本コーナーを設置している
	内容	玄関ホールの階段脇には、絵本コーナーを設置している。乳児・幼児の豊富な絵本を揃え、季節を感じさせ、かわいい装飾をし、ソフトマットを敷き、いつでも自由に絵本を見ることができるようになっている。夕方のお迎え時などに親子で好きな絵本を読むなどしてホッと一息入れるコーナーになっている。園児一人ひとりの貸し出しカードを作成して、一人1回3冊まで、1週間の絵本貸し出しをおこない、多くの子どもが利用している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者との信頼関係の構築に向けて、より一層の取り組みが望まれる
	内容	利用者調査では、「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか」の設問に関して、「はい」と回答した方々は回答者の43%であった。また、この設問の自由コメントには、「意見を伝えても、どのような経緯でどうなったかという説明をしてくれない。園としての決定を言われるだけである」とのコメントも寄せられていた。「杉並区立保育園保育実践方針」にも、「保護者と協力した子育ての推進」を重要事項に挙げている。保護者との信頼関係の構築に向けて、より一層の取り組みが望まれる。
2	タイトル	具体的な子どもの活動の様子や保育者の思いや意図など、園の保育を伝える取り組みの工夫が望まれる
	内容	利用者調査では、「保育内容に対する説明はわかりやすいと思うか」の設問に関して、「はい」と回答した方々は回答者の48%であった。保育の内容説明のうち、年間目標と月のねらいを、懇談会やクラスだよりで伝えている。行事の様子は写真掲示し、日々の子どもの様子は、乳児では連絡帳と口頭で伝えている。しかし、幼児では活動の様子を掲示しているが、一人ひとりの様子を十分伝えきれていないと思われる。今後は、具体的な子どもの様子や保育者の思いなど、園の保育を伝える取り組みの工夫が望まれる。
3	タイトル	これまで以上に、子どもにとって安全で居心地の良い保育室環境作りを期待する
	内容	広めの0～3歳児の保育室は生活と遊ぶ場所を、玩具棚や柵などで区切り、遊び毎のコーナーにして自分で好きな遊びを選んで遊べるようにし、体を動かして遊ぶコーナーを設ける工夫もしている。しかし、訪問調査時には、玩具の種類は多くなく保育室のあちこちには安全に配慮したガムテープが貼っており、壁面装飾や子どもの作品、緑もなく、殺風景に感じられた。今後は、これまで以上に、安全で心地よく、心が和み遊びたくなる保育室環境作りへの工夫を期待したい。

4. 荻窪北保育園

荻窪北
保育園

調査対象

2019年10月調査時点の在園児95名の保護者79世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	95
利用者家族総数(世帯)	79
共通評価項目による調査対象者数	79
共通評価項目による調査の有効回答者数	61
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	77.2

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」8名(13%)、「母」42名(69%)、「父母一緒に」4名(7%)、無記入7名(11%)。年齢:「30歳代」32名(53%)、「40歳代」22名(36%)、無記入7名(11%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」44名(72%)、「満足」15名(24%)、「不満」1名(2%)、「大変不満」1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の96%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心のある活動」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問8「園との信頼関係」、問10「職員の言葉遣いや態度」、問13「子どもの気持ちの尊重」、問15「保育内容の説明」であった。
 ・総合的な感想では、「幼児期の成長に必要なことを大切にしてくれている」「日々先生たちが子どもたちと向き合おうとしているので、園全体が毎年成長しているのを感じる」「子どもの個性に合わせ、良いところや得意なところを伸ばしてくれていることがありがたい」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	60	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「園での生活(社会生活)を通して、日々成長している子どもの姿に驚いている」「とうもろこしの皮むき、冬瓜に触るなどの季節が感じられるような活動やお友達との関わりなど、家庭だけでは体験できないことをしている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	60	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「絵の具遊びや荒馬など楽しかったことを子どもが家で話してくれる」「伝統的な遊びを伝えてくれている」「集団での活動はもちろんだが、子どもの興味がある分野や得意分野も伸ばしてくれている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	60	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、食事に関して高い満足を得ている。「だしの味を大切にしたり味付けや季節の食材、行事に合わせたメニューなどいつも工夫している」「調理に子どもたちを参加させて、食べる意欲を引き出すなど楽しく食事を取る工夫をしている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	58	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「園庭がない分、散歩やバス散歩、電車散歩に行ったり、公園にもよく行って遊んでいる」「園で金魚などを世話し成長を見届けている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	51	4	0	6
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「スポット預かりがあるのは大変助かる」「残業や急な出勤の際にも柔軟に対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	51	9	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、安全対策について高い満足を得ている。「災害や突発な事故などに対して配慮してくれている」「先生が整理整頓をし注意を払っている」「杉並区内で不審者情報が入ったとき、園側はすぐに外遊びを中止した。安全対策がされていると実感した」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	46	8	4	3
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「年間行事計画などを事前に伝えてくれるので対応しやすい」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	56	4	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、家庭と保育所との信頼に関して非常に高い満足を得ている。「困っているときに親身に話を聴いてくれた。また、アドバイスや配慮もあった」「お迎えのたびに相談をしていたため、面談以外の日にも面談してくれた」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	49	11	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	55	4	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「言葉遣いや態度がいつも素晴らしい」「子どもに対して愛情を持ち、大切に育ててくれていると感じている」「どの先生もいつも明るく声を掛けてくれる」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	54	5	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「体調が悪いときにも子どもの様子を注意して見てくれた」「些細なけががあっても連絡してくれるので信頼している」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	48	10	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「よく話を聞いてくれ、組織的に対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	59	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「気持ちをくみ取ろうと温かく向き合ってくれる」「子どもが先生のことを信頼しているのが伝わってくる」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	5	2	4
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	52	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。「毎日写真入りの日記があるので、子どもの様子がよくわかる」「保護者会での保育内容の説明がとてもわかりやすい」「子どもの気持ちをくみ取りながら、エピソードをよく話してくれる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	8	2	5
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「おむつ替えの頻度について希望を伝えた際、すぐに対応してくれた」「こちらから伝えたことを他の先生にも周知対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	24	14	5	18
「はい」と返答した方々は回答者の40%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」8%、非該当29%であった。「プリントなどで提示されているのでわかりやすい」「相談したことはないが、おそらくそういう状況になった際には対応してくれると思う」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	<p>「方針会議」では理念を確認し合い、次年度の方針について討議している。</p> <p>事業計画書に、法人の基本理念と運営方針、保育目標、めざす子ども像を明記し、職員へ周知している。年度末に正規職員を対象に「方針会議」を開催している。該当年度の総括を踏まえ、理念を確認し合い、次年度の方針について討議している。「全体の計画」にも理念・保育目標・めざす子ども像を明記しており、これらに基づき年間指導計画などを作成している。保護者には、毎年4月1日に開催する入園説明会で、スライドショーを使って、視覚的に保育内容や行事の様子などの説明を通して、園で大切にしていることを伝えている。</p> <p>重要案件の検討、決定の場を明らかにし、事業計画書に明記している</p> <p>全ての責任は園長であることを職員へ伝えている。園長のほか、主任2名(乳児1名、幼児1名)、クラスリーダーが当園のリーダー層で、リーダー層が参加する「運営会議」(週1回、必要に応じて)で、園の方向性を決めている。その後、運営会議で検討した事案を「職員会議」(月1回:正規職員全員が参加)で提案し、討議・決定している。その他、幼児グループ会議、幼児事例会議、乳児グループ会議、乳児クラス代表者打ち合わせ、幼児クラス代表者打ち合わせ、食事会議などの定例の各会議を設け、より良い保育の実践に向け検討している。</p> <p>園の決定事項は「えんだより」などで、保護者に周知されている</p> <p>保護者に対して、「えんだより」などを通して、園の決定事項を周知している。4月の「えんだより」には保育時間・メール配信サービス(すぐメール)に関するお知らせと協力依頼、職員体制、各クラスのおたより・ほげんだより・給食だよりなどを載せ、当該年度の保育の進め方について保護者に周知している。前年度まで延長保育の保育室を乳児と幼児と分けていたが、延長保育の利用人数が少なくなり、今年度から一つの部屋にした。このことも、「えんだより」で保護者に周知した。</p>	

2		サブカテゴリ1(2-1)	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		6/6	
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
実践的な計画策定に取り組んでいる		5/5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリ2の講評			
<p>「園主催保護者会」は、テーマを決めて、保護者の話を聴ける機会になっている</p> <p>日頃から保護者の意向を聴く姿勢を持ち、クラス担任が中心となり、保護者の意向把握に努めている。年度末に開催する「園主催保護者会」で後半の時間にグループに分かれて保護者と職員が話し合い、保護者の意見や要望を把握している。テーマを決め、グループに分かれて率直に話をしてもらう場としている。保護者会開催前にアンケートを実施し、テーマを決めている。保護者会実施後にもアンケートをおこない、次回の改善に活かしている。これらの丁寧な取り組みにより、ここ数年、保護者会の参加人数が増えている。</p> <p>法人内施設長会議などから、保育施策などの情報を収集し、園運営に活かしている</p> <p>区内私立園の園長会(月1回)や、法人内施設長会議に参加し、他園の取り組みや子どもに関わる施策などについて情報収集している。近隣の保育所が参集する地域懇談会や行政連絡会、地域子育てネットワーク会議に参加し、地域ニーズについて情報収集している。地域子育てネットワーク会議には、地域の小・中学校、町会、商店街、保健所などが参加している。見学者や、「親子広場」・ふれあい保育・一時保育の利用者からも地域の在宅で子育てしている方々の状況やニーズを把握している。</p> <p>事業計画書には、園をめぐる課題を踏まえ、今年度の保育の実践目標を3つ定めている</p> <p>事業計画の作成では、「運営会議」で園長・主任2名・クラスリーダーで話し合い、課題を決め、その後、職員会議で提案し、全職員で検討し、決定している。その際は、子どもへの負担、保護者の意向、職員の労働負担などを踏まえ、策定している。事業計画書には、園をめぐる課題を踏まえ、今年度の保育の実践目標を3つ定め、具体的な行動を明記している。計画策定後は、職員会議などで進捗状況を確認し、半期ごとに総括し、着実な実行に努めている。</p>			

カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評			
<p> 新人職員研修時に、理事が法人が大事にしてきたことなどの話をしている 法人全体の新人職員研修時に就業規則を職員個々に配布し、服務規律などを説明し、法人職員として遵守すべき事項について説明している。また、理事が、法人がこれまで保育で大事にしてきたことなどについて新人職員に伝えている。新人職員には、入職後、2か月経った頃、フォローアップ研修を実施し、そこで保育の振り返りをする時間を設けている。そのほか、パート職員には子どもへの対応などについて口頭で説明し、園が求める保育について伝えている。ハラスメントに関してもガイドラインを全職員に配布し、その防止について周知している。 </p> <p> 苦情解決体系図を玄関の見やすい場所に掲示し、保護者に周知している 意見箱を1階に置き、いつでも投函できるようにしているが、ここ数年間投函実績はない。苦情解決体系図を玄関の見やすい場所に掲示し、保護者に周知している。苦情解決体系図は、「園のしおり」・ホームページに掲載し、入園前説明会で保護者に説明している。法人として第三者委員3名を配置しているが、第三者委員が介入するほどの苦情はこれまで発生していない。3月の保護者会で意見交換の場を設け、保護者の苦情を把握している。保護者から寄せられた苦情や意見はクラス担任から主任、園長へ報告し、迅速な対応を心掛けている。 </p> <p> 「親子広場」などを実施し、地域での子育て支援の拠点としての役割を果たしている 「ふれあい保育」や「親子広場」などで、地域で子育て中の親の育児相談や離乳食などの食事に関する相談に応じている。地域情報誌すらんを発行し、保育園を知ってもらう機会とし、見学者にも送付している。近隣の子育てプラザと共催し、月1回、地域の子どもたちへの遊びの機会を提供している。そのほか、幼保小の連携プログラムの一環で小学校の行事に参加したり、近隣小学校を中心とした震災救助運営連絡会が主催した防災訓練に参加し、地域とのネットワークに参画している。 </p>			
カテゴリ4			
4	リスクマネジメント		
サブカテゴリ1(4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>「消防訓練計画書」を作成し、計画に沿って、月1回、防災訓練を実施している</p> <p>「消防訓練計画書」を作成し、計画に沿って、月1回、防災訓練を実施している。毎月の防災訓練時に、園内外の危険個所の点検をおこない、点検表に記入している。不審者情報や災害情報などの緊急情報を電子メールによって、保護者の携帯電話やパソコンに配信できるシステムを導入している。今年度、大津での保育園園児の交通事故を受け、散歩先での安全確認について確認したり、新しい公園に行くときは必ず下見をして危険個所がないか確認している。杉並区役所からの通知文書「保育中の危機管理について」を配付し、各クラスで確認し合った。</p> <p>ヒヤリハットをミーティングなどで共有し、職員相互に注意喚起している</p> <p>事故やケガにつながらないためにヒヤリハットを活用し、週1回のミーティングや各グループ会議で共有し、職員相互で注意喚起している。感染症発生時は文書を掲示し、保護者・職員へ周知し、注意喚起している。看護師は区の医療会(月1回)や、区保育課主催の「ノロウイルスの基礎知識と対応」などの感染対策の研修に参加し、職員会議で報告し、職員全員で共有している。そのほか、アレルギー研修をはじめ危機管理に関する研修には、複数名で参加したり、職員皆が学べるよう年度毎に研修を実施している。</p> <p>職員会議で、個人情報保護に向けて注意喚起している</p> <p>文書管理規程を作成し、これに則って管理している。紙媒体の個人情報は鍵の掛かる書棚で保管している。電子媒体の各種記録はパソコン上で共有ファイルを設け、どの職員も閲覧できるようにしている。また、パソコンは定期的にセキュリティ対策をおこない、情報の漏れがないようにしている。また、パソコンごとにパスワードを設定し、園長・事務職員は、個別のパスワードを設定し、アクセス権限を設けている。職員会議では、「USBなどを落とさないように」「SNSに載せたりしないように」など個人情報保護遵守に向けて、具体的に注意喚起している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

個別面談で希望を聴き取り、園全体のバランスを考慮、クラス担任を決定している。

正規職員の募集・採用は、法人本部が統括して実施し、パート職員の募集・採用は園長の裁量に任せられている。パート職員の確保は、職員の口コミによる紹介が多く、派遣職員には頼っていない。人事異動に関しては、法人全体の施設長会議で話し合っているが、本人の申し出による異動が主で定期的な法人内人事異動はおこなわれていない。年度末の園長による職員個々との面談で希望などを聴き取り、職員個々のキャリアを見据え、園全体のバランスを考慮し、園長・主任でクラス担任を決めている。

「学びを深めることで実践もさらに深まる」とし、研修計画を策定している

「学びを深めることで実践もさらに深まる」とのコンセプトに基づき、研修計画を立案し、事業計画書に明記している。研修は、法人学習会・園内研修・園外研修(区の実務研修、東社協、全国合同研究集会、他園見学など)で構成されている。園内研修は職員の意見も反映しており、今年度の園内研修は実践会議・絵画指導・荒馬踊りの実技などをテーマとしている。他園見学に行く場合は、環境・遊具・子育て支援などテーマを持って参加している。各クラス打ち合わせも含め各会議を学びの場としても位置づけ、自由な意見交換を通して、気づきを得ている。

産業医も参加して、衛生委員会を開催し、職場環境の改善について協議している

衛生管理者を配置している。産業医も参加して、衛生委員会を開催し、感染症や職場環境、職員の健康などについて状況把握と改善について協議している。月1回以上の有給休暇の取得を奨励している。「退職金規程」も用意し、退職後の生活の保障を担保している。区がおこなう保育従事職員宿舎借り上げ支援事業を活用した、法人が実施する「宿舎借り上げ制度」を利用することができる。「育児休業等に関する規則」「介護休業等に関する規則」を整備し、出産・育児・介護などがあっても働き続けられる環境を整備している。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・子どもが活動の主体になることを、もっとも大切にしたいことと考え、「一人ひとりが自分の居場所を持ち、それぞれの子が存分に自分の力が発揮できるように人的・物的環境づくりをおこなう」ことを重点課題とした。
 ・上記の目標達成に向け、外部講師を招き、「お泊り会の実践学習会」を開催した。お泊り会の開催にあたっては、お泊り会で行きたい所やしてみたいことをそれぞれの子どもが出し合い、進めてきた。子どもたちに分かりやすいようにお泊り会の流れ等を掲示するなどの工夫をした。お泊り会がきっかけで、その後、動物園ごっこに発展した。お泊り会の取り組みは、年ごとに実践と学習をし積み重ねてきている。子ども一人ひとりの声を聴くことを大切に、自分の力を存分に発揮できるよう子どもとやりとりをしながら対話的に進めている。お泊り会に限らず、他の行事を始め、日常の保育の実践でも子どもの声を聴き保育を進めている。今年度も引き続き、実践課題としている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・「お泊り会」では、毎年、子どもたちの声を出発点とした活動をおこなってきた。「お泊り会でやりたいこと」を子どもたちに考えてもらい、全員が紙に書いて発表した。中には、日中に行きたい場所について写真を出してくれたり、行き方まで調べてくれる姿があった。日中の活動で出ていたのが、「動物園」「恐竜博物館」であった。一人の子が「恐竜の骨が怖いから、行きたくない」と言い、それを聴いた子が「怖いと思う子がいるなら、みんなが楽しいと思える動物園がいいと思う」との発言があり、「みんなで」という気持ちが子どもたちの中で出てきていることを確認することができた。日中・夜の活動以外にも、子どもたちで夕食や朝食のメニューを決めたり、その材料をグループごとに買いに行ったり、お風呂屋さんへ挨拶と見学に行くなど、お泊り会の当日に向けて、たくさんの活動を積み重ねることができた。子どもも保護者もたくさん話し合い、一緒になって「お泊り会」を作り上げている。職員アンケートでも、「子どもたちがやりたいと思う活動を形にできている」とのコメントが寄せられた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・子どもの興味関心のある事や子どもの姿を肯定的に捉える視点を持ち、具体的な子どもの姿を通して職員間で話し合い深め、保育計画に活かして、保育実践につなげていきたいと考えている。その一環として、「学びの物語」の視点で、記録をまめにとりそれに基づいた話し合いを通して、子どもの内面を深く捉え、それに続き保育計画に活かす」ことを重点課題とした。
 ・上記の目標達成に向け、年2回の「学びの物語」の記録をもとにした話し合いをおこなった。2回目は「絵本」をテーマにした記録を出し合った。
 ・「学びの物語」の記録をもとに話し合うことが位置づいていることで、意識して子どもの姿を丁寧に見ることにつながっている。また、話し合いの場を設けることで記録を取ることが習慣になってきている。ただし、そのことを保育計画に活かしているかは課題である。そのため、引き続き、課題として実践を深めていきたいとしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

今年度の実践課題の2つ目に「学びの物語」の視点で、記録(写真や映像含め)をまめにとり、それに基づいた話し合いを通して、子どもの内面を深く捉え、それに続き保育計画に活かす」を掲げている。そのため、年3回の「学びの物語」の小学習会をグループ会議、クラス打ち合わせなどで継続的に実施し、実践会議、総括で職員全員で共有している。子どもの姿から、その意味することを深く読み取る作業がクラスで、グループで、園全体で重層的におこなわれている。子どものできる・できないではなく、子どもが発した言葉を拾い、子どもが興味や関心を持ったことを記録し、子どもの力を発揮しているところを保育者が見つけ出している。さらに、この取り組みを通して、職員個々が保育の面白さや味わいを感じ取り、子どもと共に成長していく保育者を目指している。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものとしている
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリー1の講評		
<p>園のホームページや区のホームページ、冊子などで情報提供している 園のホームページは法人本部で作成しているが、子どもたちの活動の様子の写真や園目標、園の概要(対象年齢、保育時間、定員、遊具の種類、年間の行事)、園だよりや給食だよりなどのお便りを掲載している。また、「おぎぎたの保育」の特徴として、自然との触れ合いを求めて散歩が日課ですなどと紹介している。区のホームページや冊子「保育園施設利用のご案内」「杉並区保育園マップ」「くらしのガイド」広報紙でも情報提供している。園の門外の掲示板には子育て支援事業「おおきくなあれ」の日程などを掲示している。</p> <p>区や関係機関と情報交換して連携している 指定管理者として区立園を運営している。担当課に毎月、事業報告書として、入所児童数や延長保育利用児数、献立表などを提出している。園長は区が主催する私立保育園連絡会に毎月参加して行政から情報を受け、他の私立保育園長と情報交換している。区主催の地域懇談会では地域の公私立園や認証保育所などと、年3～4回情報交換をしている。小・中学校や公私立保育園、幼稚園、児童館などの子どもに関する事業所が話し合う、地域子育てネットワークでは行事等の情報交換をして、年1回「おもしろえんにち」に参加している。</p> <p>見学は日程調整して随時受け、子どもの様子を見てもらえる午後の時間にしている 見学希望者は日程を調整して随時受けている。当園は園庭がなく、園児が散歩に出ていることが多いことから時間は子どもたちの様子が見てもらえる午後3時30分頃からにしている。1回につき4組程度まで受け、複数であることを事前に了承してもらっている。見学者用の園のしおりを配付して園内を案内している。担当は乳児・幼児主任がしている。見学者が多く、夏以降はほぼ毎日のように、受けている。園の保育の特長として、子どもの主体性を大切にする保育をしていることを伝えて、質問にも応じている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会は入園初日に実施して、園の概要や基本的なルールなどを説明している</p> <p>4月の入園内定者には、2月中旬頃から新入園児面接を実施して、準備してもらう物などの説明をしている。入園説明会は入園初日(4月1日)に実施している。園のしおりを基に、園の概要や保育理念、保育の方針、年間行事、給食、健康管理、個人情報保護、緊急時の対応などを説明し、園の一年間の行事や子どもの様子などをパワーポイントで見てもらっている。説明内容についての同意は口頭で受けている。</p> <p>慣れ保育は子どもの状況や保護者の意向により個別に柔軟に進めている</p> <p>入園面接時に、保護者の就労状況、職場復帰時期、慣れ保育の意向など聴き取り、慣れ保育として、子どもの不安やストレス軽減のために3日程度予定していることを伝え、子どもの集団保育の経験の有無や慣れ具合などで個別に、柔軟に進めることを説明している。初日は親子登園して、保護者が説明会に参加している間を預かり、昼食までの保育にして、0歳児は離乳食(ミルク)を保護者に食べさせてもらっている。2日目からは子どもを預かり、子どもの状況により徐々に進め、ゆつくりを希望される場合は、緩やかに保育時間を延ばしている。</p> <p>就学した1年生には、5歳児と交流する「1年生を迎える会」を開いている</p> <p>途中退園や転園の場合にはクラスでお別れ会を開き、保護者には新しい育児環境に不安はないかどうか聴いたり、いつでも園に遊びに来てくださいと伝えている。卒園児には、就学先の小学校へ、「保育所児童保育要録」の写しを送付して引き継いでいる。6月には「1年生を迎える会」を開催して、5歳児と一緒に鬼ごっこをしたり1年生への質問などで遊んだり、交流したりしている。1年生は学童クラブに通っているので、園の職員が迎えに行き、会終了時には保護者が園に迎えに来てくれている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身の状況を見守りや保育日誌などに記録して把握している
 入園前には園医による健康診断と身体測定を実施して、健康や発育状況、成育歴、既往歴、予防接種歴などを把握している。面談では提出書類「入園までの生活状況」を基に、食事や排せつ、言葉、好きな遊びなどを聴き取り、保育に活用している。入園後は、0～2歳児は毎日連絡帳を使用して食事や排せつ、睡眠などと子どもの様子を相互にやり取りして把握している。幼児クラスは登園時に保護者に健康状態を聴き取り、把握して保育している。日中の子どもの様子は保育日誌や保健日誌に記録し、子どもの保育の経過を見守りに記載している。

指導計画は担任同士が子どもの実態やクラスの状況を話し合っ作成している
 全体的な計画を基に、子どもの実態や取り巻く状況などを考慮し、養護と教育の領域に分けて年間指導計画を作成し、月間・週間指導計画を作成している。各クラス担任同士で子どもの様子やクラスの状況を振り返り、翌月の指導計画を作成している。乳児クラスはクラス全員の子どもの姿や配慮点を、幼児クラスは必要な子どもの姿と配慮点を記載している。保護者会では子どもの年齢発達の姿や一年間大切にしたいことを伝えている。

さまざまな会議を開催して子どもに関する情報を共有している
 子どもに関する情報(月案を含む)は乳児・幼児グループ会議で報告し共有している。日々の子どものに関する情報は、朝夕保育当番用の朝タノートに担任が記入して引き継ぎ、当番も保護者から聴き取ったことを記入して担任に伝えている。また、さまざまな職員会議を開催して情報を共有している。参加可能な職員全員参加の職員会議、乳・幼児グループ会議、クラス打ち合わせはそれぞれ月1回、夕方から実施し、ミーティングは週1回昼間に実施して、ヒヤリハット、子どもや保護者に関する情報の共有をしている。緊急対応には随時会議を実施している。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 5/5

評価項目1
 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外者とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2
 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリ-5の講評

子どものプライバシー保護を徹底している
 入園時に、個人情報の取り扱いについて書面で園の考え方を伝えて、保育を伝える資料として写真やビデオを使用することへの理解、保護者のビデオ・写真撮影へのお願いについて同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、4階の屋上で実施しているプール遊びには遮光ネットを張り、事前のおしり洗いはテントで囲いをして見えないように配慮している。乳児クラスのおむつ替えや着替えなども他の人に見えない場所でするようにし、幼児では脱いだら着て全裸にならないことなどを指導している。

一人ひとりの子どもを尊重して、思いを実現できる保育を心掛けている
 法人の理念として「子どもたちの最善のもの」「より良い保育」を掲げて、一人ひとりを肯定的にとらえ、子どもの興味関心を大事にした保育をして、やりたいことを実現できるように援助することを心掛けている。12月の遊び会では、やぐらで太鼓を叩きたい、ドーナツ屋をしたいなど、子どもの思いを実現させている。誕生日のお祝いは、玄関に今日の誕生日児を紹介して各クラスでしているが、幼児では粘土製のデコレーションケーキでろうそくを立てて祝っている。子どもの名前呼び方は～さんや～ちゃん敬称をつけて呼ぶようにしている。

子どもの様子などに気を配り、虐待の早期発見や対応に心掛けている
 区の「子どもの虐待防止マニュアル」に沿って対応している。職員は常日頃から子どもの様子や何気ないつぶやき、身体の不審な傷などに気を配り、子どもに尋ねたり保護者に確認したりして、少しでも気になることがある場合には園長に報告して、虐待の早期発見・対応を心掛けている。園長は必要に応じて子ども家庭支援センターに連絡して、連携して対応することになっている。職員は子ども家庭支援センター主催の子どもの虐待研修、テーマ「子どものSOSとその対応」を受講し学び、職員会議で研修報告をして共有している。

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映している	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立園共通のマニュアルや園独自のマニュアルを整備している</p> <p>区立園共通の「危機管理マニュアル」を整備して、事務室内の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。その他、園独自のマニュアルとして、「早朝当番の仕事」「ひととき保育の電話マニュアル」「当番の仕事」「延長番の点検箇所」「非常勤の動き」「パートの仕事」などを作成して、手元に置き、確認できるようにしている。</p> <p>園独自のマニュアルなどは年度末、必要に応じて随時、見直している</p> <p>園の行事については、行事終了後に反省会を開き、意見を次年度の行事に活かしている。「早朝当番の仕事」などの園独自の手順書類は年度末に職員会議で検討し、見直しをしているが、子どもの人数変更などにより内容を見直す必要が生じた場合には随時、話し合っで見直している。「散歩マニュアル」は他の園で散歩中の大きな事故があったことから、散歩の仕方について区立園共通マニュアルを基に話し合い、実際の散歩先を想定したマニュアルに見直し差し替えをしている。</p> <p>意見については運営会議や職員会議で検討して見直しを決定している</p> <p>クラス保護者会や園主催の保護者会の後には、園に対するご意見、終了後には感想を聴いている。保護者参加行事の運動会には職員アンケートと保護者アンケートを取って、次年度の参考にしていく。保護者からの意見は運営会議や職員会議で検討して見直している。クラス保護者会の開催時間を13時30分にしていたが、夕方近くにしてほしいとの意見から、0歳児クラスは15時30分に変更した。兄弟関係が同じ週に開催されるのは困るとの意見に考慮して同じ週にしないことにした。職員から「保護者会の開始時間について」検討の必要性の意見が出ている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの年齢発達に合わせた玩具類を自分で選んで遊べる環境にしている</p> <p>乳児室では、食事や着替えなどの生活と遊びの場所を玩具棚や木製の仕切りなどで区切り、明確にしている。遊びの場所は子どもの年齢発達に応じた玩具や教材、絵本などを用意して、子どもの背丈に合わせた玩具棚に子どもが使いやすくなるように並べて置き、自分で好きな遊びを選んで遊べるように、ままごとや絵本、構成遊び、手先遊びなどの遊び毎のコーナーにして、じっくりと落ち着いて遊べる環境を作っている。ままごとコーナーの手作り具材は豊富で、2歳児では入れ物に写真を貼り、子どもが入れやすいように、仕分けしている。</p> <p>一緒に散歩に出掛けたりお店屋ごっこに参加したりして異年齢交流をしている</p> <p>秋の運動会以降には2歳児と5歳児と一緒に散歩に行くなど、異年齢交流活動をしている。5歳児は小さい子と一緒に手をつないで歩く時には、歩幅を合わせて車道側を歩いている。12月の遊び会(おみせやごっこ)では4・5歳児がお店屋になり、他の園児もお客として参加してくれるので、小さいお客さんに優しく説明したり、接したりする姿が見られている。3～5歳児の荒馬踊りは乳児も懂れていて、音が聞こえてくるとリズムに合わせて身体を動かしたり、洗面器を太鼓に見立てて叩いたりしている。七夕などの伝統行事は幼児と一緒に取り組んでいる。</p> <p>地域の小学校と交流して刺激を受けたり、就学を楽しみにしたりしている</p> <p>地域の小学校とは地域子育てネットワーク会議で情報交換し、区の幼保小連携プログラムでも連携して交流している。5歳児は5年生と一緒に給食交流の機会があり、学校のイベント「仲良し会」に招待されて、2年生から、学校の楽しいところを紹介してもらったり、2年生が考えた昔遊びと一緒に楽しんだりしている。小学校の行事にも招待してもらっているが、今年は学芸会で一年生の発表を見せてもらったところ、刺激を受けた子どもたちから「自分たちも劇ごっこがしたい」という声が出て、劇遊びにつながり、同じ演目に取り組んだ。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での様子を聴いて受け入れている</p> <p>登園時には挨拶をして、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、家庭での子どもの様子を保護者に聴いて受け入れている。朝保育の当番保育士が受け入れる場合には、前日の情報(園で怪我をした、発熱、体調を崩し気味、欠席していたなど)を朝タノートに担任が記入しておき、口頭でも伝言をおこない、それらの情報を参考にして詳しく様子を聴き取り、担任に引き継いで保育をしている。受診したり薬を服用しているなどの情報は漏れなく伝えてもらうようになっている。</p> <p>生活習慣が身に付くように、保護者と協力しながら個別に援助している</p> <p>クラス保護者会では、資料を用いて子どもの年齢発達の姿を伝えている。離乳食は家庭での食べ具合を聴いたり、園の展示食を見てもらい保護者と相談しながら、無理なく段階を進めている。保護者会で離乳食の試食を提供している。スプーンの持ち方や箸の使い方なども子どもの持ち方・使い方の発達を説明している。箸は正しい持ち方で使える子どもから順に使用している。排せつの機能の発達も資料で説明し、個人差が大きいために個別に進めることを伝え、排尿間隔が広がり、トイレで排尿するようになってから、保護者と相談してパンツに切り替えている。</p> <p>迎えの保護者に一人ひとりの子どもの様子を伝えるように心がけている</p> <p>乳児クラスは食事や排せつ、睡眠、子どもの様子などを連絡帳に記入し、迎えの保護者に一人ひとりの子どもの様子を直接伝えるようにしている。幼児クラスは連絡帳を使用していないので、幼児のフロア入口に「今日の様子」を5～8枚の写真付きで掲示して見てもらい、子どものエピソードなどを口頭で可能な限り、伝えるようにしているが、18時以降は合同保育のため、担任は連絡事項を朝タノートに記入して当番保育士に引き継ぎ、対応している。保護者に詳しく状況説明をする必要がある時には説明できる保育士が保護者の迎えを待って伝えている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関わるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

散歩などで身体を動かして遊び、継続して遊ぶ玩具は置いておけるようにしている
 1・2歳児では朝の牛乳を飲み終え、9時30分頃には散歩に出掛けるようにし、幼児クラスも10時前には散歩に出掛けて食事前まで、たっぶり、体を動かしたり、自然に触れて遊んだりしている。各保育室内では積み木や製作物など、継続して遊びたい物は残しておき、遊べる場所を確保している。5歳児では小型ブロックの組み立てが盛んで、複雑な物は時間がかかるので、置いておき続けて作ったり作った物で遊んだり飾ったりして、金曜日の夕方には残したい物2個までにして、他は片付ける約束にするなど、子どもと片付け方を話し合っている。

子どもにとって最善の絵本や物語、人形劇などに触れ、心地よい言葉の感覚を育てている
 各クラスは年齢に合って、読んで聞かせたい絵本を計画的に取り入れている。子どもが興味関心を持った本も随時取り入れている。絵本の読み聞かせボランティアが月2回来園して、4・5歳児を対象に読み聞かせをしてきている。人形劇団の公演を年2回観て、本物に触れている。幼児クラスでは毎日、朝の会や帰りの会で当番が皆の前に出て発表したり伝えたりする経験をし、5歳児は人数調べ当番をして、幼児クラスを回り、「今日の人数調べをお願いします」と人数を聴いて、事務室や調理室に伝える経験をしている。

戸外遊びに適した季節には、ほぼ毎日のように散歩に出掛け自然に触れて遊んでいる
 駅に近く、園庭はないが屋上の遊び場には砂場や花壇があり、夏にはプール遊びや水遊びをし、花壇やプランターの草花や葉っぱを摘み、ダンゴムシや幼虫などを探して遊び、野菜も栽培している。3～5歳児は、戸外遊びに適した季節にはほぼ毎日、駆け回って遊べる公園やアスレチックで遊べる公園など、活動目的に合わせた公園に散歩に出かけている。公園の池に生息していたオタマジャクシや亀をもらって飼育している。季節の自然物を保育に取り入れてリースや飾りにして遊んでいる。月に1～2回は公共交通機関を利用して少し離れた公園に散歩している。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

運動会では5歳児になると馬を付けて荒馬踊りを披露している
 運動会は11月上旬の土曜日に、小学校の校庭を借りて実施している。体操やかけっこ、荒馬踊り、リレーなどを見てもらい、親子競技もしている。年間通して取り組んでいる幼児クラスの荒馬は、毎年5歳児は馬を付けて踊るので、子どもたちの憧れになっている。初めて馬を付けて、跳んでみるとうまくリズムに乗れなかったものの、繰り返ししているうちに、次第に、二つ跳び、四つ跳び、いななき跳びなどができるようになった。自信をつけた子どもたちは、自分たちで掛け声をかけながら出来るようになり、張り切って披露することができた。

自分の出したいお店などに取り組み、「遊び会(おみせやごっこ)」をしている
 4・5歳児がお店屋さんごっこをして、他のクラスの子もたちがお客になって、買い物を楽しんでいる。4・5歳児は前年の経験があり、アイス、プレスレット、ドーナツ、ドレスなど、自分が開きたい店を決めて取り組む子ども、ラーメン、折り紙、お化け屋敷など数人で一緒に協力して店を開く子どもなどがあり、店で売る物などは全部手作り製作している。その他にも、太鼓を叩きたいと太鼓ショーを開いたり、5歳児が劇を上演するなどしている。当日は大忙しだったが、子どもたちは「大変だけど、楽しかった」などとやり遂げた喜びを感じていた。

行事予定表を配付し、子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子を伝えている
 年間行事予定表は年度初めに配付して予定してもらえるようにしている。保護者に参加してもらおう子どもの行事は全園児対象の運動会と5歳児の卒園式である。運動会に向けて取り組んでいる子どもたちの様子は毎日の「今日の様子」の掲示で見てもらったり、毎月発行しているクラスだより、運動会号外などでお知らせしている。その他、保護者参加行事にはお知らせや案内状を発行して、保護者も楽しみにしてもらえるようにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目5の講評			
<p>朝保育は乳幼児別の合同保育、夕方保育は18時まで各クラス保育をしている</p> <p>朝保育は、3～5歳児は7時30分から8時30分まで3歳児室で合同保育、0～2歳児は8時までは1歳児室で合同保育をしているが、その後0歳児が0歳児室へ移動して、8時30分からは各クラスで保育している。夕方保育は0～2歳児は18時30分まで各保育室で過ごし、3～5歳児は18時までは各クラスで保育をし、その後3歳児室で合同保育にしている。18時30分以降は延長保育になり2時間延長保育を実施している。</p> <p>よく慣れた保育室で安心して好きな遊びをして過ごしている</p> <p>よく慣れている各クラスの保育室で過ごしているので、じっくりと自分が遊びたい遊びをしている。疲れて横になったりくつろいだりできるように、布団や畳なども用意しているクラスもある。夕方保育担当は担任といつもと同じパート職員を配置しているので、子どもたちも落ち着いて過ごすことができる。3～5歳児は18時から合同保育になり異年齢で遊ぶため、日中のクラスの遊びでは使わない夕方保育用の玩具、ブロック類などを出したりして気分を変えて遊んでいる。</p> <p>よく慣れた担当職員と一緒に異年齢で好きな遊びをしながらゆったりと過ごしている</p> <p>18時30分からの延長保育は利用児全員が1階の一時保育室で、延長保育担当職員2名とパート職員3名と一緒に過ごしている。一時保育室には床暖房設備が完備している。延長保育はフリーの職員や主任が担当し、いつも同じパート職員と過ごしているので、子どもたちも良く見知っている顔触れであり、自然な異年齢交流の場になり、年上の子どもが年下の子どもと一緒に遊んでくれたり、おもちゃを貸してくれるなどしている。大人と一緒にいたいような時にはゆったりと一緒に絵本を見るなどしている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>担任や友達と一緒に、楽しい雰囲気の中で美味しく食事をしている</p> <p>安定して座れる椅子やテーブルを利用して、子どもが安心できる大人や友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食事をすることを大事にしている。幼児クラスではご飯はおひつ、汁物や副菜は保温機能付きのジャーに入れ、保育室で盛り付けている。分量は規定量を示したうえで、子どもが自分で食べられる量を申告する方法にして温かいものは温かく、美味しく食べられるようにし、食べ終わるとお代わりもできるようにしている。1・2歳児も年度後半には保育室で盛り付けている。4歳児は汁物以外は自分で盛り付け、5歳児は当番活動として盛り付けをしている。</p> <p>子どもの年齢発達や季節などに合わせて、配慮して4種類の献立で提供している</p> <p>年間目標に沿って、子どもたちの食べる意欲につながる食事作りを目指して、園独自の0歳児は離乳食献立、1歳児は1歳児献立、2歳児は2歳児献立、幼児は幼児献立で提供している。旬の食材、国産・無添加・無農薬の食品を使用するように努力して、食材の産地は掲示して知らせている。できるだけ良い調味料や食物例えば、天塩や三温糖、天然の昆布、0歳児食パンは天然酵母のパンを使用している。子どもたちに適温で出したり、夏場には冷やしうどんなどのさっぱりして食べやすい物、冬はシチューなど季節に応じた献立で提供している。</p> <p>野菜栽培や食材の皮むき、さまざまな調理保育に取り組んでいる</p> <p>野菜の栽培は4・5歳児が4階の屋上でプランターを利用して、ピーマンやオクラ、里芋などを栽培している。水やりをしながら花が咲いた実がなったなどと観察し、収穫経験をして、採れたてを調理して食べている。区内の農園に芋ほりに出かけて収穫経験をしている。食材に触れる経験をして2歳児からさら豆など豆類のさやむきやトウモロコシの皮むき、玉ねぎの皮むきなどを行っている。3歳児からは調理保育も盛んで、梅ジュース作りやお米炊き、ふりかけ作り、クッキーづくり、デコレーションケーキのトッピング、みそ汁作りなどに取り組んでいる。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
評価項目7の講評			
<p>子どもが身体や健康に関心をもち、病気やけがの予防ができるように知らせている</p> <p>保健目標として、子どもが健康に成長でき、自分の体調の変化を伝えられるように支援している。どこが痛いのか、どうして怪我をしたのかなど、年齢に応じて伝えられるように、聴き取っている。幼児クラスは手洗い場で手洗いの実技指導をし、洗い方の手順の図を手洗い場に貼っている。歯磨き指導は保健所の歯科衛生士の指導を受けて磨き方を教えてもらい、4・5歳児が昼食後に歯磨きをしている。日々の保育の場面や年齢に応じて、危険な遊び方や場所などを知らせたり、考えさせたりして、身を守る大切さを気付かせている。</p> <p>囑託の園医などの医療機関や専門機関と連携している</p> <p>特別な配慮が必要な子どもには、その子どもに応じた対応を取っている。囑託の園医による0歳児の健康チェックは週1回、全園児対象の内科健診は年2回受けているので、来園時には園児の健康に関する相談に応じてもらっている。その他、歯科健診年1回、3～5歳児対象の眼科、耳鼻科の健診を年1回受けている。療育機関に通園している園児が在籍しているので、年に1～2回保護者の希望で、専門職に見てもらいカンファレンスを受けている。</p> <p>保健だよりや掲示などで子どもの健康管理に関する情報を提供している</p> <p>健診や身体測定の結果は健康カードで保護者に伝えている。毎月保健だよりを発行して、園で発生している感染症状況や保健行事、登園前の健康チェック、虫歯予防、頭じらみ、夏の病気、日射病・熱中症予防など、季節ごとの子どもの健康管理に関する情報を掲載している。保健に関するポスターや感染症発生情報は掲示して、保護者に伝えている。乳幼児突然死症候群(SIDS)への注意喚起は園のしおりに掲載して説明し、園の昼寝時には午睡チェックを実施している。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者会や運動会は保護者同士の交流の場になっている</p> <p>年2回開催しているクラス保護者会は保護者同士の交流の場になっている。1回目は自己紹介や子どもたちの様子を映像で見てもらい、2回目には成長した子どもの様子を伝え、進級に向けて保護者懇談をしている。年1回の園主催保護者会はクラスの子どもの様子を伝え、保護者と園との意見交換の場になっているが、クラス保護者会に参加できなかった保護者の参加もあった。運動会も保護者の交流の場であり、保護者競技や親子競技に参加してもらい昼食を一緒に食べている。</p> <p>子どもの様子や園の保育をさまざまな方法で保護者に伝えている</p> <p>園の保育は、年1回の園主催保護者会や年2回のクラス保護者会、個人面談、保育参観・参加で伝えている。園だよりはクラスだよりや給食だより、保健だよりと一緒に綴じて発行し、わかりやすくしている。日々の子どもの様子は連絡帳や今日の様子掲示で伝え、可能な限り一言添えて受け渡しをしている。遊び会などの行事の様子は写真を掲示している。その他、年2回「ほっとタイム」として各クラスが保護者に伝えたい子どもの姿、保育で大切にしていることなどを盛り込んだ写真・コメント付きの模造紙を玄関ホール、事務室前に掲示して見てもらっている。</p> <p>園の保育参観・参加はいつでも受け付けているので、保護者に勧めている</p> <p>園の保育を伝えるために、毎月クラスだよりを子どもの様子がよくわかるように写真を多く使って発行している。保育参観・参加はいつでも受け付けている。時間も特に決めず、時間ができた時いつでも見たり参加してもらえるものになっている。子どもの普段の様子を見られるように隠れてみることを希望する人もあり、変装して見る人もあり、保育に参加して遊んでくれる参加もある。保護者の都合もあるが、個人面談時に保育参加も同日にすることを保護者に推奨している。餅つきには保護者の手伝いをお願いして、父親1名、母親6名の参加があった。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域のさまざまな施設などを活用していろいろな体験をしている</p> <p>幼児クラスでは一年通して荒馬踊りをしていることから区内にある農芸高校にお願いして4・5歳児が馬術部の馬を見せてもらいに行っている。本物の馬を見ることで刺激になっている。区内の農園でじゃがいも掘りを体験した。子どもたちが地域の食材納入業者の店で食材の買い物体験をしている。区立公園にある竹林に七夕の笹竹をもらいに行き、子どもたちが運んでいる。地域の図書館に絵本を借りに行って、選本したり絵本を読んだりして、公共施設の利用の仕方を学ぶ機会にしているが、現在改装中のため利用できていない。</p> <p>ボランティアのおはなし会や祖父母と交流する孫と遊ぶ会で職員以外の人と交流している</p> <p>ボランティアのおはなし会の方が月2回来園して4・5歳児に素話や絵本などの読み聞かせをしてきている。9月には3～5歳児クラスを対象に、孫と遊ぶ会を開催して園児の祖父母に来てもらい、クラス紹介や歌のプレゼントをし、子どもたちと一緒に遊んでもらっている。近隣の区立保育園には焼き芋会や起震車体験、清掃事務所の環境教室に誘ってもらっている。</p> <p>一時保育実施園であり、児童館との共催子育て支援事業も実施している</p> <p>地域子育て支援活動として児童館との共催で「おおきなあれ」を月1回10時30分～11時30分、園の遊戯室で開催している。身長体重測定やふれあい遊び、絵本の読み聞かせなど親子で一緒に遊ぶ遊びを紹介して、毎回30～40組の参加がある。一時保育室では定員10名、8か月～就学前の子どもを預かり、月1回地域交流紙「にっこりほっこりさくらぐみ」を発行して子育てに関する情報を発信している。年2回土曜日に開催している「親子ひろば」では離乳食の作り方などをテーマにし、11月には4組の参加があった。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どものやりたいという気持ちを丁寧に受け止め、実現できるような保育を展開している	
内容①	子どものやりたいなどの声を大事にし、実現できる保育の展開をしている。5歳児が小学校の学芸会で1年生の劇を見学して、「自分たちもやってみたい」と声が上がリ、よく知っている絵本を基にした劇であり、同じ劇ごっこに取り組んだ。配役も積極的に立候補し、猫役の帽子を作って被り、すぐにその気になってごっこ遊びを楽しんでいた。セリフも皆で割り振るなどやる気満々で練習して、「遊び会」で上演し見てもらった。利用者調査の結果、活動は子どもが興味関心を持って行えるものかの問いに98%が「はい」と回答し、非常に高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	子どもが食に興味を持てるような、さまざまな食育活動に取り組んでいる	
内容②	野菜栽培や調理活動など、さまざまな食育活動に取り組んでいる。2歳児が業者の店にわかめと豆腐、きのこを買いに行き、それらの食材や煮干を使って調理職員に子どもの目の前でみそ汁を作ってもらい、出汁の匂いを嗅いだりして食べている。5歳児の場合は買い物に行き、煮干で出汁を取り、自分たちでみそ汁作りをしている。実際に作ってみて、「美味しいけど作るの大変だね」といつも作ってくれる母親や調理職員に感謝する気持ちも芽生えている。その他の調理活動として、梅ジュース作りや新米炊き、ふりかけ作りなどを行っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル③	子どもと職員で話し合い、「お泊り会」を実施し、子どもは沢山の発見や驚きを得ている	
内容③	「お泊り会」では、子どもたちは「お泊り会でやりたいこと」を考え、日中・夜の活動について、紙に書いて皆の前で発表している。また、子どもたちで夕食や朝食のメニューを決め、その材料を買いに行ったり、お風呂屋さんへ挨拶と見学に行くなど、お泊り会の当日に向けて、たくさんの活動を積み重ねることができた。この様子を掲示すると、保護者から「本当に子どもたちが決めていくんですね」との声が寄せられた。利用者調査でも「子どもたちにとって、伝統のあるお泊り会はとても貴重な体験となっている」とのコメントも寄せられた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが自分で遊びたいもので遊べるような居心地よい保育室環境にしている
	内容	乳児クラスの保育室は食事と生活、遊びの場所を玩具棚や柵などで区切り、ままごとや絵本、積み木類などの遊びのコーナーを作り、子どもが自分で選んで遊べる環境にしている。ままごとのコーナーには人形や食器類、洗面器、数種類の具材などを用意し、子どもが思わず遊びたくなるような場所にしている。5歳児室では、積み木類やゲーム、製作用具、絵本・図鑑、小型ブロックなどを用意し、ままごとのコーナーにはドレッサーを置いている。子どもの年齢発達や興味に合わせた玩具や教材などを自由に使えるようにして、居心地のよい環境にしている。
2	タイトル	子どもの姿とその子どもの気持ちの読み取りを深めていくために、「学びの物語」の学習会をしている
	内容	年3回、「学びの物語」として、それぞれの職員が一人の子どものリアルな姿とその子どもの姿が意味することや内面の心の動きをどう読み取ったかを含めて記録(写真や映像を含む)し、その記録を基に小学習会を設けている。小学習会ではグループに分かれて記録を読んで感じたことや保育者の気持ちの読み取り、援助について意見交換をしている。「学びの物語」を書くことで子どもの姿を意識して丁寧に見るようになり、記録を取る習慣もできている。
3	タイトル	「ほっとタイム」として、園の子どもの姿や保育で大切にしていることを写真やコメントで伝えている
	内容	年2回、園での子どもの様子をクラス毎にテーマを決め、写真やコメントで紹介する模造紙掲示を「ほっとタイム」として、玄関ホールと事務室前におおよそ2週間掲示している。テーマは0歳児は友達との触れ合いの様子、1歳児は一緒に楽しい、2歳児はごっこ遊び、3歳児は友達のために、4歳児は集団遊び、5歳児は遊び会の様子などで、保護者に伝えたい子どもの姿や保育で大切にしていることをわかりやすく表わしている。掲示を見ながら親子の会話が弾んだり、子どもの成長を楽しみにして見ている保護者の姿が見られている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に、保育の計画を保護者に伝える取り組みを期待する
	内容	法人の保育園運営方針、園の保育目標は入園説明会で説明している。クラスの保育で大切にしたいこと(クラスの保育目標)は前期の保護者会で伝えている。日々の子どもの活動の様子は連絡帳や今日の様子の掲示、クラスだよりで保護者にわかりやすく伝えている。今後は、園と保護者との共育で・共育ちをより一層進めるために、これまで以上に保育の計画(活動予定やねらい)なども伝えることを期待する。
2	タイトル	共有化が必要な業務内容について、マニュアルや確認事項などを作成することを期待する
	内容	園独自のマニュアルとして、「朝当番の仕事」「ひととき保育の電話マニュアル」「当番の仕事」などを作成している。行事の反省や半期反省、年度末反省をして職員間で業務内容の振り返りはしているが、確認事項として明確に文書化しているものは多くはない。今後は、これまで明確にしていなかった行事の手順などの共有化したい業務の内容について、マニュアルや確認事項として作成することを期待する。
3	タイトル	個人情報保護に向けたより一層の取り組みを期待する
	内容	入園時に、保護者に対して、個人情報の取り扱いについて説明し、書面で同意を得ている。園では紙媒体の記録類は鍵のかかる書棚で保管している。さらに、職員会議では「SNSに載せたりしないように」など個人情報保護遵守に向けて、具体的に注意喚起している。しかし、個人情報保護規程が未作成となっている。今後は、個人情報保護規程や個人情報の取り扱いマニュアルを整備したり、個人情報に関わる研修など、個人情報保護に向けたより一層の取り組みを期待する。

5. 高円寺南保育園

調査対象	調査(2019年10月)時点での利用児144名の保護者125世帯。		
調査方法	クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接当評価機関へ直接投函していただいた。		
利用者総数	144		
利用者家族総数(世帯)	125		
共通評価項目による調査対象者数	125		
共通評価項目による調査の有効回答者数	84		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	67.2		

利用者調査全体のコメント

・調査票の記入者：父3名(4%)、母65名(77%)、父母一緒に4名(5%)、無記入12名(14%)。調査票記入者の年齢：「20歳代」2名(2%)、「30歳代」38名(46%)、「40歳代」32名(38%)、無記入12名(14%)。
 ・総合的な感想は、「大変満足」59名(70%)、「満足」19名(23%)、「どちらともいえない」2名(2%)、無記入4名(5%)であった。「大変満足」および「満足」と返答された方々は、回答者の93%であり、当園の保育に対して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「はい」と返答し、特に満足度が高い設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心を持つ活動」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問6「安全対策」、問9「清掃、整理整頓」、問11「緊急時の対応」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。
 ・自由記述では、「子どもたちの関心や興味に合わせて、アクティビティの内容を考え変えてくれている」「保護者の意見を反映させ、変えていってくれる」「行事や教室などが充実している」「就学前準備の指導もあるので助かっている」などの声が寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	84	0	0	0
回答者全員が「はい」との返答で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「先生やお友だちとの関わりを通じて、子どもが成長していると感じる」「さまざまな年齢の園児と関わることは勿論だが、大人とも関わるため、社会が学べる」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	81	3	0	0
回答者の96%が「はい」との返答で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「体操教室やリトミック、サッカー教室などを取り入れており、子どもの様々な可能性が広がっていると思う」「杉並芸術会館での発表会や、季節ごとの行事があるのが良い」「子どもが、今、興味・関心を持っている遊びやおもちゃがあり、とても楽しそうな様子である」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	84	0	0	0
回答者全員が「はい」との返答で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「食事に季節感がある」「メニューを見ただけだが工夫されていると思う」「家では子どもが食べてくれない食材も、園の給食を通じて克服できることが多い」などコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	81	2	1	0
回答者の97%が「はい」との返答で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「虫との触れ合いや、草花を取り入れた遊び(べんぺん草や花の名前)など自然との関わりが多い」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	73	1	0	10
回答者の87%が「はい」との返答で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「延長保育が20時半までなので精神的に助かっている」「スポット利用の延長を断られたことがなく大変助かっている」「親の私が体調不良などで早退や迎えが遅くなることもあるが、柔軟に対応してくれるので助かっている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	76	7	0	1
回答者の91%が「はい」との返答で、安全対策に関して非常に高い満足を得ている。「遊び道具も清潔に保たれている」「散歩に付き添った際、先生は出発のときと戻ったときに子どもたちの人数を確認し、道中の安全対策などもしっかりとしていた」「流行している病気に対して、十分すぎるほどに対策されている」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	72	12	0	0
回答者の86%が「はい」との返答で、行事日程の設定に関して高い満足を得ている。「基本的に土曜日開催なので参加しやすい」「年間スケジュールなどを事前に連絡してくれるので、参加しやすくなっている」「保育参観の候補日が多くある」「お誕生日会の参加の振替をしてくれたので助かった」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	75	7	2	0
回答者の89%が「はい」との返答で、保護者と園との信頼関係の構築に関して高い満足を得ている。「毎日の会話で様子がよくわかる」「連絡帳にも具体的な内容を書いてくれるのでわかりやすい」「親が気になることを職員に聞いてみると、職員はしっかりと教えてくれる」「家でのフォロー方法やその後の子どもの変化などにも気に掛けてくれる」「担任や園長には話しやすい。元担任の先生は廊下で会うと声を掛けてくれるので会話しやすい」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	81	2	0	1
回答者の97%が「はい」との返答で、清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「築10年経過しているとは思えないほどとてもきれい」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	73	9	2	0
回答者の87%が「はい」との返答で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「職員の皆さんは同じエプロンをつけている」「チームワークを感じる」「むしろもっと自由に気軽さがあってもよいと思う」「パートの人も明るく積極的に仕事している印象がある」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	81	3	0	0
回答者の96%が「はい」との返答で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「すぐに対応してくれる。看護師が対応してくれることもある」「子どもがけがをしたときにはすぐに通院してくれた。親には、けがをしたところを写真で説明してくれた。また、親に電話で確認したあとにレントゲンを実施してくれた」「けがの経緯やその後の処置についての説明もしてくれる」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	60	16	0	8
回答者の71%が「はい」との返答で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「子どもは先生を信頼していると思う」「子ども同士が納得するまで寄り添ってくれている」「どのようにしてケンカになったのか、互いに、ごめんね、を言えたかなど、詳しく伝えてくれる」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	79	5	0	0
回答者の94%が「はい」との返答で、子ども同士のトラブル対応に関して非常に高い満足を得ている。「子どもは先生を信頼していると思う」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	74	5	1	4
回答者の88%が「はい」との返答で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	73	9	1	1
回答者の87%が「はい」との返答で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「毎日のおたよりなどがとても工夫されているのでわかりやすい」「連絡ノートだけではなく、引き渡しの際に先生が話をしてくれる」「いつも絵コンテ付きの週案を掲示してくれる。子どもも保護者も楽しみにしている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	68	8	0	8
回答者の81%が「はい」との返答で、利用者の不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。「連絡帳に記載するとその件について必ず対応し、親が迎えに行った際にフィードバックしてくれる」「安心して相談できる。できることについては対応してもらっている」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	54	9	1	20
回答者の64%が「はい」、「どちらともいえない」11%、「いいえ」1%、非該当24%であった。「年初に(苦情窓口について)説明があった。また、ポストも設置されている」などのコメントが寄せられた。「わからない(非該当)と返答された方からは「職員に相談して解決した」などとのコメントもあった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく ○非該当	
カテゴリー1の講評		
毎日の体制会議で法人理念・園目標を復唱し、その理解の浸透を図っている 法人全体で、入職時のオリエンテーションで、理事長・理事等が法人理念やこれまでの法人の経緯などについて説明し、その理解の浸透を図っている。その際、園長・主任がビデオなどを使って保育内容について説明している。毎日午後2時45分からの体制会議では、各クラスから1名、栄養士、看護師、事務職員、園長、主任が参加し、法人理念・園目標を復唱している。職員会議に毎回、理事からの法人方針を伝えている。年2回の「業務管理・評価シート」を使っての個人面談でも、法人理念・保育目標への意識づけを図っている。		
法人全体で階層別・職種別の横の連絡会を設け、法人方針を情報伝達している 法人内各園の施設長(=園長)・副園長・理事・理事長等が集まって、月1回、施設長会議を開催している。同会議では、各園の運営状況を報告するとともに、法人方針や法人の決定事項について情報伝達されている。そのほか、主任会議、副主任会議、看護師会、給食会議(栄養士・調理師が参加)なども開催されており、法人全体の層別・職種別の横の連絡会もあり、有機的な連携を図っている。毎年、正規職員を対象とした宿泊型(1泊2日)の法人研修を実施している。今年度は、チームビルディングをテーマの研修であった。		
「職務基準書」などを通して、リーダー層の役割と責任を明示している 「職務基準書」および「職能資格等級フレーム」を作成し、園長・主任などの幹部層・リーダー層の役割と責任を明示している。また、職務分担当表を作成し、職員個々の役割と責任を明確化している。「主任会議」(月1回)で園の方針を検討し、全職員対象の「職員会議」(月1回)などで、現場の問題課題について検討している。「パート連絡会」も開催し、職員会議の内容や、個人情報に配慮しながら園児の状況などについて情報伝達している。一時保育事業でも正規職員(1名)・パート職員(10名ほど)で、毎月1回情報共有の場を設けている。		

2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		サブカテゴリ1(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/>	非該当
サブカテゴリ2(2-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
実践的な計画策定に取り組んでいる		5/5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/>	非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/>	非該当
カテゴリ2の講評			
<p>行事や一日保育体験などを実施後、アンケートにて保護者の意向を把握している</p> <p>運動会や発表会などの行事実施後、保護者へのアンケートをおこない、保護者の意見を集約している。その結果について、保護者に書面で配布、フィードバックしている。今年度、保護者の希望を受けて、発表会における受付方法を変え、スムーズに誘導できるよう改善した。一日保育体験でもアンケートを実施し、園への要望や聞きたいことなどについて、保護者の意見を収集している。「ひととき保育」の利用者には、年度末にアンケートを実施し、集計分析し、その結果について掲示している。</p> <p>関係機関が主催する各研修・説明会に参加し、園運営に関する情報を収集している</p> <p>私立保育園・公設民営保育園・認証保育所・小規模保育所・家庭的保育事業所などが参加する地域懇談会(年2回)に園長が参加したり、地域の児童館主催の地域子育てネットワークとの協働を通して、地域の子育てニーズの収集に努めている。区内園長会(月1回)、法人内施設長会議(月1回)に参加し、国・都・区の子どもに関わる施策や地域ニーズについて収集している。東京都を含む関係機関が主催する各研修・説明会に参加し、職員の処遇改善や危機管理などの情報を収集し、園運営に活かしている。</p> <p>毎月の法人全体の施設長会議で、計画の進捗状況を確認している</p> <p>施設長会議で法人本部が作成した「中期経営計画」について検討し、理事会で決定している。法人の「中期経営計画書」に基づいて年次事業計画書を策定している。当園の年次事業計画の策定にあたっては、園長の思いを反映し、さらに保護者や職員の希望や提案を踏まえ、各職員が分担して作成し、園長が総括して決定している。計画策定後は、施設長会議で計画の進捗状況を報告している。園長は他園の進捗状況も確認し、計画遂行の参考にしたりしている。また、保育計画においては、週・月・半期・年ごとの評価反省を踏まえ、次の計画に反映している。</p>			

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3	
サブカテゴリ-1 (3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる			○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している			○非該当
サブカテゴリ-2 (3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある			○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している			○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている			○非該当
サブカテゴリ-3 (3-3)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる			○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している			○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評			
<p>「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を職員会議で配布し、意識づけしている</p> <p>入職時のオリエンテーション・法人全体研修などを通して、法倫理について教育指導している。職員の行動指針を作成しホームページでも公開している。また、東京都福祉保健局主催の「社会福祉事業従事者人権研修」に職員を派遣し、人権問題について学ぶ機会を設けている。今年度、8名の職員が参加している。「人権擁護のためのセルフチェックリスト」(全国保育士会作成)を職員会議で配布し、クラス会議でシートの内容について話し合い、職員個々が自己の日常保育での振る舞いを見つめ直す機会を設けている。</p> <p>新入園児説明会・保護者会などで、保護者に苦情対応の流れを説明している</p> <p>苦情解決規程を用意しており、それに則った対応に努めている。入園時に「重要なお知らせ」(重要事項説明書)や「苦情解決の仕組みについてのお知らせ」などに苦情対応の仕組みを記載し、保護者に配布し、新入園児説明会・保護者会などで説明している。苦情対応の仕組みについては、園内およびホームページにも掲示、周知している。ご意見箱を玄関ホールに設置している。運営開始して4年半の間2件の投函があった。無記名の方の意見には回答を掲示し、全体へフィードバックした。</p> <p>地域活動計画も作成し、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たしている</p> <p>月1回、地域子育て家庭に対して、情報誌を約200部発行し、町内会で回覧したり、児童館に置いている。地域活動計画も作成し、隣接ゆうゆう館利用の高齢者との世代間交流(年5回)、卒園児との交流、育児講座(沐浴・オムツ替え教室、離乳食の作り方・食べ方など)などを実施している。地域の子育て中の保護者が通院、リフレッシュなどを目的に就学前までの地域の子どもを預かる「ひととき保育」も実施している。園庭がない近隣の認可保育所に園のプールを貸している。</p>			
カテゴリ4			
4	リスクマネジメント		
サブカテゴリ1(4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>「避難訓練計画」を作成し、月1回、避難訓練を実施している</p> <p>「避難訓練計画」を作成し、月1回、火事や地震発生を想定した避難訓練を実施している。保育中、午睡中、プール・水遊び中、散歩中、延長保育中など職員配置が少ない時間帯でも安全に避難できるようにしている。プール活動の前にAEDの講習を実施した。警察署職員が来所し、さすまたを使った防犯訓練も実施している。他方、大津市で起きた交通事故のニュースを受け、法人内でお散歩の仕方やルートについて確認をし、職員会議でも検討している。パート連絡会でも区からのリスクの予防と対策についての資料を回覧し、注意喚起している。</p> <p>「インシデントレポート」を活用し、事故の未然・再発防止に取り組んでいる</p> <p>職員会議で、「インシデントレポート」(1か月分)について情報共有し、対策について検討している。大事には至らない案件はインシデント、起きて経過観察が必要な案件はアクシデント、危険レベル3以上は事故報告書を作成することと定めている。「かみつき ひっかき表」も一覧表にし、頻繁に起きているケースでは、その保育内容を反省し、改善につなげている。月1回、園舎内・園庭の危険箇所についてチェック表を用いて点検している。感染症の蔓延防止に向け、職員勉強会で、ロールプレイ方式で、嘔吐物処理の対応について学んでいる。</p> <p>外部記録媒体の使用を禁止にするなど、個人情報の漏れがないよう注意徹底している</p> <p>法人で「個人情報保護規程」「特定個人情報取り扱い規程」「情報公開規程」を用意し、これに基づいて情報を運用管理している。インターネットにつなげているパソコンは事務室のみと限定している。また、権限を与えられた者のみがIDやパスワードを利用することができる。USBなどの外部記録媒体の使用を禁止にしている。児童票などの紙媒体の記録類は、鍵のかかるキャビネットに保管している。「開示申出書」などを用意し、保護者から記録類の提示を求められた際、いつでも提供する体制を整えている。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>人材の募集・採用は、さまざまなツールを活用し、法人本部が統括している</p> <p>人材の募集・採用は、さまざまなツールを活用し、法人本部が統括している。正規職員の採用面接は法人本部がおこない、パート職員は園でおこなうこともある。パート・アルバイトの採用にあたっては無資格でも募集可能であり、入職後、保育士の資格を取り、正規職員に採用になったという事例も少なくない。そのため、保育士資格のための補助制度を設けており、資格取得時に報奨金を支給するなど、保育士の資格を奨励している。また、人事考課制度を導入し、年2回、園長による考課面談を行い、能力開発を図ると共に賞与や昇給に反映している。</p> <p>今年度、副主任研修を実施し、次世代リーダーの育成に力を注いでいる</p> <p>法人で職員研修体系・職員研修計画を策定し、計画的に職員のスキルアップを図っている。園内研修のほか、法人全体で階層別研修、宿泊研修(年1回)、実技研修、キャリアパス研修、危機管理、障害児・発達障害児への対応など保育業務に必要なテーマを網羅している。さらに法人内留学という形で互いに学び合う機会や海外の幼児教育施設視察研修もあり、視野の拡大を図っている。また、区・関係機関主催の研修に派遣したり、パート職員にも研修の機会を設けている。今年度は、副主任研修を実施し、次世代リーダーの育成に力を注いでいる。</p> <p>福利厚生制度を充実させ、職員にとって働きやすい職場環境づくりに努めている</p> <p>有給休暇の取得を把握し、年間5日以上取得を促している。園医を産業医として、園内を巡視し、月1回、衛生委員会を開催し、職員の健康管理についてアドバイスを受けている。福利厚生制度では、退職共済制度、新年会・忘年会・歓迎会の半額負担、インフルエンザ予防接種の実費負担、リフレッシュ休暇、お誕生日休暇(誕生日の前後1か月の間に休暇を取れる)、永年勤続表彰、慶弔費及び祝い金制度、就職祝い金の支給(5万円)、新規採用時に地方から住居移転した場合の引っ越し費用15万円の支給などがある。</p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・2016年度より「育児担当制」の導入を決定した。引き続き、育児担当制を導入に取り組み、乳児保育の見直し・充実を図った。
 ・保育士のみならず、栄養士も巻き込み、担当制保育のシステム化を図った。前年度は、0歳・1歳・2歳児まで担当制を広げた。食事の場面、保育室の環境設定の改善で成果が見られた。子どもたちも、姿勢がよくなったり、食事の環境やコーナーも充実し、机上の遊びも集中して遊べるようになった。また、講師を招き、環境、食事などについて、定期的にカンファレンスをおこなったり、質問したり、助言・アドバイスを受けた。法人研修で職員全員で意識の向上と担当制保育の理解に努めた。環境設定も講師にアドバイスをいただきながら試行錯誤で作りあげた。子どもの反応がその都度顕著に見られ、職員の意欲にもつながった。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・実際にクラスで食事環境を整えた。テーブルの高さやいすの高さを子ども一人ひとりに合わせることで食べこぼしが減ったり、集中して食べるなど、食事に意欲的になるなど変化がみられた。0歳から丁寧な関わりをすれば、良い変化が目で見えてわかった。また、姿勢を直すことで食べこぼしが減るだけでなく、体のバランスや手先が器用になったり、集中力の持続につながるものが理解できた。「育児担当保育」に関する研修にも参加している。その報告書には、「大好きな人から愛されていると自尊感情が育つ、今後を生き抜く力になる、乳児期が今後の幼児・小学生・中学生へと成長するにあたってとても重要な時期だということを改めて感じた。信頼関係や子供が愛されていると実感できる関わりなど、一人ひとりと十分にかかわっていきたくらいと思った」などの感想が寄せられた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「職員の定着」を重点課題とし、職員アンケートでの意向調査や、上司との個別面接などにより、職員の意向を把握し、休暇を増やすなど、福利厚生の充実を図った。その結果、有給休暇の取得率が向上した。法人全体の離職率は7%であり、職員の定着率も図れている。今までは「働きやすい職場づくり」に目が向けられていたが、福利厚生の条件面のみならず、キャリアパス制度の見直しをおこない、職員にとってわかりやすい制度とした。今後は、「働き甲斐のある職場づくり」に向けて取り組んでいく予定である。今年度、リフレッシュ休暇が4日になっている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・毎月の職員会議で法人方針を伝えている。ある会議では、「勤務時間内に仕事が終わるようにしてほしい」「勤務時間内にできなかった残業代を請求するように。その場合、事前に園長か主任に申告すること」などを伝えており、法人全体でも職員の就業環境の改善に力を入れて取り組んでいる。職員アンケートでは、前年度の取り組みにより良かった点として「就業時間内での書類(レポートなど)の作成ができるようになった」などのコメントが寄せられており、残業削減や業務効率の取り組みが現場職員に徹底されていることがわかる。また、事業所の良い点として、「理事長が職員一人ひとりの顔と名前を覚えている。また、声掛けもあるので、職員を大切にしているという気持ちが伝わってくる」「シフトの調整が柔軟にできるため、働きやすい」「有給休暇のほか、誕生日休暇やリフレッシュ休暇がある」「職員同士の声掛けが多くあり、助け合っている」など法人全体で取り組んでいる働きやすい職場環境づくりの成果の一端が垣間見れる。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点（〇〇〇〇）	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当	
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当	
サブカテゴリー1の講評			
<p>園のホームページでさまざまな情報を提供し、区発行の冊子でも見ることができる</p> <p>園のホームページで、概要や法人の理念、保育目標、保育事業、重要事項説明書、年間行事、給食関係、保健関係、散歩マップなどさまざまな情報を提供している。区のホームページや冊子「保育施設利用のご案内」では、住所や定員、開園時間・延長保育時間を掲載している。園の外部向け掲示板には地域向けのイベントのお知らせを掲示している。地域子育て支援事業の情報誌「ちゅうりっぷ通信」を発行し、児童館や町会の回覧版で多くの住民に閲覧してもらっている。</p> <p>区や関係機関と情報交換し、連携している</p> <p>指定管理者として区立園を運営しているので、毎月、杉並区に月間指導計画やクラスだより、行事報告、研修報告などの活動報告を提出している。消防署には毎月避難訓練計画書を提出し、年1回は避難誘導訓練の講評・指導をして、近隣の公園で消防自動車を見せてもらっている。高齢者の活動施設との複合施設であり、年2回は一緒に避難訓練を実施している。地域の小学校を避難場所として利用させてもらっている。警察署には、職員向けにさまざまな使い方を、子どもたちには危険から身を守るDVDを見せてもらうなどの防犯訓練指導をお願いしている。</p> <p>見学希望者には日程調整して随時受け、パンフレットを配布して園舎内を案内している</p> <p>見学希望は日程調整して10時30分頃から、午後を希望の場合は16時から受け、主に園長が対応している。園のしおりの概略を掲載した「三つ折りの説明文書」や「一時保育のしおり」、「地域活動の案内」を配付し、説明して園舎内を案内している。園の概要や行事、延長保育、地域活動などの保育事業について伝えている。保育の特長として体操教室やサッカー教室には、外部講師を導入していることを説明している。玄関ホールに掲示している散歩マップで散歩の説明をするなど、質問にも丁寧に応じている。見学者は多く、10月には34組受けしている。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前に新入園児説明会を実施して、園のルールや重要事項などを説明している</p> <p>4月入園の場合は2月中旬の土曜日に新入園児説明会を実施して、園のしおりに沿って園概要や行事、登降園のルール、緊急事態の対応、災害時の対応、個人情報の取り扱い、苦情対応などを園長から伝えている。延長保育などの金銭面は事務職員、健康管理や給食は看護師と栄養士から、クラスの持ち物などはクラスの担任保育士が説明している。説明内容の同意書は、3月中に実施している入園面接時に持参してもらっている。入園面接では家庭や職場の事情、子どもの保育に必要な情報を聴いている。</p> <p>保護者の勤務状況や子どもの状況に合わせて、柔軟に慣れ保育を実施している</p> <p>子どもが慣れるまでの保育については、入園面接で保護者の勤務状況や職場復帰時期などを聴き、保育時間や保護者の意向を確認している。園の基本的な考え方として、0歳児は2週間程度、1歳児からは1週間程度を見込み、子どもの状況に合わせて柔軟に対応することを伝えて了承してもらっている。初日は2時間程度からスタートし、2日目からは保護者や子どもの状況に合わせて徐々に時間を延ばしている。日中の子どもの様子を迎えに来た保護者に詳しく伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>卒園後にも同窓会のようなピザパーティーなどを開催し、招待している</p> <p>引っ越しなどで途中退園する場合は、クラスでお別れ会を開いて撮り溜めていた写真をアルバムにして渡すなどしている。卒園児の就学先の小学校に、保育所児童保育要録の写しを送付している。卒園した1年生を対象にピザパーティーなどを開催して招待状を郵送し、親子で来園してもらい、学校での様子を聴いている。2年生対象のパン教室も実施している。園の運動会には遊びに来てくれる。年度末の卒園や退園、転園の場合には全体でお別れ会を開催しているが、保護者には、「いつでも遊びに来てください」と伝えていく。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況などを記録して把握している

入園前には園医による健康診断を実施して子どもの発育や健康の状態を把握し、母子手帳により、成育歴や既往歴、予防接種などを、食事調査により、離乳食状況、アレルギーなどを把握している。入園面接で提出してもらった「入園までの生活状況」を基に、食事や排せつ、睡眠、好きな遊びなどの状況を把握・確認している。入園後は、日々の子どもの状況を乳児は複写式、幼児はノートの連絡帳に記録したり口頭で伝えて体調などを把握して保育し、保育日誌や保健日誌などには日中の子どもの様子を、児童票には保育の経過記録を記入し把握している。

担任同士で子どもの実態やクラスの状況などを振り返り、指導計画を作成している

指導計画は全体的な計画に基づいて、各クラスの担任同士で子どもの様子や取り巻く状況に即して、作成している。月間指導計画(月案)や週案も、担任同士で子どもの実態、クラスの状況を振り返り、翌月・翌週のねらいや活動内容を決めて作成したり見直したりしている。0・1歳児では栄養士や看護師に食事や健康面を相談したり、他のクラスも、必要に応じて主任や副主任も入って話し合っている。職員会議では各クラスの月案を配付し、クラスや子どもの状況を報告している。各クラスの週の活動予定を掲示板に掲示して保護者に知らせている。

毎日の体制会議や子どもに関する申し送りなどは伝え漏れがないように記録している

毎日各クラス・部署から1名参加して、体制会議を昼間に開き、午前中の子どものに関する遊びの様子や怪我等の報告、インシデント、明日の行事や保育、職員体制、食物アレルギー確認などをして、参加者が他の職員に周知している。子どもに関する申し送りは、延長保育日誌と各クラスの朝夕保育・視診表でおこない、担任から保護者へ伝えてほしいことや当番が受けて担任に伝えることなどを、漏れがないように、口頭でもおこない記録も残している。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリ-5の講評

子どものプライバシーの保護を徹底している

入園説明会で「高円寺南保育園における個人情報保護の方針」を配付して説明し、同意を得ている。写真撮影やビデオ撮影、掲示物への掲載などの承諾も得ている。学童クラブや就学先の小学校からは保護者の同意のもと、子どもたちの様子を見に来園している。療育機関から保護者の了解のもと来園したり、職員が訪問して指導を見学したりしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、プール遊びや水遊び時は遮光ネットなどで目隠しを設置し、4・5歳児はプライベートゾーンの健康教育をし、シャワーの後には身体をタオルで巻くように知らせている。

子どもや保護者の生活習慣や考え方には可能な限り配慮している

乳児クラスでは子どもの生活時間に合わせて食事を提供し、朝の登園が早い子には早めに食事を提供している。おなかをすかせている場合にも早めに食べさせている。保護者から放射能を心配して牛乳を飲ませたくないとの申し出があるような場合は、飲み水を持参してもらっている。その他、宗教上の食事制限や外出時のマスク着用、長袖長ズボン着用など、保護者の考えや生活習慣などにはできるだけ理解して可能な限り歩み寄り、受け入れている。

子どもの様子や言動、不審な傷などに気を配り、虐待の早期発見・対応に努めている

都主催の人権研修に毎年職員が参加して、職員会議で報告している。職員は子どもの虐待の早期発見・対応に、日々気を配り、子どもの様子や、つぶやきなどの言動、不審な傷など、気になる場合には園長に報告している。園長は「虐待防止マニュアル」に沿って対応して、子ども家庭支援センター、区の所管課に連絡することになっている。子ども家庭支援センターからの照会がある場合には、園でも観察を怠らなく見守るようにして、連携し対応している。

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ6の講評			
<p>法人共通の危機管理などのさまざまなマニュアルや園独自の手順書を整備している</p> <p>法人共通の「危機管理」「感染症対応」「虐待対応」「保健衛生」「障害児保育」「保育」などさまざまなマニュアルを整備している。散歩やアレルギーなどもフローシートで手順を明確にしている。散歩マップを玄関ホールに用意して、保護者も見ることができるようにしている。園独自の手順書として、「朝夕保育の仕事の手順」「園庭の使い方」「散歩マニュアル」「散歩の注意事項」などを作成して、年度末に意見を出し合い、必要な見直しをして、職員各自に配付している。</p> <p>マニュアル・手順書は新年度準備の時期や必要に応じて随時、見直しをしている</p> <p>「朝夕保育の仕事の手順」などの園独自の手順書は、年度末に新年度の子どもの状況を考慮して見直している。年度途中で子どもの成長や職員の状況の変化など、必要に応じて見直している。法人共通のマニュアルは、法人内の主任の集まりで見直しを検討し、嘔吐処理や床清掃などの保健・衛生は看護師の集まりで見直している。今年は、夏季のプール遊びについての通達が出されたことを受けて、園独自の「プールの入れ方・指導の仕方」の手順書を作成した。散歩の安全を考慮して、散歩の際の公園への道順の検討もおこなった。</p> <p>子どもたちの様子からバス遠足やお泊り会などの対象児の見直しをしている</p> <p>これまでは3・4・5歳児のバス遠足を実施していたが、参加している3歳児の様子から無理があると判断して、3歳児は区内公園へのお弁当持ち歩き遠足に変更し、4・5歳児のバス遠足を実施した。9月のお泊り会は、以前は4・5歳児で実施していたが、子どもたちの様子から、5歳児のみのお泊り会に変更した。また、施設面では階段の扉下の柵の部分に子どもが手を挟みそうで危ないからと、保護者から意見が寄せられ、引き戸にアクリル板を設置した。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当		
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当		
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当		
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当		
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当		
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当		
評価項目1の講評				
<p>子ども一人ひとりの生活状況や発達状況を把握して保育をおこなっている</p> <p>子ども一人ひとりの入園までの生活状況、健康状況、入園後の発達の経過などの書類を収録した児童票を基に、日々子どもと生活を共にする中で、現在の発達状況を把握することに努めている。また日々の連絡帳、送迎時の保護者とのやりとり、個人面談などを通じて家庭における子どもの様子を知り、園と家庭の両面から子どもの全体的な姿を把握するようにしている。把握した子どもの姿から今後の育ちを見通し、保育をおこなっている。</p> <p>異年齢児保育の年間指導計画を作成し異年齢保育をおこなっている</p> <p>3・4・5歳児を大きく3つにわけ、さらにそれを2つのグループに分けて、行事や給食時に異年齢での活動をしている。年度の始めには年少児は戸惑う姿が見られたが、年長、年中児に誘われ、3人組のグループになり活動に取り組んでいる。夏祭りでは、各グループに分かれて準備をおこなう際、年長児は年下の子に道具の使い方を説明したり、作り方を教えたりする姿が見られ、保育者は様々な道具や材料を用意して、子どもたちがイメージしたものを表現できるよう援助している。子どもたちは異年齢の友だちに親しみを持ち、関わりを深めている。</p> <p>小学校生活に期待がもてるよう積極的に小学校と連携を図っている</p> <p>年長児は近隣の小学生と交流する機会をもち、小学校生活に対する見通しを持てるようにしている。交流会では、話を聞いたり、ゲームをしたり、給食体験では食事を配膳してもらう間、小学生と歓談し、食事の時は「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしている。また教室の座席に腰掛けたり、ランドセルを背負ったり、体験を通して小学校生活に期待を持てるようにしている。小学校へは「保育所児童保育要録」を送付することになっており、保育所での子どもの育ちをそれ以降の生活や学びに繋げていく、子どもの育ちを支える資料となっている。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄などの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には保護者と直接言葉を交わし、子どもの様子を聞いている</p> <p>朝の受け渡しには、挨拶して、おたより帳を手渡ししてもらい、子どもの顔色・表情・機嫌・外傷などの視診をおこない、保護者からも直接子どもの様子や連絡事項を聞き、迎えの人を聞くこともある。視診を行う早番保育者は前日の最後まで見ていた遅番保育者から子どもの様子や連絡事項を聞いている。また、2歳児までは、保護者が園に来てから手洗い、検温を行い、保育者に渡している。降園時には、基本、その日の子どもの様子をクラス担任が直接保護者に伝えているが早朝、延長保育利用者には担任が当番保育者に申し送りしている。</p> <p>一人ひとりの発達状態に応じ、基本的な生活習慣が身に付くようにしている</p> <p>クラスの保護者会で、手洗い、着脱、食事、排泄について、園での子どもの様子を伝えている。排泄では、おむつ替えは保育者の声かけで進んでトイレに行き、タイミングが合うと排泄できている。便座に座ることや、排尿できたことを子どもと共に喜び、自信と意欲に繋げている。トレーニングの目安は言葉や仕草で伝えられるようになってからとし、トレーニングを始めたなら家庭と園で同じように進めることを保護者に伝え、園と家庭で連携を大切に、身に付けるようにしている。また看護師、栄養士と協働して基本的な生活習慣が身に付くようにしている。</p> <p>午睡は年齢や体調など子どもの状況に配慮しておこなっている</p> <p>食後に午睡をしている。0・1歳児は月齢や子どもの状況により、個々に合わせ、午前寝、夕寝も取り入れている。2歳児は食後すぐに布団に入りおおよそ2時間程度、3・4・5歳児は食後絵本をみたりしてから布団に入り、13時30分ごろから15時ごろまで午睡をしている。保護者から夜寝ないので早めに起こしてほしいという要望があった場合は部屋で絵本を見たり、コット(簡易ベット)で横になったり身体を休めている。年長クラスは11月から12月、週1日午睡をしないが、1月は週2回、2月は週3回、3月からは午睡なしで過ごしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

自分で選んで遊べるように玩具などを手の届くよう配置し、コーナーを設けている

0歳児室には集中して遊べるままごとコーナーや絵本コーナーを設けている。玩具を収納する棚は低い高さにし、年齢に合った木の玩具や手作り玩具などを整えている。1歳児室はグループに分かれて遊べるように仕切りを設けている。指先を使って遊ぶコーナー、絵本コーナー、乗り物コーナーなどで集中して遊べるようにしている2歳児は2つのグループに分かれ戸外活動をし、戸外から戻ると自分の衣服をたまたみ自分の身の回りのことをおこなっている。幼児クラスは園庭で自由に遊んだり、製作活動をしたり、友だちとの遊びを楽しめるようにしている。

絵本や手遊びなどを通して美しい言葉に触れ、言葉に対する感覚を養えるようにしている

3歳児は絵本や紙芝居を見たり聞いたりして言葉のやりとりの楽しさに興味もつ。4歳児は簡単な挨拶をしたり、絵本や童話などに親しんだりしている。5歳児は挨拶をすることの大切さや人と繋がる心地よさを知る。感じたことや想像したこと、感動したことを伝え合うなど、保育内容にしている。子どもたちは運動会、発表会などの行事や日々の保育の中で歌を歌ったり、言葉遊びやしりとり、早口言葉を楽しんだり、わらべ歌を歌うなど生活や遊びに取り入れ、美しい言葉に触れられるようにし、言葉に対する感覚を養えるようにしている。

散歩に出かけて花や虫など自然に触れ、季節の移り変わりを気付けるようにしている

天気の良い日は散歩に出かけている。近隣には公園が多く、秋にはどんぐりや木の葉が沢山落ちていたり、春は桃の花やパンジー、チューリップが咲き秋にはコスモスが咲く公園、広い野原の公園などに散歩にでかけている。乳児は保育者と手を繋いで歩いて行き、花や虫を見つけ、自然に触れている。幼児は散歩に行く前に散歩バックを作りどんぐりや木の葉を見つけ、持ち帰り製作や部屋の装飾に活かしている。また園庭には夏・緑陰、秋・黄葉、冬・木立の四季を通じて美しいケヤキの下で季節に気付きながら遊べるようにしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
--	--	---------

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

お泊まり会や発表会をおこない、みんなで協力する楽しさを味わっている

9月の金曜日には、4・5歳児が園でのお泊まり会を体験し、室内遊園地のあるテーマパークへ行き、遊んだり、園で夕食のカレーライスを食べたり、一緒に寝たりしている。発表会は保護者参加の行事であり、2～5歳児が劇や合奏を披露している。劇は日頃読んでいた絵本で子どもが好きなものから選んでいる。2歳児、「はたらくるま」、3歳児「三びきのこぶた」、4歳児「お〜いおおえとおおどろぼう」、5歳児「100万回生きたねこ」、合奏は3・4・5歳児が発表している。保護者には衣装を用意してもらい行事を盛り上げている。

運動会は保護者や地域の乳児、小中学生などが参加し、楽しめるようにしている

年間行事予定表は年度初めに保護者に配布し、保護者参加行事はクラスだけでなく詳しく伝えている。行事前には行事に取り組んでいる子どもたちの様子を掲示などで伝え、保護者が楽しみにして参加できるようにしている。3～5歳児、保護者、地域の乳幼児、保育園の乳児、地域の小・中学生が参加している。かけっこ、競技、紅白玉入れ、紅白大玉転がし、5歳児リレー、3～5歳児の保護者のリレー、おみこし・いさみ太鼓などみんなで楽しみながら行い、一緒にする時の気持ちよさ、競争やルールがある面白さなどを味わえるようになっている。

毎月の誕生日会はホールで全園児、保護者が誕生日児をお祝いしている

誕生日会には、0～5歳児までが参加し、誕生日児の保護者も参観している0～3歳児は敷物に座り、4・5歳児は椅子にかけておこなっている。誕生日児に、担任がカードを渡しながら皆に紹介している。誕生日児の名前、生まれた日、保護者・担任からのコメントが書かれた誕生日カードには、誕生日児の写真も貼られている。誕生日児から、どんな写真がいいか聞き、好きな友だちと一緒に写真や好きな遊びをしている写真がある。また誕生日には各クラスの歌のプレゼントや保育者から手品、劇などの出し物があり、誕生日にとって祝ってもらった特別な日になっている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

くつろいで過ごせるようにマットを敷いて、延長用の玩具を用意している

18時30分まではクラスで保育している。3歳児までは各クラス2名で保育し、4・5歳児は、各クラス1名で保育している。その後20時30分まで3歳児室で1歳(満1歳になった子)～5歳児までが一緒に過ごしている。延長保育の時間には、マットを敷き、天井から吊るした天蓋のある保育室でくつろいで過ごせるようにしている。子どもたちは、絵本コーナーで絵本を見たり、横になつてくつろいだりしている。また部屋の中を区切り、小人数で落ち着いて過ごせるようにし、延長保育用の玩具で遊んでいる。

保育者が一緒に遊び、異年齢の子ども同士が関わって遊べるようにしている

年齢の大きい子は日常の保育の中で顔見知りになっており、安心して遊んでいる。乳児は、ままごと、パズルや絵本などで遊び、人数が少なくなる時間帯には、子どもの要求に応じて膝に乗せて絵本の読み聞かせやおんぶや抱っこをして、安心して遊べるようにしている。年齢の大きい子は折り紙、ぬりえ、積み木などで遊び、大きい子は小さい子に折り紙を折ってあげたり、一緒に折ったり、小さい子は大きい子の遊んでいる様子を見て、真似て同じようにしようとしたり、大きい子は保育者の真似をして小さい子を抱っこするなど関わって遊んでいる。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
--	--	----------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

子どもたちが落ち着いた雰囲気の中で食事ができるように配慮している

食事をするテーブルは子どもの体格に合ったものを使用し、乳児の食器は食材が扱いやすいよう縁があり、深みのあるものを使用し、幼児は白い強化陶器を使っている。食べる前の手洗い、身支度、椅子の座り方、姿勢、食具の持ち方などマナー教室で指導し、食事をする前には、「いただきます」の挨拶をし、友だちと一緒に食べることを楽しめるようにしている。また保育者は自分から進んで食べようとする気持ちを引き出すよう声掛けをしたり、楽しく食事ができるよう見守ったりしている。子どもたちは落ち着いた雰囲気の中で食事をしている。

園独自の献立を作成し、誕生日会の日には特別メニューにし、行事食も提供している

献立を作成するにあたっては、子どもたちの喫食状況・残食状況・職員の意見を参考にして作成している。食品添加物を使用した食品は極力使わず、なるべく旬の食材を使用し、季節感のある献立にしている。昆布や煮干し・かつお節・鶏ガラ・野菜などで出汁をとり、自然のおいしさを感じられる、薄味を基本にした味付けを心掛けている。毎月の誕生日会の日には、特別メニューで4・5歳児はバイキングにしている。3・4・5歳児一緒に合同給食は七夕や節分、ひな祭りなどの伝統行事のお楽しみ後に行事食として提供している。

野菜の栽培や食材に触れる活動、調理活動などの食育活動をおこなっている

野菜の栽培では3～5歳児がナス、キュウリ、ピーマン、ラディッシュなどの苗を植え、収穫を楽しみに、水やりをしたり、野菜の生長過程を観察したり、楽しみながら育てている。また収穫した野菜を給食室で調理してもらい食べるのを楽しみにしている。食材に触れる体験として、キャベツちぎり、玉ねぎの皮むき、とうもろこしの皮むきなどを行っている。調理活動は、ピザ、お月見まんじゅう、うどん、カレーづくりなどをおこなっている。保護者に給食試食会をおこない、食育活動の様子を写真入りの掲示や給食だより、保護者会などで伝えている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づき対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の体に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している</p> <p>看護師による健康教育や保健指導をおこなっている。毎月の身体測定と爪チェック、頭髪チェックをおこない、子どもの発育状況を把握し、事故防止や健康習慣などが身に付くようにしている。子どもへの健康教育として、手洗いやうがいの仕方、歯磨き指導などを行っている。手洗いやうがいの指導は2~5歳児に年2回おこない、正しい手の洗い方を指導し、戸外から帰ってきた時、食事の前、トイレの後には手を洗う習慣になるよう伝えている。歯磨き指導は4・5歳児におこなっている。また4・5歳児にはプライベートゾーンについての話しをしている。</p> <p>嘱託医と連携して子どもの健康状態や発育状態を把握し、健康管理に努めている</p> <p>嘱託医による定期健康診断を年2回、1~5歳児、0歳児は週1回実施している。眼科健診、耳鼻科健診は3~5歳児に実施し、尿検査、歯科健診、ぎょう虫卵検査は全園児に実施し、視力測定は3・4・5歳児に、実施している。結果は児童票に記録し、保護者には健康カードに記載して伝えている。嘱託医には子どもの健康について相談することができる。また保護者には園で利用している小児科、外科・整形外科、眼科、耳鼻科などの医療機関を知らせ、子どもたちの健康管理に努めている。</p> <p>感染症や乳幼児突然死症候群について、保護者に説明している</p> <p>感染症や乳幼児突然死症候群については、入園見学时に保護者に説明している。園では子どもたちが集団で生活し、子ども同士が接触する機会が多く、抵抗力が弱い乳児も多いため、感染症の予防には特に配慮している。保健日よりには毎月の感染症の情報を提供し、園で感染症が発生した場合は、病名・クラス・人数・潜伏機関など直に掲示し、保護者に知らせ感染拡大を防ぐようにしている。乳幼児突然死症候群の予防は午睡時に、0歳児5分、1・2歳児10分、幼児30分毎に呼吸チェックし、うつぶせ寝を仰向けに直し、確認者はサインしている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の家庭状況や就労事情に配慮し、迎いの遅れなどに柔軟に対応している</p> <p>家庭によって異なる子育てや就労事情に配慮し、延長保育や土曜保育、年末保育を実施している。急な残業によるお迎えの遅れも可能な限り柔軟に受け入れ、保護者の体調不良により、早退や迎えが遅くなるなど柔軟に対応している。また通勤の際に電車の遅れなども配慮して対応し、毎日の送迎時には個別に相談に応じている。入園当初の慣らし保育期間には、時間を調整して対応し、職場の事情に配慮している。保護者参加の行事は土曜日の開催にし、保護者の就労事情などを考慮している。</p> <p>保護者会や保護者参加行事を通して保護者同士の交流を図っている</p> <p>保護者会のクラス懇談会では担任からクラスの様子、生活・遊びなどを話し保護者に伝えている。乳児クラスでは断乳について話し合い、ベテランの保護者からアドバイスをもらっている。幼児クラスでは、子ども自慢、テレビのことや困っていること、就学のことなどの話しがあり、兄弟がいる保護者から学校生活の様子を聞いて、就学についての情報を得ることができている。運動会の保護者競技、リレーでは各クラスの保護者同士が協力し、力を出し合って競争する中で自然と連帯感が生まれるなど、保護者同士が交流する機会になっている。</p> <p>保護者会や個人面談などを通じて保護者との相互理解を図るよう努めている</p> <p>送迎時の保護者との会話や連絡帳での子どもの様子を伝え合い、掲示では子どもの活動や子どもの様子を伝えている。保護者会では、一日の生活の流れや生活・遊びの様子を伝え、保育参観、親子遠足や運動会などの保護者参加行事では実際の子どもの姿を見てもらい子どもの成長の様子を伝えている。クラス日より、保健日より、給食日よりで情報を提供し、またえんだよりでは、各クラスの保育のねらいを取り上げている。保育に関する様々な情報を提供して、園の保育の意図を伝え、保護者と園の相互理解を図るよう努めている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>高齢者施設を訪問し、高齢者と交流ができる機会を設けている 子どもたちは近隣の高齢者施設を訪問し交流を図っている。ひなまつりやこどもの日、七夕の日に訪問し、温かく迎えていただき、高齢者の方と交流をしている。ひな祭りには、3歳児が歌を歌い、しおりを作りプレゼントし、ハイタッチをして交流し、こどもの日には、5歳児が歌を歌い全員で作ったこいのぼりをプレゼントしている。また七夕日には2歳児が「七夕さま」の歌を歌い「おりひめさまとひこぼし」の製作をプレゼントして触れ合っている。子どもたちは、高齢者と触れ合う体験を通して、人への親しみを感じ、人との関わりを豊かにしている。</p> <p>運動会や「おひさまぼかぼか紙芝居」などで地域の子どもたちと交流を図っている 運動会には、地域の子どもや小学生が参加して交流している。近隣の公園で「おひさまぼかぼか紙芝居」をおこない、園児や地域の保育園児、地域の子どもが参加している。大型の紙芝居を見たり、手遊びをしたり、エプロンシアター、大型絵本を見て交流している。卒園した一年生を招いてピザを作り、職員の出し物のクイズや手品を楽しんでピザパーティーをおこなっている。また卒園した小学2年生にはパン教室をおこない、生地から始め生地を丸めたり、成形したりしてパンを焼いて、みんなで味わい、スイカ、トウモロコシを味わって交流している。</p> <p>地域活動を実施し積極的に取り組んでいる 園は地域活動として様々な活動を実施している。沐浴・オムツ替え教室、親子クリスタルベビーヨガ、ベビーマッサージなどを実施している。沐浴・オムツ替え教室は出産前後を対象にして、沐浴・オムツ交換の仕方をおこない、沐浴の流れを説明した後、オムツ替えや洋服の着せ方を、人形を使っておこなっている。親子クリスタルベビーヨガは1歳半までの親子を対象にしている。赤ちゃんの胸のあたりにハートを描いたり、背中をジグザクさすったりするベビーヨガや幼児向けにキッズヨガをおこなうなど地域活動を実施し、積極的に取り組んでいる。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	園の活動や子どもの様子をA4判の写真などを掲示して、わかりやすく伝えている	
内容①	園の保育を伝えるために、活動や行事などの子どもの様子を写真で掲示している。1～3階のそれぞれの階に掲示板を設置して、インフルエンザやマイコプラズマなどの感染症発生情報や幼児クラスのその日の活動日誌、行事の写真などを掲示している。訪問調査時には、4歳児室の廊下にはお楽しみバス遠足時の子ども一人ひとりの嬉しそうな顔、楽しそうな表情のA4判の写真が何枚も飾ってあった。掲示板に掲示している行事の写真もA4サイズにして、保護者に見やすく提供し、送迎時の親子の会話につながるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	子どもの手の届く位置に玩具を置き、自分で選んで遊べるようにしている	
内容②	保育室にはコーナーを設け、子どもの手に届く位置に年齢に合った手作りの玩具などを置き、自分で選んで遊べるようにしている。1歳児の保育室には木で作った仕切りを設け、グループに分かれ少人数で集中して好きな遊びができるように、4つに仕切っている。テーブルと椅子に掛け落ち着いて絵本を見られる絵本コーナー、床にレールを作って遊べる乗り物コーナー、壁面に鍵を作り指先遊びができるコーナー、ままごとコーナーがあり、年齢に合った手作りの絵本、積み木、ポットン、体を動かして遊べる手作り玩具など様々な工夫した玩具を揃えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル③	法人全体の副主任によるプロジェクトを発足し、残業削減につなげている	
内容③	法人全体で、職員の就業環境の改善に取り組んでいる。その一環として、副主任による残業削減プロジェクトを発足した。各クラスで、月案・個人月案・クラスだより・経過記録などの書類作成に関わる時間について集計し、同プロジェクトで平均時間を取り、副主任会議で、各書類の記録時間を決定し、それを基に時間管理をおこない、残業削減に取り組んでいる。職員の就業環境の改善に法人全体で取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	野菜の栽培や食材に触れる活動、調理活動など食育活動に取り組んでいる
	内容	野菜の栽培では3～5歳児がナス、キュウリなどの苗を植え、収穫を楽しみに、水やりをしたり、野菜の生長過程を観察したり、楽しみながら育てている。また収穫した野菜を給食室で調理してもらい食べるのを楽しみにしている。食材に触れる体験として、キャベツちぎり、玉ねぎの皮むき、とうもろこしの皮むきなどを行っている。調理活動ではピザ、うどん、カレーなどをつくっている。栽培や調理活動を通して食への関心を高めている。保護者へは給食試食会をおこない、食育活動の様子を写真入りで掲示し、給食日より、保護者会などで伝えている。
2	タイトル	サッカー教室や体操教室などを取り入れて、さまざまな運動遊びを提供している
	内容	保育の特色の一つとして、専門家によるサッカー教室、体操教室を取り入れている。サッカー教室は3～5歳児を対象に、ボールを楽しく追い、協調性と体力、運動能力を高めることを目的に、園庭を利用して実施している。各クラス月2回であるが、7月～9月はしていない。体操教室は4・5歳児を対象に、月3回遊戯室で実施し、友だちと協力して決まりを覚え、いろいろな運動遊びができるように、マット運動や跳び箱、鉄棒などの活動をし、運動会では成果を披露している。子どもたちは、徐々に出来る新しい課題に挑戦し、楽しく運動遊びをしている。
3	タイトル	高齢者施設の訪問や「おひさまぼかぼか芝居」などの地域活動を実施している
	内容	子どもたちは、近隣の高齢者施設を訪問し、温かく迎えていただき、高齢者の方と歌やプレゼントなどで交流している。地域の保育園児、地域の子ども、保育園児が公園で「ぼかぼかおひさま紙芝居」で大型紙芝居を見て楽しみ、「保育園で遊ぼう」で交流している。沐浴・オムツ替え教室、ベビーマッサージや赤ちゃんの胸にハートを描いたり、背中をジグザクさすったりする親子クリスタルベビーマッサージや出産前後の親を対象に離乳食の作り方や食べさせ方などを実施している。小学生を対象のピザづくり、パンづくり教室など様々な地域活動を実施している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	より一層子ども理解を深めるために、個々の子どもの姿に対する保育者の援助などを記載した保育記録を期待する
	内容	幼児クラスでは日中の保育活動の様子を伝える手段として、日々の活動日誌を掲示して読んでもらっている。担任保育士は保育日誌も書いている。しかし、この二つの記録には、クラス全体の子どもたちの活動は書いているが、個々の子どもの姿や保育者の関わり・援助はほとんど記載されていない。今後は、子どもの姿に対する保育者の援助など、具体的な保育の過程を記載した保育記録を期待する。そうすることで、より一層子ども理解を深め、保育の質向上につながると思われる。
2	タイトル	保育環境についてさらなる改善が望まれる
	内容	保育室には絵本コーナーを設け、テーブルと椅子を用意し、落ち着いて絵本を見ることができるよう環境を整えている。しかし絵本の数は十分なのか、古いものものなど絵本について検討することを期待する。また1階から3階の廊下には写真入りの行事の掲示や毎月の誕生日会の掲示などがある。一部分の廊下には掲示なども無く、温かみの無い環境になっている。子どもたちの描いた絵を飾る、観葉植物を置くなど工夫し、子どもたちに安心や親しみを感じられる環境づくりに期待する。
3	タイトル	職員にとって働き甲斐のある職場づくりに向けたさらなる取り組みを期待する
	内容	“働きやすい職場づくり”を目指し、さまざまな取り組みを実施し、職員の定着化が向上している。幹部層は、これからは、“働きがいのある職場づくり”にも力を入れていきたいと考えている。職員が士気高く仕事をしていくためには、日々の保育の仕事への充実感が感じられ、組織内の良好な人間関係の構築が必須となってくる。定期的に職員満足度調査を実施し、組織的な課題や傾向性を把握し、対応策を講じるなど、職員にとって働き甲斐のある職場づくりに向けたさらなる取り組みを期待する。

巻末 付属資料

付属資料 1 : 利用者調査 調査票

付属資料 2 : 事業プロフィール

付属資料 3 : 経営層合議用シート (組織マネジメント・サービス分析)

付属資料 4 : 職員用シート (組織マネジメント・サービス分析)



令和元年度
認可保育所
杉並区立〇〇保育園
利用者調査

調査のお願い

このたび、〇〇保育園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都の福祉サービス第三者評価を実施することになりました。

この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構が実施いたします。

第三者評価にあたって、〇〇保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、〇〇保育園のサービスを評価をするために使用し、定められた項目については、インターネットを通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ 記入に当たって

- ・ この調査は、〇〇保育園を利用されている保護者の方がご回答ください。
 - ・ あてはまる番号に○をつけてください(調査票は両面で4ページあります)。
 - ・ 質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、「4 非該当」に○をつけてご回答ください。
 - ・ 質問ごとにご意見などがある場合は、(自由意見)欄にご記入ください。
 - ・ この調査票は、別添の返信用封筒をご利用の上、○月○日までに、園にあります回収箱或いは、郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。なお、切手を貼る必要はありません。
- この調査に関してのお問い合わせは、下記にお願いします。

問合せ先

特定非営利活動法人 NPOサービス評価機構

第三者評価担当者

〒166-0004

東京都杉並区阿佐谷南3-35-15-1104

☎ 03-5347-0616

現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、○印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

《毎日の保育サービスについてお聞きます》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問6. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問7. 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問8. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《安心・快適性》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問9. 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか (自由意見)	1	2	3	4
問10. あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか (自由意見)	1	2	3	4
問11. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか (自由意見)	1	2	3	4
問12. 子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか (自由意見)	1	2	3	4

《利用者個人の尊重》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか (自由意見)	1	2	3	4
問14. あなたやお子さんのプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか (自由意見)	1	2	3	4
問15. お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか (自由意見)	1	2	3	4

《不満・要望への対応》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問16. あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか (自由意見)	1	2	3	4
問17. あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか (自由意見)	1	2	3	4

《総合的な感想についてお聞きします》

[1]現在利用している〇〇保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。 (1つに〇)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

[2]日頃お感じになっている〇〇保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

[3]今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

最後に保護者の方とお子さんについておたずねします

F1. 調査票記入者 (1つに○)

1. 父 2. 母 3. 父母一緒に 4. その他()

F2. 調査票記入者の年齢(主に中心になって回答した方) (1つに○)

1. 20歳未満 2. 20～25歳未満 3. 25～30歳未満 4. 30～35歳未満
5. 35～40歳未満 6. 40～50歳未満 7. 50歳以上

F3. 保護者の勤務形態 (○は各1つ)

①父

1. 常勤(フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他()

②母

1. 常勤(フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他()

③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方)

1. 常勤(フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他()

F4. お子さんが通うクラス(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に○を付けてください)

1. 0歳児クラス 2. 1歳児クラス 3. 2歳児クラス 4. 3歳児クラス
5. 4歳児クラス 6. 5歳児クラス

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、別添の封筒(料金受取人払郵便)をご利用の上、○月○日までに、園にあります回収箱或いは郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。なお、切手を貼る必要はありません。

事業プロフィール

- 1 事業所名（サービス種別）： ()
- 2 (1) 運営主体（法人名等）：
 (2) 設置主体：
- 3 事業所所在地：
- 4 事業所の長の氏名（施設長等）：
- 5 連絡先

T e l		F a x	
Eメール		ホームページ	

- 6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例. 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）
- (1)
 (2)
 (3)
 (4)
 (5)

- 7 定員および現在の利用者
 ※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常 勤 職 員 数			
非 常 勤 職 員 数			
計			

(常勤換算 _____ 人)

(計算式: 非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数 ÷ 当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			

- (5) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳
- (6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年 (現在の事業所での在職年数とする)
- (7) 直接支援に携わっている職員 (非常勤は常勤換算) 1人当たりの利用者数 _____ 人
 (計算式: 定員 ÷ 直接支援に携わっている職員数)

9 実習生の受け入れ状況

前年度の実習生受け入れ人数

人

【内訳】

実習の種類	受け入れ人数

10 ボランティアの受け入れ状況

前年度のボランティア受け入れ人数

人

【内訳】

ボランティアの内容	受け入れ人数

11 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィールII

1 理念・ビジョン、基本方針など (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン、基本方針など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

※ 理念・ビジョン、基本方針などがわかるものを添付して下さい。

2 サービス提供の考え方について記述 (関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取り組み、利用者や家族との関係、地域との関係を含む

3 期待する職員像 (関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)

(1) 職員に求めている人材像や役割

※ 事業所のキャリアパス(事業所が求める職責または職務内容に応じた人材像)があれば添付して下さい。

(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

(以下のどれかに○をつける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他 ()

5 3年後の見通し(関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、一つに○をつける)

〔契約による利用〕

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ()

〔措置など契約以外による利用〕

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ()

6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述 (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

〈人的サービス面〉

- 1)
- 2)
- 3)

〈設備・環境面〉

- 1)
- 2)
- 3)

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷 (制度改正に基づくもの含む)

- 1) 開始時期 年 月
- 2) 重要な変遷

8 経営に影響を与えていると考えられている事業環境の変化を記述 (制度改正を含む) (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

9 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述（関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行、カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動）

1)

2)

3)

10 福利厚生（公的な福利厚生制度への加入・職員の交流会、職員の余暇活動、日常生活への支援など）への取組状況、及び職員の利用状況について記述（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）

11 事業所の権限

事業所に最終的な決定権があるものに全て○をつけてください

- 1 理念・ビジョン、基本方針などの策定 2 中・長期計画の策定 3 予算の編成
4 職員の採用 5 職員の異動・配置 6 職員の育成（研修）計画の策定

12 評価を実施するにあたり、評価機関に知っていて欲しいこと（経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況など）を自由にご記入ください

事業プロフィール (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所 版

7 定員及び現在の利用者 (年 月 現在)
 ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者児 (人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員 (人)	利用者児 (人)	料金 (円)	備考
産休明け保育				
延長保育事業				() 時間延長
病児・病後児保育事業				
休日保育				
一時預かり事業				
障害児保育事業				
分園設置				
アレルギー児対応				
夜間保育				
育児困難家庭への支援				
外国人児童受入れ				
年末年始保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他()				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

〔平成31年度（2019年度）〕

組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	年	月	日
施設・事業所名			
作成関係者	(役職名)	(氏名)	

カテゴリー
1. リスクマネジメントと意思決定
2. 事業所を取り巻く環境の把握活用及び計画の策定と実行
3. 経営における社会的責任
4. リスクマネジメント
5. 職員と組織の能力向上
6. サービス提供のプロセス
7. 事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

【カテゴリー1～5】

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 事業者が当該事項を実施していること
 - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- ひとつのカテゴリー内のすべての標準項目について確認した後、「カテゴリー」全体を通じて「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
 - ⇒ 「良いと思う点」
 - ・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - ・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など
 - ⇒ 「改善する必要がある点」
 - ・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - ・改善に取り組んでいること など

【カテゴリー7】

前年度に行った、事業所の重要課題（サービス提供のプロセスに関するものも含む）に対する組織的な活動を記載します。
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題についての、前年度の目標設定、目標に対する取り組み、取り組みの結果を踏まえた今年度の事業活動への反映事項を記入します。
そして、前年度に事業所の重要課題に対する活動がPDCAサイクルに基づいて行われたかどうか、評価機関が客観的に判断し、①目標の設定と取り組み、②取り組みの検証、③検証結果の反映を評語を用いて評価します。

カテゴリ-1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリ-1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

- [ねらい]・理念・ビジョン、基本方針を達成するためにそれを職員や利用者等の関係者がわかるように周知しているか
・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っているか

	標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 1-1-2

経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

- [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか
・経営層は、理念等を実現するために、方向性を示しリーダーシップを発揮しているか

	標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1	経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 1-1-3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

- [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか
・職員や利用者等に意思決定過程の透明性を図っているか

	標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1	重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="checkbox"/>		
2	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="checkbox"/>		
3	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ-1 について リーダーシップと意思決定

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとって良かったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目 2-1-1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

[ねらい]・利用者や職員の意向、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向、事業所の経営状況などを、様々な機会をとらえて積極的に把握・検討し、対応すべき課題を抽出しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
3	地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
4	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
5	事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
6	把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目 2-2-1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

[ねらい]・事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた事業計画や予算が策定されているか
・その計画や予算は現場や利用者の意向、地域福祉のニーズや事業所の課題等を踏まえたものとなっているか

	標準項目	チェック区	私たちの実践例	その実践の記録等
1	課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
2	中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 2-2-2

着実な計画の実行に取り組んでいる

[ねらい]・策定した計画に基づいて、進捗状況に応じ見直しを行いながら、目標達成に向けて取り組んでいるか

	標準項目	チェック区	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="checkbox"/>		
2	計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ-2 について 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ-3 経営における社会的責任

サブカテゴリ-1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 3-1-1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

[ねらい]・事業所が社会的な役割を果たすために、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを、職員に対して周知・徹底しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目 3-2-1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

[ねらい]・事業所内外の苦情解決制度や相談窓口を機能させるとともに、様々な機会をとらえて利用者の意向を把握し、組織全体で迅速に対応する体制を整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-2-2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

[ねらい]・虐待の防止と早期発見、早期対応を行う体制を、組織として整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="checkbox"/>		
2	虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 3-3-1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

[ねらい]・地域社会への情報開示などにより透明性を高め、地域社会に開かれた組織となって、地域との関係づくりに取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-3-2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

[ねらい]・事業所が有している機能や福祉の専門性を活かしながら、関係機関と連携して地域の一員としての役割を果たすための取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="checkbox"/>		
3	地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ-3 について 経営における社会的責任

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目 4-1-1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

[ねらい]・事業所が目指していることの実現を阻害するリスクを洗い出し、必要なリスクマネジメントの対策をとっているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="checkbox"/>		
2	優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
3	災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="checkbox"/>		
4	リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
5	事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目 4-2-1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

[ねらい]・事業所に必要な情報を適切に収集、整理した上で、組織的に管理・保護し、活用を図っているか
・事業所で扱っている個人情報の取り扱いについて、規程・体制を整備し、必要な対策を講じているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2	収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="checkbox"/>		
3	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
4	事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー4 について リスクマネジメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ-5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目 5-1-1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

[ねらい]・理念・ビジョン、基本方針の実現に必要な人材確保や配置を行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

[ねらい]・事業所として求める人材像を具体的に定め、それに基づくキャリアパスを職員へ周知しているか
・事業所のキャリアパスと事業所の人材育成計画が整合しており、職員のキャリアアップを支援しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="checkbox"/>		
2	事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

[ねらい]・事業所が目指していることの実現に適した人材の育成に向けて、個人の意向、理解度、到達状況、就業状況に合わせ、きめ細かい指導を行っているか
・指導者の支援に取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="checkbox"/>		
2	職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3	職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="checkbox"/>		
4	指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

[ねらい]・職員の定着により組織力を発揮するために、事業所として職員の意識を把握して、意欲向上に向けた働きかけを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="checkbox"/>		
2	就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3	職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
4	職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目 5-2-1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

[ねらい]・組織力の向上に向け、職員一人ひとりの学びや気づきの共有化を図るなど、チーム力を発揮できるようどのように取り組んでいるか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="checkbox"/>		
2	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="checkbox"/>		
3	目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー5 について 職員と組織の能力向上

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

評価項目 2

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

〔平成31年度（2019年度）〕

認可保育所

サービス分析シート (6. サービス提供のプロセス) 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	年	月	日
施設・事業所名			
作成関係者	(役職名)	(氏名)	

カテゴリ
1.リーダーシップと意思決定
2.事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3.経営における社会的責任
4.リスクマネジメント
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。
「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリ」及び「サブカテゴリ」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 事業者が当該事項を実施していること
 - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- 標準項目について確認した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
 - サブカテゴリ1～3及び5、6は、サブカテゴリごとに記述します。
 - サブカテゴリ4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。⇒ 「良いと思う点」
 - 力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - 自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒ 「改善する必要がある点」
 - 改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - 改善に取り組んでいること など

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
[ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="checkbox"/>		
2 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="checkbox"/>		
3 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="checkbox"/>		
4 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

良いと思う点 	改善する必要があると思う点
------------------------	-------------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者にとってありがたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ-2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

- [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか
 ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="checkbox"/>		
2	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-2-2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

- [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか
 ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="checkbox"/>		
2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="checkbox"/>		
3	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ-2 サービスの開始・終了時の対応 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目 6-3-1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

- [ねらい] ・保育をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか
 ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や見直しの基準が確立しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="checkbox"/>		
2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="checkbox"/>		
3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

- [ねらい] ・全体的な計画や子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ、指導計画を作成しているか
 ・個別的な計画を作成するしくみがあり、子どもの状況に応じて作成、見直しをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="checkbox"/>		
2	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
4	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="checkbox"/>		
5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

- [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか
 ・具体的な保育内容や子どもの変化等が適切に記録されているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="checkbox"/>		
2	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか
 ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="checkbox"/>		
2	申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1

子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

- [ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか
 ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
2	子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="checkbox"/>		
3	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
5	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="checkbox"/>		
6	【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-1 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか
 ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="checkbox"/>		
2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-2 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

- [ねらい] ・子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう、環境や取り組みにどのような工夫をしているか
 ・教育の5領域に即した取り組みを、子どもの年齢や発達の状態に応じて行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="checkbox"/>		
5	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="checkbox"/>		
6	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-3 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

[ねらい] ・子どもが興味を持ち、協力して進められる行事をどのように実施しているか
 ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>		
3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-4 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

[ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか
 ・保育時間が長くなることにより保育形態や担当職員が変わっても、子どもが楽しく過ごせるようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保育時間の長い子どもが安心して、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-5 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

- [ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか
 ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="checkbox"/>		
2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="checkbox"/>		
3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="checkbox"/>		
4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-6 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

- [ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか
 ・専門機関や保護者との連携をどのように行っているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="checkbox"/>		
2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="checkbox"/>		
3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-7 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

- [ねらい] ・保護者の個々の事情に応じた子育て支援を行っているか
 ・園で実施する保育活動に対し、保護者の理解や参加を促しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
2 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="checkbox"/>		
3 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
4 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
5 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-8 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の幅を広げる視点から、地域とのかかわりをどのように考えているか
 ・子どもが地域とかがわる機会をどのように設けているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="checkbox"/>		
2 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-9 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している [ねらい] ・サービス提供の中で、子どもの権利を擁護し、意思を尊重しているか ・子どもと保護者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点 	改善する必要があると思う点
------------------------	-------------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、その内容に沿ったサービスを実施しているか
 ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-6-2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか
 ・よりよいサービスをめざし、職員や保護者等の意見を反映して見直しを行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しに当たり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

〔平成31年度(2019年度)〕

職員用組織マネジメント分析シート

記入の手引き

■組織マネジメント分析シートの構成

この組織マネジメント分析シートは、6つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。そして、それぞれのカテゴリーは、さらにサブカテゴリー、評価項目、標準項目（カテゴリー7を除く）と分かれ、より具体的な内容が記述されています。カテゴリー「6. サービス提供のプロセス」は、別紙「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価するため、このシートは使用しません。

■評価の進め方

【カテゴリー1～5】

- (1) カテゴリー1～5は、それぞれの標準項目について実施されているかどうか職員自己評価項目により評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはまると思うところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。
- (3) 「**事業所（で）は…**」という質問は、事業所の取り組みについて、あてはまるところに○をつけてください。
「**私は…**」という質問は、回答者自身があてはまるところに○をつけてください。

【前年度の取り組みにより、良くなったと思う点(カテゴリー7)】

- (1) 回答シートには、事業所全体として前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入する欄があります。
これは、評価機関がカテゴリー7の評価を行う際の参考にします。
カテゴリー7においては、事業所の重要課題に対する前年度の目標設定・取り組み・取り組みの結果を踏まえた振り返り、そして、振り返りの内容を今年度以降の目標設定や取り組みにどう活かしているのかを確認します。
なお、この評価については、評価機関が評語を用いた評価を行います。

【特に良いと思う点、特に改善したいと思う点】

- (1) 回答シートには事業所全体として①特によいと思う点、②特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。
この欄は、「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

■回答シート

- (1) カテゴリー1～5については、この「組織マネジメント分析シート」で、職員自己評価項目の評価を行ったうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを評価するために使用します。
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	1 ① 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	1 ① 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層の役割と責任を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	1 事業所では、重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知らされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	1 事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 事業所は、福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	1 事業所は、課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	1	① 事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	① 事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私は、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-2-1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	1 事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所には、利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	1 事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

サブカテゴリ-3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	1 事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	1 事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 ① 事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じて対応できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-2-1	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	1 ① 事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

カテゴリ5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	1 事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	1 ① 事業所では、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ② 私は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	1 ① 事業所は、勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ② 私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ② 私の育成(研修)計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 ① 事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ② 私の育成(研修)計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
			そう思う	そう思わない	わからない	
5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	1 事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所は、就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		3	① 事業所は、職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	① 事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私の職場では、良好な人間関係が構築されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
			そう思う	そう思わない	わからない	
5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	1	① 事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	① 事業所は、職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私の日頃の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

**事業所が行った前年度の取り組みにより良くなったと思う点
(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)**

○カテゴリー7は、カテゴリー1～6と評価方法が異なり、前年度の事業所による組織的な活動を評価します。

このカテゴリーでの評価は、事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入して頂き、それに基づいて評価機関が評価を行います。

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

○上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

職員用:回答シート

○ 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1~5) (あてはまるもの一つに"○"をつけてください)

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-3	1			
	2-①			
	2-②			
	3			
2-1-1	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
2-2-1	1			
	2			
	3			
2-2-2	1			
	2			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
3-2-1	1			
	2			
3-2-2	1			
	2			
3-3-1	1			
	2			
3-3-2	1			
	2			
	3			
4-1-1	1			
	2			
	3			
	4-①			
	4-②			
4-2-1	1-①			
	1-②			
	2			
	3			
	4			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	1			
	2			
5-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
5-1-3	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
	3-①			
	3-②			
	4			
5-1-4	1			
	2			
	3-①			
	3-②			
	4-①			
	4-②			
5-2-1	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
	3			

○ 事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点をご記入ください。

(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)

--

○ 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。
(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体についてご記入下さい。)

特に良いと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)	特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)

[平成31年度(2019年度)]

認可保育所

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、
カテゴリー6「サービス提供のプロセス」を評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに
分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と分かれており、よりサービスの具
体的な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) それぞれの標準項目について、実施されているかどうか職員自己評価項目により
評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはま
るところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・
「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、
回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに
活用していただければ幸いです。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを
評価するために使用します。
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	1 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	1 サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している	1 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、たうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	1 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	1 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	1 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

平成31年度(2019年度) 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している	1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している			
		2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している			
		3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている			
6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている	1	保育時間の長い子どもが安心して、くつろげる環境になるよう配慮をしている			
		2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている			
6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している			
		2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている			
		3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している			
		4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている			
6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している	1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している			
		2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている			
		3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている			
6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている			
		2	保護者同士が交流できる機会を設けている			
		3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている			
		4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている			
		5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している			

6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)				
		そう思う	そう思わない	わからない		
6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している	1	子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)				
		そう思う	そう思わない	わからない		
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	1	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

— 認可保育所版 —

職員用 : 回答シート

施設・事業所名 : _____

○回答者属性 (どちらかに"○"をつけてください)

	リーダー層
	一般職員

○サービス分析シート (あてはまるもの一つに"○"を記入してください)

NO.	そう思う	そう思わない	わからない
6-1-1-1			
6-1-1-2			
6-1-1-3			
6-1-1-4			
6-2-1-1			
6-2-1-2			
6-2-1-3			
6-2-2-1			
6-2-2-2			
6-2-2-3			
6-3-1-1			
6-3-1-2			
6-3-1-3			
6-3-2-1			
6-3-2-2			
6-3-2-3			
6-3-2-4			
6-3-2-5			
6-3-3-1			

NO.	そう思う	そう思わない	わからない
6-3-3-2			
6-3-4-1			
6-3-4-2			
6-4-1-1			
6-4-1-2			
6-4-1-3			
6-4-1-4			
6-4-1-5			
6-4-1-6			
6-4-2-1			
6-4-2-2			
6-4-2-3			
6-4-2-4			
6-4-3-1			
6-4-3-2			
6-4-3-3			
6-4-3-4			
6-4-3-5			
6-4-3-6			

NO.	そう思う	そう思わない	わからない
6-4-4-1			
6-4-4-2			
6-4-4-3			
6-4-5-1			
6-4-5-2			
6-4-6-1			
6-4-6-2			
6-4-6-3			
6-4-6-4			
6-4-7-1			
6-4-7-2			
6-4-7-3			
6-4-8-1			
6-4-8-2			
6-4-8-3			
6-4-8-4			
6-4-8-5			
6-4-9-1			
6-4-9-2			

NO.	そう思う	そう思わない	わからない
6-5-1-1			
6-5-1-2			
6-5-2-1			
6-5-2-2			
6-5-2-3			
6-6-1-1			
6-6-1-2			
6-6-1-3			
6-6-2-1			
6-6-2-2			

令和元年度
保育園サービス第三者評価事業
報告書

登録印刷物番号

31-0096

令和2年3月発行

編集・発行

杉並区こども家庭部保育課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 (03) 3312-2111 (代表)

調査・評価機関

特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：02-030)

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南三丁目35番15号-1104

電話 03-5347-0616

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <http://www.city.suginami.tokyo.jp>